

学生生活における 事故の傾向について

学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）保険金支払事例分析報告書



公益財団法人 日本国際教育支援協会
Japan Educational Exchanges and Services

はじめに

公益財団法人日本国際教育支援協会は、わが国の教育・学術の発展並びに国際間の理解と親善に寄与することを目的に、日本人学生及び外国人留学生等に対し、必要な援助を行うとともに、外国人の日本語能力及び日本語教育の水準の向上に必要な事業を行っています。

このような事業の中の一つに学生教育研究災害傷害保険(略称「学研災」)があります。「学研災」は、学生が教育研究活動中に被った災害に対して必要な給付を行い、大学の教育研究活動の充実・発展に寄与することを目的とした保険制度であり、昭和51年の創設以来41年の実績を重ねる中で、多くの大学・短期大学において、学生に対するリスク管理のための重要な施策の一つとして位置付けられているところです。平成29年3月末の時点で、全国の大学・短期大学の96.2%に当たる1,086校が賛助会員となり、約280万人(86.1%)の学生が加入する標準的な保険となっています。

本協会では、学研災について理解を深めていただくとともに、ご意見・ご要望を伺うことにより制度の充実と発展を期することを目的に、例年9月から10月にかけて、全国8か所(東京・札幌・仙台・名古屋・京都・大阪・広島・福岡)の会場で、事務ご担当者を対象に説明会を実施しています。その際、配布する資料として、当該年度の前年度中に加入を受け付けた件数及び保険金が支払われた件数の集計や事故事例などを取りまとめた年次報告を作成しています。

この度、初めての試みとして単年度の集計ではなく、複数年にわたるデータを基にして、学生生活における事故の傾向を分析した報告書を作成しました。本報告書には、保険の概略、事故件数の推移や事故の傾向とともに、多くの事故事例を掲載しています。

学生が安心して学生生活を送るために、また、大学等が安全な修学環境を整えるためのリスク管理に必要な情報を提供することは本協会が担うべき社会的責務の一つであると考えます。学研災の保険金支払いにかかわる事故等統計を活用していただくことで、大学等における事故防止のための一助となれば幸いです。

本報告書によって近年の事故の傾向を知っていただくとともに、大学の安全な環境づくりにお役立てください。

平成29年6月

公益財団法人 日本国際教育支援協会
理事長 井上 正 幸

目 次

1 学生教育研究災害傷害保険(略称「学研災」)について

(1) 保険制度の概要	1
(2) 各保険の概略	4
(3) 加入状況	12

2 保険金支払状況からみた事故の概況

(1) 分析対象と分析資料等について	14
(2) 学研災における保険金支払状況	15
(3) 学研災付帯賠償責任保険(略称「付帯賠償」)における保険金支払状況	18
(4) 学研災付帯学生生活総合保険(略称「付帯学総」)における保険金支払状況	22
(5) 学研災付帯海外留学保険(略称「付帯海学」)における保険金支払状況	25

3 保険金支払状況からみた死亡事故の推移と傾向

(1) 死亡事故件数の推移	27
(2) 死亡事故の傾向	28

4 保険金支払状況からみた後遺障害事故の推移と傾向

(1) 後遺障害事故件数の推移	29
(2) 後遺障害事故の傾向	30

5 保険金支払状況からみた留学生がかかわった事故の推移と傾向

(1) 留学生がかかわった事故の推移	34
(2) 留学生がかかわった事故の男女別の傾向	36
(3) 留学生がかかわった後遺障害事故の推移と傾向	38

6 近年の主な事故の内容(事故事例)

(1) 死亡事故	40
(2) 後遺障害事故	41
(3) 保険別の事故の内容(事故事例)	
ア 学研災普通保険、通学特約及び接触感染特約	46
イ 学研災付帯賠償責任保険(略称「付帯賠償」)	54
ウ 学研災付帯学生生活総合保険(略称「付帯学総」)	61
エ 学研災付帯海外留学保険(略称「付帯海学」)	65
(4) 留学生がかかわった事故	66
おわりに	68

1 学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）について

(1) 保険制度の概要

ア 学研災創設の経緯と沿革

学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）は、学生が教育研究活動中に被った災害に対し必要な給付を行い、大学の教育研究活動の充実に資するための互助共済的な制度として、昭和51年度に全国の大学の要請と協力の下、文部省（当時）の指導により創設されました。

創設に至る経緯は、次のとおりです。

- ・ 昭和40年代の大学進学者の増加に伴い、実験実習・体育等の教育研究中における大学生の災害事故が急増しました。当時、高等専門学校以下の学校については、学校管理下における事故等について、日本学校安全会法（当時）に基づく医療費等の給付が行われていましたが、大学にはこのような制度がなく、全国規模の統一的補償制度を望む声が大学関係者の間から多く出されました。
- ・ このような流れの中で、昭和45年10月、日本学術会議より、「大学院生など無給研究者の研究災害補償制度の確立等について」の勧告が内閣総理大臣あてになされ、また昭和49年6月に国立大学協会が文部大臣あてに「正課中における学生の災害事故対策について」の要望書を提出しました。このような状況において、文部省は「学生の教育研究災害補償制度に関する調査研究会」を設置し、アンケート調査等を実施して、昭和50年8月に具体的な対策案を最終報告として取りまとめました。
- ・ この結果を受け、教育研究活動中の事故について、財団法人学徒援護会（当時）が保険契約者となり、賛助会員大学に在籍する学生を被保険者として、複数の国内損保会社と保険契約を結ぶ方式を採り、本保険約款が昭和51年1月に大蔵省（当時）より認可され、昭和51年4月から業務を開始しました。

公益財団法人日本国際教育支援協会（以下「本協会」）は、平成16年4月に財団法人内外学生センター（当時）から学生に係る保険事業を承継して、現在に至っていますが、学研災は、時々に応じた大学関係者のご意見やご要望を可能な限り反映させてきたところです。創設以降の沿革については表1に示しています。

表 1 沿革

年度	改定内容	保険契約者に関する変更事項
昭和51	学生教育研究災害傷害保険の創設	保険契約者:財団法人学徒援護会
昭和53	保険金額増額等の改定	
昭和55	学校施設内課外活動中の傷害を補償範囲に追加	
昭和58	学校施設内休憩中、学校施設外課外活動中の傷害を補償範囲に追加	
平成元		財団法人学徒援護会から財団法人内外学生センターへ名称変更
平成3	文科系・理工体育系の保険料の不均衡是正他による保険料改定	
平成5	Aタイプ(死亡保険金最高2,000万円)の新設	
平成8	通学中等傷害危険担保特約の新設	
平成10	インターンシップ・介護等体験活動・ボランティア活動賠償責任保険の新設	
平成11	インターンシップ・介護等体験活動・ボランティア活動賠償責任保険をインターンシップ・介護体験活動・教育実習等賠償責任保険に名称変更し、教育実習を補償範囲に追加	
平成12	・学生教育研究賠償責任保険の新設 ・インターンシップ・介護体験活動・教育実習等賠償責任保険をインターンシップ・教職資格活動等賠償責任保険に改称	
平成14	・医学生教育研究賠償責任保険の新設 ・通学中等傷害危険担保特約の適用日数の改定	
平成16		財団法人内外学生センターから財団法人日本国際教育支援協会へ事業移管
平成17	法科大学院学生教育研究賠償責任保険の新設	
平成18	・学研災付帯学生生活総合保険の新設 ・学研災付帯賠償責任保険の10月保険始期の取扱開始	
平成20	学研災付帯賠償責任保険(法科大学院学生教育研究賠償責任保険を除く。)における以下の改定 ・保険料の引き下げ ・海外での事故を補償対象に追加	
平成21	法科大学院学生教育研究賠償責任保険における以下の改定 ・保険料の引き下げ ・海外での事故を補償対象に追加	
平成23	・学生教育研究災害傷害保険(普通保険)の理工・体育系保険料を引き下げ文科系保険料に統一、医療保険金額及び適用日数の改定 ・通学中等傷害危険担保特約の保険料引き上げ、医療保険金額及び適用日数の改定 ・接触感染予防保険金支払特約の新設	・共済課から保険・補償課へ担当課名変更 ・財団法人日本国際教育支援協会の法人格が公益財団法人へ変更
平成24	学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険における9月保険始期の取扱開始	
平成26	損害保険料率算出機構の傷害保険における標準約款及び参考純率改定に伴う、学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯学生生活総合保険約款の改定	
平成27	・学研災付帯海外留学保険の新設 ・法科大学院学生教育研究賠償責任保険の保険料引き下げ	
平成28	学研災付帯海外留学保険の保険料割引率の拡大	
平成29	外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険の新設	

イ 保険制度の特徴

本保険制度には、次のような特徴があります。

（ア）低廉な保険料と充実した補償との両立

学研災は、大学等が賛助会員となって学内での広報をはじめ加入や事故にかかわる事務にご協力いただくことを前提として、また、大多数の大学が賛助会員となることでスケールメリットが活用され、低廉な保険料で充実した補償を学生に対して提供しています。

（イ）修学環境の変化に応じた内容の充実

学研災は、p.2表1沿革の中にあるように、修学環境の変化や大学等からの要請に応じて、補償範囲を拡大するとともに、新たな特約や保険を創設するなど、内容の充実を図っています。

（ウ）共同引受保険方式の採用

学研災は、本協会と複数の保険会社との間で締結された共同保険契約です。

平成29年3月現在の引受保険会社は、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、三井住友海上火災保険株式会社の4社です。

ウ 4種類の保険

本保険制度は、本協会を契約者とし、本協会の賛助会員大学に在籍する学生を被保険者とする団体契約・包括契約です。

本保険制度では、被保険者（保険の対象となる学生）、保険期間、補償の対象となる活動や事故の範囲、保険料、保険金の種類と金額、保険の事務等の流れ（加入手続き、賛助会員大学が取り扱う事務等）などが、以下の4種類の保険で異なっています。

- ① 学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）
- ② 学研災付帯賠償責任保険（略称「付帯賠償」）
- ③ 学研災付帯学生生活総合保険（略称「付帯学総」）
- ④ 学研災付帯海外留学保険（略称「付帯海学」）

学生は、①学研災の加入を前提として、②付帯賠償、③付帯学総及び④付帯海学を、必要に応じて付加することができます。

なお、これら4種類の保険を、総称して「学研災」と呼称する場合があります。

次に、各保険の概略を説明しますが、詳細については、保険パンフレット及び本協会ホームページ（<http://www.jees.or.jp>）でご確認ください。

(2)各保険の概略

ア 学生教育研究災害傷害保険(略称「学研災」)

(ア)概要

学研災は、大学の教育研究活動の充実に資するための互助共済的な傷害保険であり、賛助会員大学に在籍する学生が加入できます。基本となる普通保険に加えて、通学中等傷害危険担保特約(略称「通学特約」)及び接触感染予防保険金支払特約(略称「接触感染特約」)を付加することもできます。

学研災は、学生(被保険者)が在籍する大学の国内外における教育研究活動中に生じた急激かつ偶然な外来の事故によって身体に傷害を被った場合に保険金が支払われます。そのため、「病気」は補償の対象となりませんが、日射又は熱射による身体の障害や食中毒は補償の対象となります。

(イ)補償の対象となる活動の範囲

学研災は、次の教育研究活動中における傷害事故を補償します。

① 正課中

正課中とは、講義、実験、実習、演習又は実技による授業を受けている間をいいます。統計データの中では、体育実技中、理科系の実験・実習中、医療系の実習中及びその他に区分しています。

② 学校行事中

学校行事とは、大学が主催する(大学管理下で実施される)入学式、オリエンテーション、卒業式など教育活動の一環としての各種学校行事をいいます。

③ 学校施設内にいる間

上記①、②以外で、大学が教育活動のために所有、使用又は管理している学校施設内にいる間が補償の対象となります。課外活動(クラブ活動)を行っている間を含みますが、統計データの中では、課外活動(クラブ活動)は別に集計しています。

④ 学校施設外での課外活動(クラブ活動)中

課外活動(クラブ活動)とは、大学の規則にのっとりた所定の手続きにより大学の認めた学内学生団体の管理下で行う文化活動又は体育活動をいいます。

⑤ 通学中及び学校施設等相互間の移動中

通学特約を付加することによって、大学の授業等、学校行事又は課外活動(クラブ活動)への参加の目的をもって、合理的な経路及び方法により、被保険者の住居と学校施設等との間の往復中又は学校施設等相互間の移動中が補償の対象となります。

(ウ) 保険金の種類と金額

学研災には、死亡保険金最高2,000万円のAタイプと、同1,200万円のBタイプの2種類があります。死亡保険金と後遺障害保険金は、AタイプとBタイプで金額が異なりますが、医療保険金、入院加算金及び接触感染予防保険金は、両タイプで共通です。

また、学研災の保険金は、生命保険、健康保険、他の傷害保険、加害者からの賠償金と関係なく支払われます。

a 死亡保険金

死亡保険金は、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡した場合に支払われます。

補償範囲	支払保険金	
	Aタイプ	Bタイプ
「正課中」「学校行事中」	2,000万円	1,200万円
「正課中・学校行事中以外で学校施設内にいる間」「学校施設外での課外活動(クラブ活動)中」「通学特約加入者の通学中・学校施設等相互間の移動中」	1,000万円	600万円

b 後遺障害保険金

後遺障害保険金は、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に後遺障害が生じた場合に支払われます。

なお、事故によって後遺障害が発生した後に、その事故が原因となって180日以内に死亡した場合には、死亡保険金のみが支払われます。

補償範囲	支払保険金	
	Aタイプ	Bタイプ
「正課中」「学校行事中」	程度に応じて 120万円～3,000万円	程度に応じて 72万円～1,800万円
「正課中・学校行事中以外で学校施設内にいる間」「学校施設外での課外活動(クラブ活動)中」「通学特約加入者の通学中・学校施設等相互間の移動中」	程度に応じて 60万円～1,500万円	程度に応じて 36万円～900万円

c 医療保険金及び入院加算金

医療保険金は、医師の治療を受けた場合に、治療日数(実際に入院又は通院した日数)に応じて支払われます。また、入院加算金は、いずれの活動種別においても入院1日目から、180日を限度として支払われます。

事故発生時の活動の種別			治療日数	医療保険金	+ 入院した場合	入院加算金
(治療日数1日から対象) 正課中 学校行事中	(対象外)	(対象外) (治療日数14日以上が対象) 左記以外で学校施設内にいる間・学校施設外での課外活動(クラブ活動)中	1日～3日	3,000円		入院1日につき 4,000円
	(治療日数4日以上が対象) 通学特約加入者の通学中・学校施設等相互間の移動中		4日～6日	6,000円		
			7日～13日	15,000円		
			14日～29日	30,000円		
			30日～59日	50,000円		
			60日～89日	80,000円		
			90日～119日	110,000円		
			120日～149日	140,000円		
			150日～179日	170,000円		
			180日～269日	200,000円		
			270日～	300,000円		

d 接触感染予防保険金

臨床実習の目的で使用される施設内で、感染症の病原体に予期せず接触し、かつ、その原因となる事故の発生の日からその日を含めて180日以内にその接触感染に対する感染症予防措置を受けた場合が対象となります。

補償範囲	支払保険金
臨床実習中	1事故につき15,000円(定額払)

(エ) 保険料

a Aタイプ(死亡保険金最高2,000万円)

保険期間	基本			通学特約		
	昼間部	夜間部	通学教育	通学特約		接触感染特約
				昼間部・夜間部	通学教育	
1年間	650円	100円	100円	350円	40円	20円
2年間	1,200円	200円		550円		40円
3年間	1,800円	300円		800円		50円
4年間	2,300円	400円		1,000円		70円
5年間	2,800円	500円		1,250円		80円
6年間	3,300円	—		1,400円		100円

b Bタイプ(死亡保険金最高1,200万円)

保険期間	基本			特約		
	昼間部	夜間部	通学教育	通学特約		接触感染特約
				昼間部・夜間部	通学教育	
1年間	550円	100円	100円	250円	30円	20円
2年間	1,000円	200円		400円		40円
3年間	1,500円	250円		600円		50円
4年間	1,900円	350円		750円		70円
5年間	2,300円	450円		950円		80円
6年間	2,700円	—		1,050円		100円

イ 学研災付帯賠償責任保険(略称「付帯賠償」)

(ア)概要

付帯賠償は、国内外において、学生(被保険者)が加入しているコースの対象となる活動及びその往復において、他人にケガを負わせた場合、他人の財物を損壊した場合等により、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について、保険金が支払われます。

付帯賠償には、4つのコースがありますが、加入できるコースは被保険者1名につき1コースのみです。

(イ)補償の対象となる活動の範囲

① Aコース：学生教育研究賠償責任保険(略称「学研賠」)

学研賠では、Bコースの活動範囲及び薬学教育実務実習を含む、正課、学校行事又は課外活動(学研災の定義とは異なり、一定のインターンシップ又はボランティア活動のみが該当)及びその往復が補償の対象となります(医療関連実習を除く)。

② Bコース：インターンシップ・教職資格活動等賠償責任保険(略称「インターン賠」)

インターン賠では、大学が当該活動を正課、学校行事又は課外活動として認めた場合の、インターンシップ、介護体験活動、教育実習、保育実習、ボランティア活動及びその往復が補償の対象となります(医療関連実習及び薬学教育実務実習を除く)。

③ Cコース：医学生教育研究賠償責任保険(略称「医学賠」)

医学賠では、Aコース、Bコースの活動範囲及び医療関連実習を含む、医療関連学部・(学)科の正課、学校行事、課外活動及びその往復が補償の対象となります。

④ Lコース：法科大学院生教育研究賠償責任保険(略称「法科賠」)

法科賠では、対人賠償・対物賠償については、Aコース、Bコースの活動範囲を含む、法科大学院等の正課、学校行事又は特定の課外活動及びその往復が補償の対象となります。他のコースとは異なり、人格権侵害補償を付加しています。

人格権侵害補償については、臨床法学実習による不当行為に起因する事故であれば、事故発生時における活動は問わず、補償の対象となります。

(ウ)保険金(支払限度額)と保険料

記載の保険金(支払限度額)は、対人賠償・対物賠償については、被保険者1名かつ1年当たりの支払限度額です。人格権侵害補償については、保険期間中の支払限度額です。免責金額とは、支払われる保険金の計算に当たって損害の額から差し引く金額をいいます。

		Aコース(学研賠)	Bコース(インターン賠)	Cコース(医学賠)	Lコース(法科賠)
支払限度額	対人賠償	対人賠償と対物賠償合わせて1事故につき1億円限度 (免責金額:0円)			
	対物賠償				
	人格権侵害補償	—			損害賠償請求者1名当たり 1,000万円限度 (免責金額:0円)
保険期間		保険料			
1年間		340円	210円	500円	1,640円
2年間		680円	420円	1,000円	3,280円
3年間		1,020円	630円	1,500円	4,920円
4年間		1,360円	840円	2,000円	—
5年間		1,700円	1,050円	2,500円	—
6年間		2,040円	1,260円	3,000円	—

ウ 学研災付帯学生生活総合保険(略称「付帯学総」)

(ア)概要

付帯学総は、学研災の加入者が、学研災及び付帯賠償では補償が不足すると思われる場合に、学研災に加えて任意に加入できる保険です。疾病やプライベートの時間の事故も含めて24時間対応が可能であり、学生生活を幅広く補償します。

補償対象については、死亡・後遺障害、治療費用、賠償責任保険及び救済者費用の基本補償に、育英費用、傷害学資費用、疾病学資費用、生活用動産・借家人賠償責任、感染予防費用及び天災危険補償特約のオプションを組み合わせた加入プランから選択できます。

さらに、近年の外国人留学生数の増加に伴って寄せられた多くの大学からの要請を踏まえ、「外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険(略称「インバウンド付帯学総」)」を平成29年に創設しました。

(イ)補償の対象となる範囲及び保険金の種類

① 死亡・後遺障害保険金

国内外で学生本人が急激かつ偶然な外来の事故によるケガにより、事故の日から180日以内に死亡又は後遺障害を被った場合に、保険金が支払われます。ただし、教育研究活動中の事故による場合は、付帯学総では対象とならず、学研災普通保険のみが対象です。

② 治療費用保険金

国内で学生本人が急激かつ偶然な外来の事故によるケガ、又は疾病を被り、国内で1日以上通院又は入院した場合、健康保険等の自己負担分が保険金として支払われます。ただし、歯科疾病治療のための通院、精神障害による入通院等は補償対象外です。

③ 賠償責任保険金

国内外で学生本人が偶然な事故により他人にケガを負わせた場合、他人の財物等を損壊した場合等により、法律上の損害賠償責任を負った場合、賠償金等の実費が支払われます。

自主参加のインターンシップやアルバイト中の加害事故も補償されます。ただし、それ以外の職務の遂行に起因する事故は補償対象外です。また、自動車及びバイク(原動機付自転車を含む)での事故は補償対象外です。

④ 救援者費用保険金

国内外で学生本人が自宅外においてケガ又は病気で3日以上入院した場合などにおいて、親族等が駆けつけたとき、親族等が負担した交通費(2名分各1往復限度)・宿泊料(2名分各14日限度)が支払われます。

⑤ 育英費用保険金

国内外で扶養者が事故によって死亡した場合や重度後遺障害を被った場合において、学生を扶養できなくなったときに、保険金全額が支払われます。

⑥ 学資費用保険金

国内外で扶養者が事故によって死亡した場合や重度後遺障害を被った場合、疾病により死亡した場合において、学生を扶養できなくなったときに、学生が負担した学資費用(授業料等)の実額が保険金額を限度として支払われます。

⑦ 生活用動産保険金・借家人賠償責任保険金(一人暮らし学生用)

国内で生活用動産(家財)の修理をしたときの修理代の実費や貸主に対する法律上の賠償金等の実費が支払われます。

⑧ 感染予防費用保険金(医学生向け)

国内外において、臨床実習施設内で接触感染(針刺し事故を含む)又は院内感染に遭った場合に、医師等からの指示による検査・予防措置費用の実費が支払われます。

(ウ)保険金額と保険料

a 基本補償

本保険は卒業予定年次までの期間で加入することとなります。

記載の保険料は、全国での加入者数が10,000人以上、天災危険補償特約なし、保険期間4年間(一時払)、職種級別 A(継続的に職業に従事していない学生など)の場合の例です(天災危険補償特約を付帯することも可能)。

1

(平成29年4月1日以降始期用)

区 分		Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	Dタイプ
保険金額 (補償額)	死亡	100万円	300万円	500万円	300万円
	後遺障害				
	治療費用	(ケガ・病気とも対象)治療費用実費 支払対象期間は、通院又は入院を開始した日からその日を含めて60日を経過した日の属する月の末日まで			(ケガのみ対象) 入院日額5,000円 通院日額3,000円
	救援者費用	100万円	300万円	500万円	300万円
	賠償責任保険	支払限度額:対人・対物1事故1億円限度(自己負担額0円)			
		(情報機器内のデータ損壊は1事故500万円限度)			
保険料(4年間)		35,310円	39,790円	44,250円	29,850円

b オプション

告知内容にかかわらず自由に選択できます。保険料は4年間分です。

オプション1		育1コース	育2コース	育3コース	
育英費用	保険金	100万円	200万円	300万円	
	保険料	1,460円	2,920円	4,380円	
オプション2		学1コース	学2コース	学3コース	学4コース
傷害学資費用(ケガ)	保険金	100万円	300万円	500万円	50万円
	保険料	3,230円	9,690円	16,150円	1,620円
オプション3		疾学1コース	疾学2コース	疾学3コース	疾学4コース
疾病学資費用(病気)	保険金	100万円	300万円	500万円	50万円
	保険料	30,780円	92,340円	153,900円	15,390円
オプション4		生1コース	生2コース	生3コース	
生活用動産(A)+借家人賠償責任(B) (一人暮らし用)	保険金	[A] 50万円	[A] 80万円	[A] 100万円	
		[B] 300万円	[B] 500万円	[B] 1,000万円	
	保険料	5,990円	9,670円	14,870円	
オプション5					
感染予防費用(医学生用)	保険金	50万円			
	保険料	90円			

※オプション2～4については、他にもコースあり

エ 学研災付帯海外留学保険(略称「付帯海学」)

(ア)概要

付帯海学は、全国の大学からの多くの要請を受けて、海外派遣留学生向けの新制度として、平成27年6月に創設されました。この保険は、一定の要件に該当する留学において派遣留学生全員を対象とする制度です。保険加入対象となる学生は、学研災に加入している学生で、留学の定義は、単位認定する留学プログラムや、大学が承認した留学等、大学もしくは学部等を対象に、事前に定められます(大学が関与しない留学は対象外)。

(イ)補償の対象となる範囲及び保険金の種類

① 傷害死亡保険金

海外旅行中の急激かつ偶然な外来の事故によるケガにより、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡した場合に支払われます。

② 傷害後遺障害保険金

海外旅行中の急激かつ偶然な外来の事故によるケガにより、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に身体に後遺障害が生じた場合に支払われます。

③ 治療・救援費用等保険金

海外旅行中の急激かつ偶然な外来の事故によるケガにより、医師の治療を受けた場合などの治療費用部分、3日以上入院した場合などの救援費用部分に支払われます。

④ 疾病死亡保険金

海外旅行中に病気で死亡した場合、海外旅行開始後に発病した病気により、30日以内に死亡した場合などに支払われます。

⑤ 携行品損害保険金

海外旅行中に携行品が盗難・破損等の偶然な事故にあつて損害を受けた場合に支払われます。

⑥ 賠償責任保険金(保険期間31日まで)、留学生賠償責任保険金(保険期間31日超)

海外旅行中に他人にケガを負わせた場合、他人の物に損害を与えて、法律上の損害賠償責任を負った場合などに支払われます。

⑦ 航空機寄託手荷物保険金

航空機搭乗時に寄託した手荷物が、目的地に到着後6時間以内に運搬されなかった場合において、到着から96時間以内に衣類、生活必需品等の購入費の負担を余儀なくされたときに支払われます。

⑧ 航空機遅延保険金

搭乗予定航空機の6時間以上の出発遅延、欠航、運休等、又は着陸地変更により、出発予定時刻から6時間以内に代替機を利用できなかった場合や搭乗航空機の遅延等により、乗継航空機に搭乗できず、乗継地への到着時刻から6時間以内に代替機を利用できなかった場合に支払われます。

(ウ)保険金額と保険料

保険期間は渡航期間に合わせ、1日から設定可能です。また、保険金は、学研災で保険金が支払われた場合でも、付帯海学から別途支払われます。

記載の保険料は、全国での加入者が1,000人以上の場合で、平成29年6月1日から平成30年5月31日までに渡航(加入)される学生に適用される保険料の例です。

区 分		基本プラン	拡充プラン
保険金額	傷害死亡	300万円	1,000万円
	傷害後遺障害	300万円	1,000万円
	治療・救済費用	5,000万円	1億円
	疾病死亡	300万円	1,000万円
	携行品損害	10万円	20万円
	賠償責任、留学生賠償責任	1億円限度	1億円限度
	航空機寄託手荷物	—	10万円
	航空機遅延	—	2万円
保険料	7日まで	2,550円	3,510円
	14日まで	4,110円	5,390円
	31日まで	6,370円	8,340円
	3か月まで	17,760円	21,450円
	6か月まで	40,050円	47,460円
	1年間まで	84,750円	99,650円

(3)加入状況

ア 賛助会員校

学研災では、平成27年度末現在、大学総数1,141校のうち、1,096校（96.1％）が賛助会員となっています。賛助会員校数並びに各種特約及び保険の取扱状況の推移は、表2及び図1のとおりです。

表2 賛助会員校数等の推移

年度	大学総数 (校)	賛助会員校数 (校)	加盟率 (%)	取扱校数(校)				
				通学特約	接触感染特約	付帯賠償	付帯学総	付帯海学
23年度	1,175	1,123	95.6	1,061	228	1,069	622	—
24年度	1,164	1,116	95.9	1,058	239	1,063	645	—
25年度	1,151	1,109	96.4	1,058	257	1,062	685	—
26年度	1,143	1,098	96.1	1,047	264	1,057	712	—
27年度	1,141	1,096	96.1	1,045	278	1,058	750	186

加盟率(%)＝賛助会員校数(校)÷大学総数(校)×100

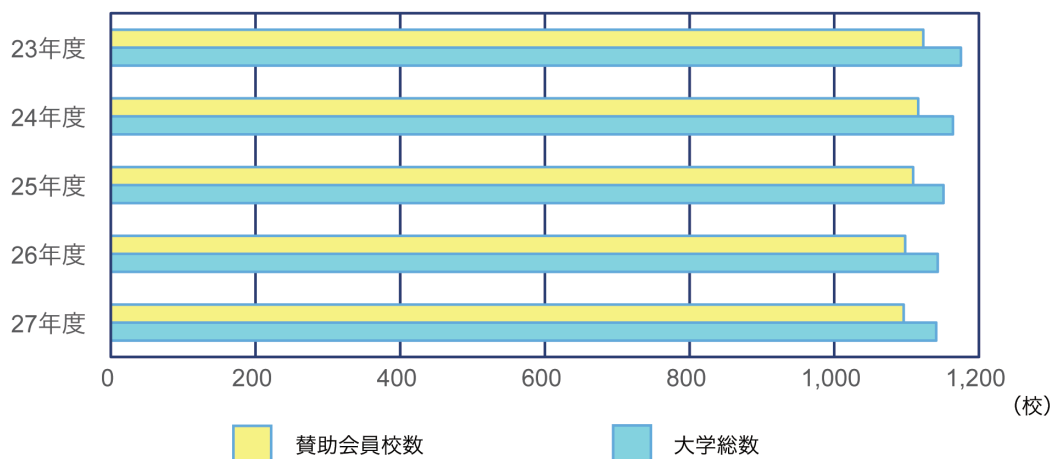


図1 賛助会員校数の推移

イ 加入学生数

平成27年度末現在、学研災普通保険には全学生数のうち約280万人(86.3%)の学生が、学研災通学特約には約238万人の学生が加入しています。加入学生数の推移は、表3及び図2のとおりです。

表3 加入学生数の推移

年度	全学生数 (千人)	学研災普通保険 加入学生数(千人)	加入率 (%)	加入学生数(千人)				
				通学特約	接触感染特約	付帯賠償	付帯学総	付帯海学
23年度	3,289	2,812	85.5	2,371	57	1,080	112	—
24年度	3,263	2,777	85.1	2,354	100	1,157	137	—
25年度	3,255	2,798	86.0	2,376	155	1,209	152	—
26年度	3,237	2,781	85.9	2,360	198	1,263	166	—
27年度	3,240	2,797	86.3	2,376	221	1,303	176	9

加入率(%) = 学研災普通保険加入学生数(人) ÷ 全学生数(人) × 100

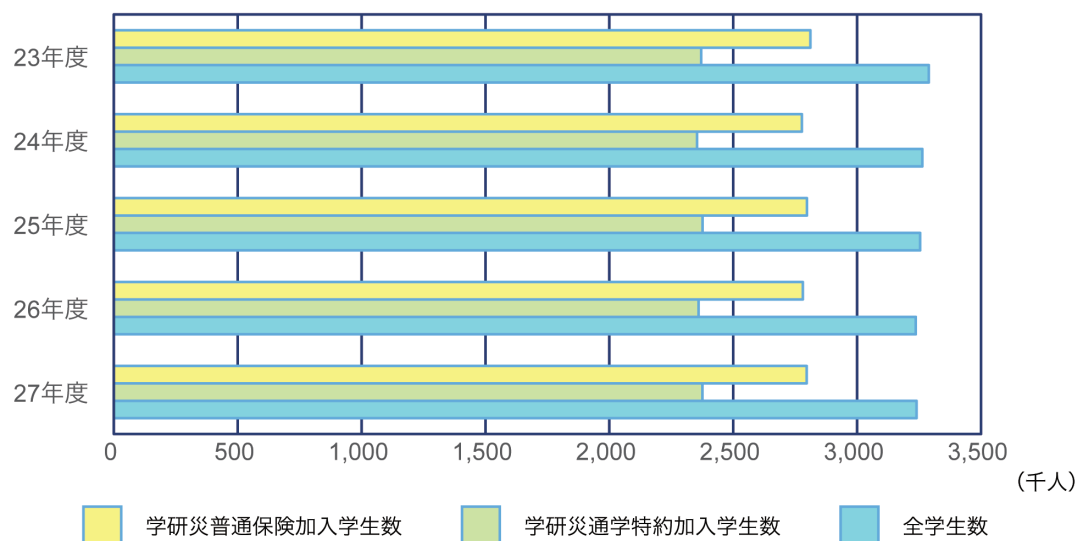


図2 加入学生数の推移

2 保険金支払状況からみた事故の概況

次に、保険金支払いにかかわる事故等統計を基に、近年の事故の傾向を分析していきます。

(1)分析対象と分析資料等について

ア 分析対象

本分析は、平成23年度から平成27年度までに保険金が支払われた事故を対象としています。学研災では、教育研究活動中に該当しない場合の事故(保険金が支払われない事故)は集計されていないため、学生がかかわる全ての事故を対象としているわけではありません。また、通学中に事故が発生した場合においても、通学特約に加入していないときや治療日数が4日未満のときには、医療保険金が支払われないので、当該事故は通学中の事故としては集計されません。同様に、課外活動(クラブ活動)中の事故においては、治療日数が14日未満のときには対象となりません。

イ 分析資料

分析に際しては、被保険者から提出された保険金請求書を1次資料としています。

なお、保険金請求書に記載がない場合や錯誤による誤記があると認められる場合には、保険会社作成資料(審査資料、保険金支払記録等)を参照しつつ、一部修正している部分があります。

ウ 事故の件数

当該年度に発生した事故ではなく、当該年度に保険金が支払われた事故を対象としているため、事故の件数については、「事故発生件数」ではなく、「(保険金)支払件数」又は「事故件数」という用語を使用しています。このとき、死亡保険金支払件数の合計は、死亡事故件数の合計と一致しますが、保険金支払件数の合計は、1つの事故(事故件数1)に対して複数の保険金種が支払われる場合があるため、事故件数の合計を上回ることになります(例えば、死亡前に入院している場合には入院加算金と死亡保険金の2種類の保険金が支払われるため保険金支払件数は2件)。

また、接触感染特約の支払件数は、医療保険金の支払件数に含めています。

エ 統計処理

表及びグラフ等の数値については、表記以下を四捨五入しているため、合計の数値と内訳の合計が一致しない場合があります。

同様に、図の数値においても表記以下を四捨五入しているため、円グラフの合計の値が100%未満となる場合や100%を超える場合、円グラフにおける1%未満のカテゴリーの記載を省略している場合があります。なお、数値が小さいためグラフに表示できない場合もあります。

また、1つの事故(事故件数1)において、分類項目に対する要素が複数になる場合には、それらの合計は事故件数の合計を超えることがあります(例えば、1つの事故で複数の部位に傷害を受けた場合には、傷害部位や後遺障害の内容などが複数になる)。

オ 統計データの分類

統計データを分類する際には、原則として保険金支払対象区分によって分類していますが、学研災及び付帯賠償では活動形態による区分を、付帯学総及び付帯海学では保険金種による区分を主に用いています。

なお、表やグラフにおける「学校施設間移動中」は「学校施設等相互間の移動中」を略して表記しています。

(2)学研災における保険金支払状況

ア 事故件数の推移と全般的な傾向

平成23年度から平成27年度までに学研災の保険金が支払われた事故の保険金支払対象区分別(活動形態別)の事故件数及び支払保険金額を表4、事故件数及び支払保険金額の推移を図3-①及び図3-②、保険金支払対象区分別(活動形態別)の事故件数及び支払保険金額の平均の比率を図3-③及び図3-④に示しています。

表4 保険金支払対象区分別(活動形態別)の事故件数及び支払保険金額

		23年度		24年度		25年度		26年度		27年度	
保険金支払対象区分(活動形態)		件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)
正課中	体育実技中	1,731	138.2	1,808	58.8	1,894	91.0	1,910	64.9	1,900	61.4
	理科系の実験中	483	27.3	564	14.7	538	41.9	532	9.1	606	5.5
	医療系の実習中	125	1.4	84	1.3	107	1.5	147	9.6	183	2.5
	その他	768	29.9	944	46.1	950	33.3	926	26.8	819	21.1
学校行事中		397	13.4	436	34.8	479	29.0	466	32.8	515	18.9
学校施設内・その他		368	31.4	375	22.0	379	46.2	362	36.3	322	29.9
課外活動 (クラブ活動) 中	学校施設内	7,327	445.3	8,347	495.9	6,792	422.5	7,384	480.3	7,283	452.3
	学校施設外	2,654	263.1	1,451	203.8	2,651	274.9	2,713	269.9	2,579	234.0
通学中		1,814	406.8	1,843	414.2	1,880	280.8	1,871	396.9	1,681	353.0
学校施設間移動中		33	18.9	37	10.4	32	2.8	29	4.9	35	22.9
計		15,700	1,375.7	15,889	1,302.0	15,702	1,223.8	16,340	1,331.4	15,923	1,201.5

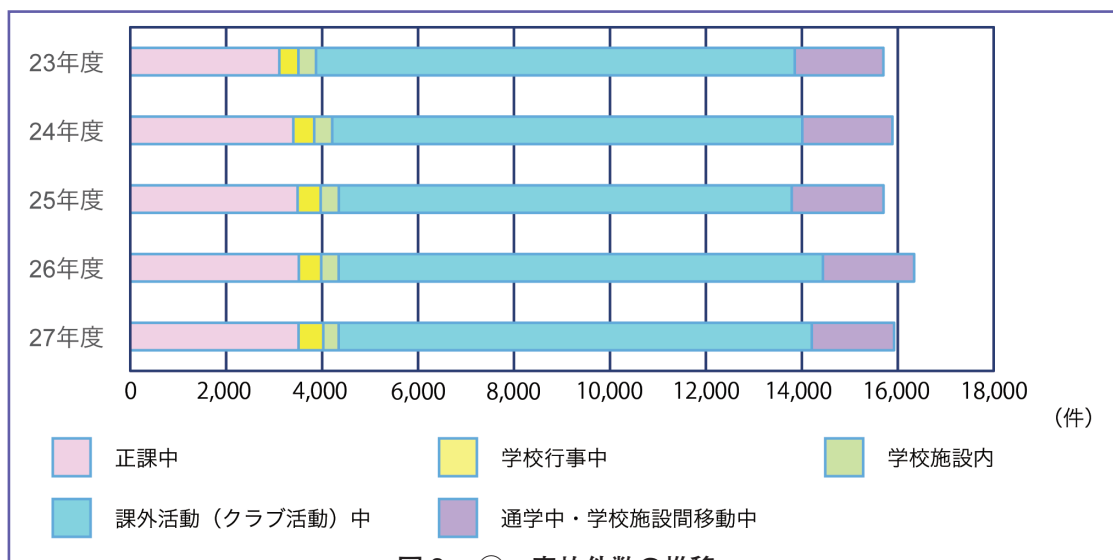


図3-① 事故件数の推移

2

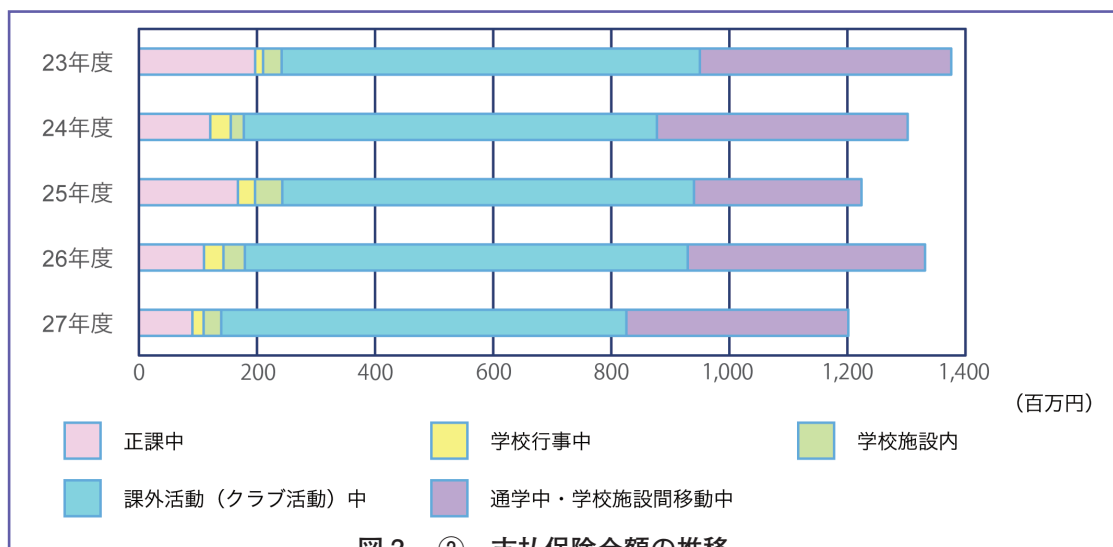


図3-② 支払保険金額の推移

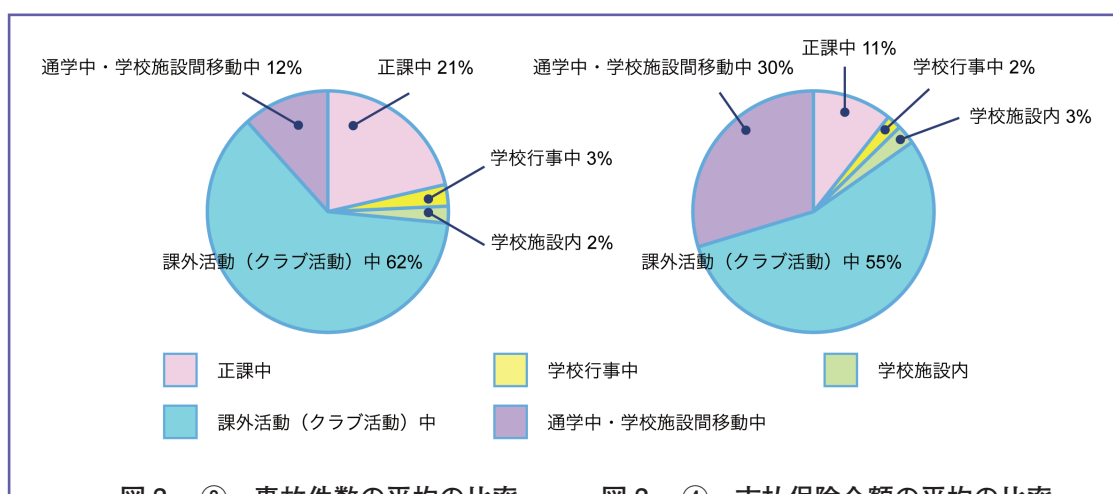


図3-③ 事故件数の平均の比率 図3-④ 支払保険金額の平均の比率

平成23年度から平成27年度までの5年間の事故件数の平均は15,911件、支払保険金額の平均は1,286,899千円となっており、件数は1万6千件前後で、支払保険金額は12億円から13億7千万円までと少し幅をもって、推移しています。

なお、事故率の平均としては、加入学生1,000人あたり年間5.7件となります。

保険金支払対象区分別（活動形態別）に見てみると、年度によって多少の差異はありますが、件数及び支払保険金額ともに課外活動（クラブ活動）中の事故の割合が多く全体の60%前後を占めています。

なお、支払保険金額に関しては、加入している保険のタイプによって支払保険金額が異なること、並びに、医療保険金の支払いにおいては、正課中や学校行事中では治療日数が1日から対象となるのに対して、通学中・学校施設間移動中では治療日数が4日以上から対象となること、及び課外活動（クラブ活動）中では治療日数が14日以上から対象となることを考慮しなければなりません（入院加算金は保険のコースや保険金支払対象区分（活動形態）にかかわらず同等に入院1日から支払い）。

そのために単純に比較することはできませんが、件数で21%、支払保険金額で11%を占める正課中の事故よりも、件数で12%、支払保険金額で30%を占める通学中・学校施設間移動中の事故の方が、重篤な事故に繋がっていると言えます。

イ 男女別の事故の傾向

次に、男女別の事故の傾向について検討します。

平成23年度から平成27年度までの男女別の事故件数を表5、その合計の比率を図4-①に示します。また、男女別の支払保険金額の比率を図4-②に示します。

表5 男女別の事故件数(単位:件)

		23年度		24年度		25年度		26年度		27年度		合計		
保険金支払対象区分(活動形態)		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	小計
正課中	体育実技中	929	802	918	890	973	921	990	920	935	965	4,745	4,498	9,243
	理科系の実験中	296	187	335	229	310	228	309	223	325	281	1,575	1,148	2,723
	医療系の実習中	43	82	33	51	42	65	48	99	64	119	230	416	646
	その他	222	546	270	674	289	661	275	651	250	569	1,306	3,101	4,407
学校行事中		209	188	210	226	222	257	225	241	260	255	1,126	1,167	2,293
学校施設内・その他		196	172	213	162	224	155	194	168	167	155	994	812	1,806
課外活動 (クラブ活動) 中	学校施設内	6,364	963	7,092	1,255	5,749	1,043	6,267	1,117	6,240	1,043	31,712	5,421	37,133
	学校施設外	2,186	468	1,156	295	2,146	505	2,212	501	2,072	507	9,772	2,276	12,048
通学中		971	843	955	888	981	899	929	942	892	789	4,728	4,361	9,089
学校施設間移動中		13	20	24	13	22	10	20	9	18	17	97	69	166
計		11,429	4,271	11,206	4,683	10,958	4,744	11,469	4,871	11,223	4,700	56,285	23,269	79,554

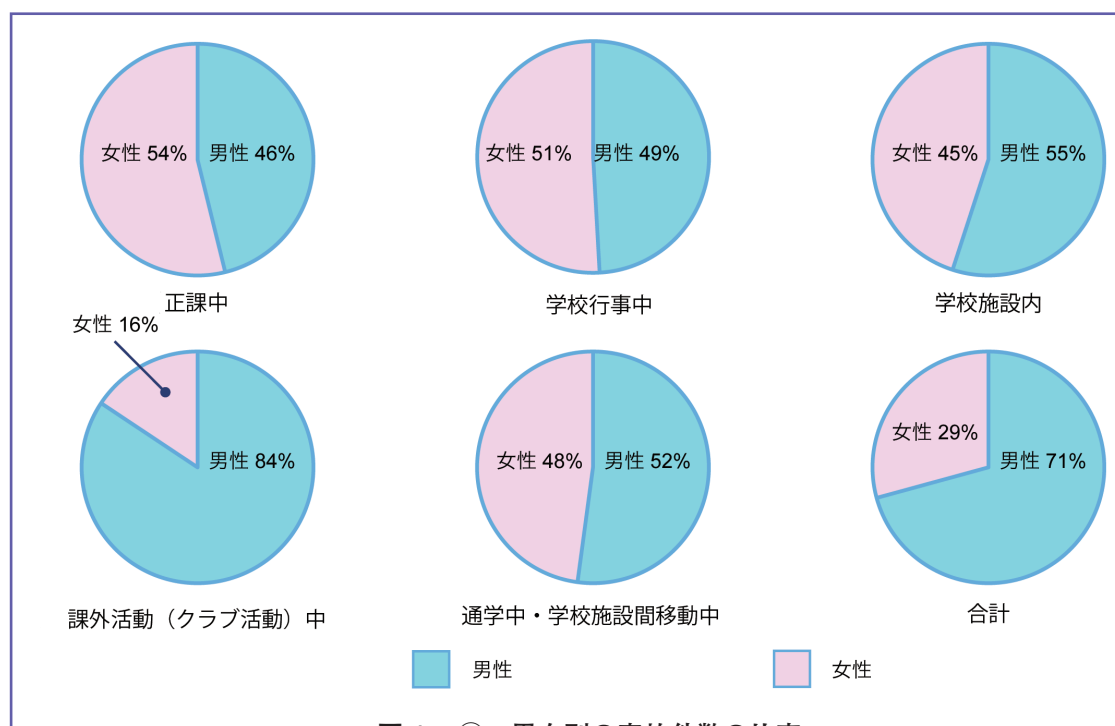


図4-① 男女別の事故件数の比率

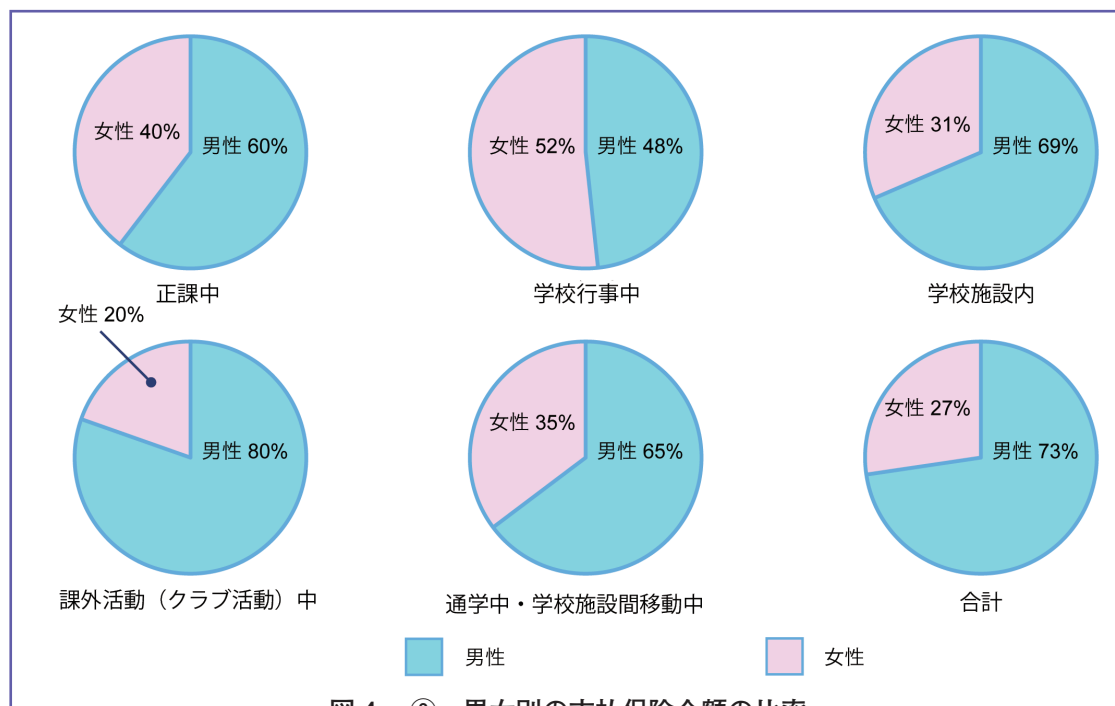


図 4-② 男女別の支払保険金額の比率

事故件数に関しては、合計における男女比は、男性71%、女性29%となっており、男性の事故が女性と比べ2.4倍以上多くなっています。

これを、保険金支払対象区分別(活動形態別)に見てみると、正課中(46%:54%)、学校行事中(49%:51%)、学校施設内(55%:45%)及び通学中・学校施設間移動中(52%:48%)においては、ほぼ同程度となっており、逆に女性が多くなっている場合も見受けられます。他方、課外活動(クラブ活動)中は、84%:16%となっており、男性の事故件数が女性と比べ5倍以上と圧倒的に多くなっています。

支払保険金額における男女比については、学校行事中(48%:52%)や課外活動(クラブ活動)中(80%:20%)及び合計(73%:27%)は、事故件数における男女比と同じ傾向にあります。

しかしながら、正課中(60%:40%)、学校施設内(69%:31%)及び通学中・学校施設間移動中(65%:35%)では、男性の方が高い比率を占めています。正課中、学校施設内及び通学中・学校施設間移動中においては、女性よりも男性の方が、より大きな事故に遭っていると言えます。

(3)学研災付帯賠償責任保険(略称「付帯賠償」)における保険金支払状況

平成23年度から平成27年度までに付帯賠償において保険金が支払われた事故の保険金支払対象区分別(活動形態別)の事故件数及び支払保険金額を表6、事故件数及び支払保険金額の推移を図5-①及び図5-②、保険金支払対象区分別(活動形態別)の事故件数及び支払保険金額の平均の比率を図5-③及び図5-④に示しています。

人身損害・物損害別の保険金支払件数を表7-①、支払保険金額を表7-②、人身損害・物損害別の保険金支払件数及び支払保険金額の平均の比率を図6-①及び図6-②に示しています。

また、支払保険金額別の保険金支払件数を図7に示しています。

表6 保険金支払対象区分別(活動形態別)の事故件数及び支払保険金額

保険金支払対象区分(活動形態)	23年度		24年度		25年度		26年度		27年度	
	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)
正課中	126	32.2	110	13.7	118	18.8	130	22.2	153	28.4
学校行事中	12	0.9	31	1.2	21	2.4	16	1.6	34	3.2
インターンシップ中	9	0.4	6	0.3	10	0.5	9	0.4	7	0.3
介護体験活動中	2	0.0	2	0.3	3	0.0	2	0.0	1	0.0
教育実習中	4	0.1	7	0.2	8	0.4	8	0.3	11	0.4
保育実習中	3	0.0	9	0.2	9	0.2	7	0.2	9	0.2
ボランティア活動中	0	0	0	0	0	0	1	0.1	3	0.1
臨床医療実習中	19	0.8	31	0.4	47	6.3	60	3.2	39	1.7
臨床法学実習中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
往復中	91	27.8	109	41.9	128	82.7	124	31.1	119	25.1
計	266	62.2	305	58.3	344	111.2	357	59.3	376	59.5

※支払保険金額0.0は5万円に満たないもの

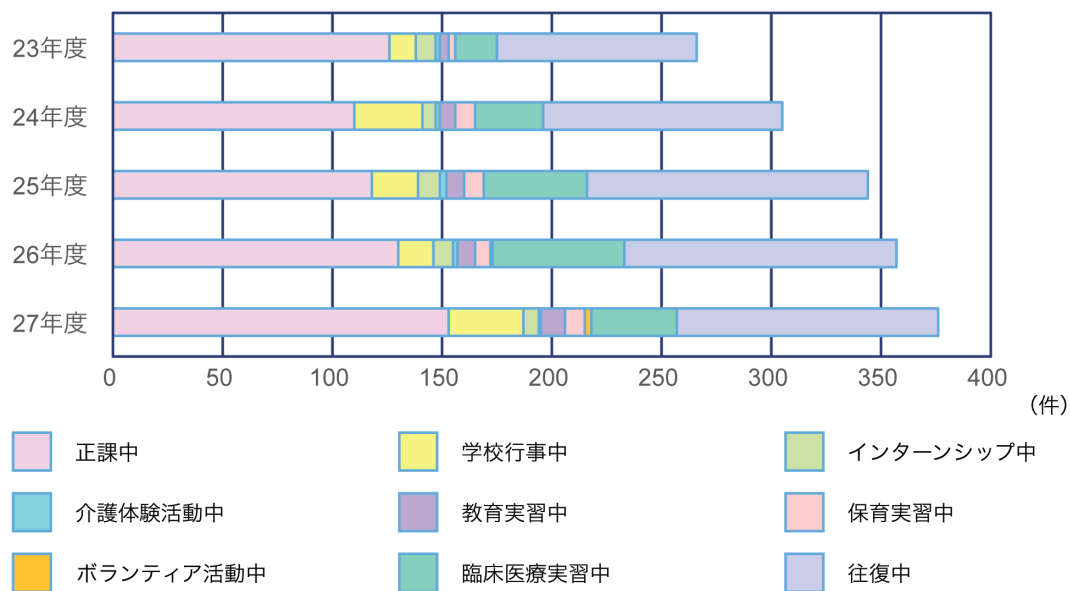


図5-① 事故件数の推移

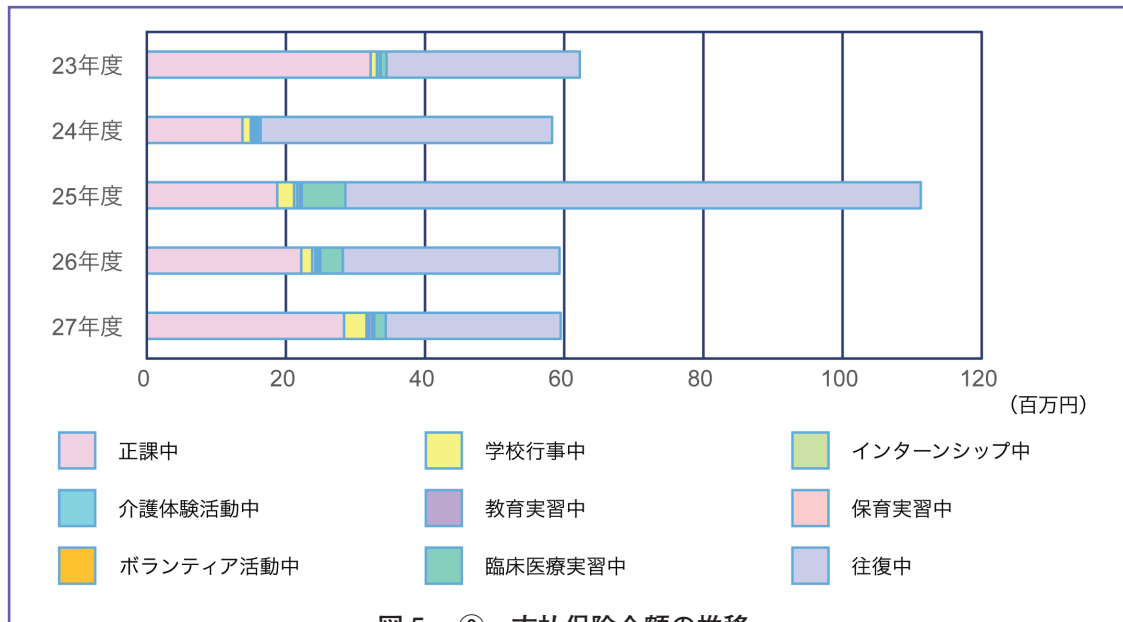


図5-② 支払保険金額の推移

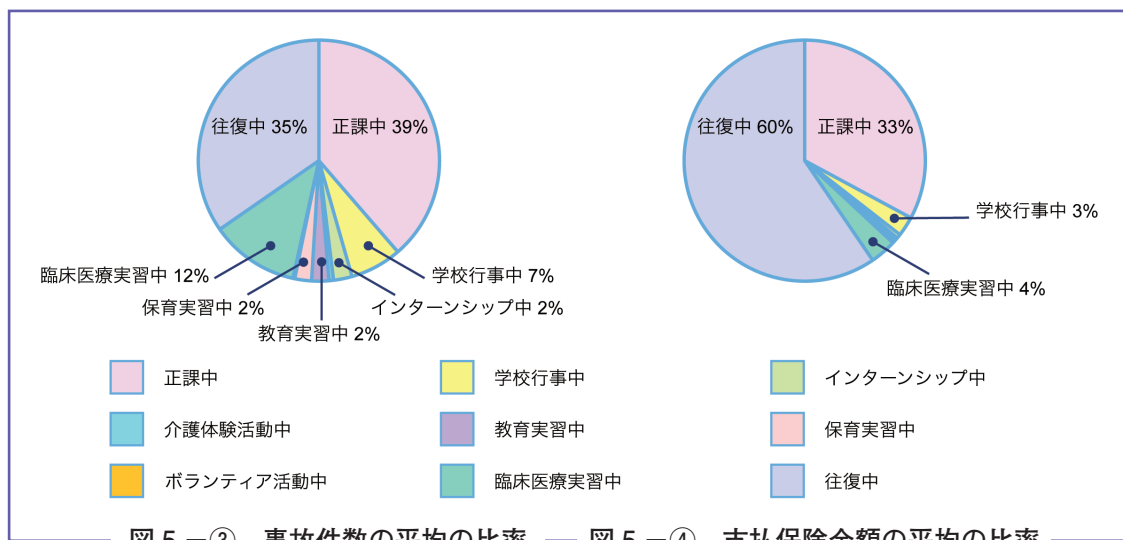


図5-③ 事故件数の平均の比率 図5-④ 支払保険金額の平均の比率

表7-① 人身損害・物損害別の保険金支払件数(単位:件)

	23年度		24年度		25年度		26年度		27年度	
保険金支払対象区分(活動形態)	人身損害	物損害	人身損害	物損害	人身損害	物損害	人身損害	物損害	人身損害	物損害
正課中	6	120	4	106	4	115	1	129	1	152
学校行事中	1	11	1	30	1	20	1	15	3	31
インターンシップ中	1	8	1	5	0	10	1	8	0	7
介護体験活動中	0	2	1	1	0	3	0	2	0	1
教育実習中	0	4	1	6	0	8	0	8	1	10
保育実習中	0	3	0	9	2	7	0	7	0	9
ボランティア活動中	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
臨床医療実習中	2	17	0	31	1	46	3	57	0	39
臨床法学実習中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
往復中	34	70	48	67	50	94	46	91	36	95
計	44	235	56	255	58	303	52	318	42	346

表7-② 人身損害・物損害別の支払保険金額(単位:千円)

	23年度		24年度		25年度		26年度		27年度	
保険金支払対象区分(活動形態)	人身損害	物損害	人身損害	物損害	人身損害	物損害	人身損害	物損害	人身損害	物損害
正課中	363	31,814	4,398	9,344	2,117	16,633	538	21,659	52	28,307
学校行事中	201	700	115	1,090	20	2,404	679	902	1,530	1,682
インターンシップ中	55	339	38	296	0	454	23	420	0	349
介護体験活動中	0	18	301	17	0	17	0	43	0	1
教育実習中	0	97	8	171	0	397	0	348	5	438
保育実習中	0	36	0	202	6	210	0	194	0	215
ボランティア活動中	0	0	0	0	0	0	0	139	95	20
臨床医療実習中	174	664	0	365	0	6,277	432	2,815	0	1,658
臨床法学実習中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
往復中	22,791	4,986	35,755	6,149	72,752	9,958	23,526	7,605	16,001	9,145
計	23,583	38,654	40,616	17,635	74,895	36,350	25,199	34,125	17,683	41,813

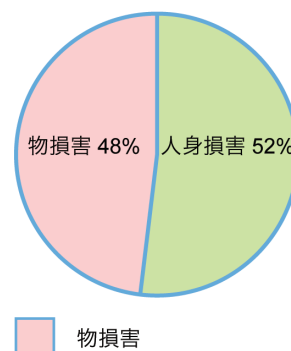
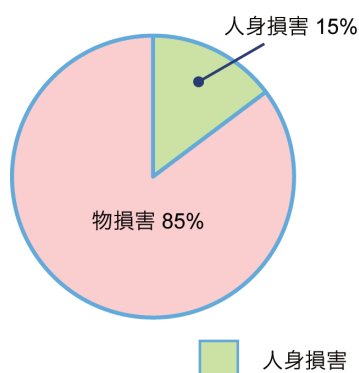


図6-① 保険金支払件数の平均の比率 図6-② 支払保険金額の平均の比率

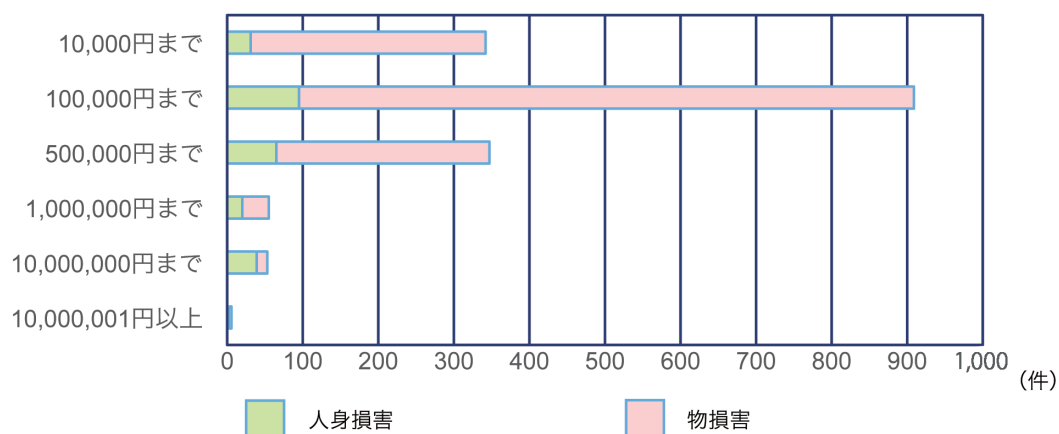


図7 支払保険金額別の保険金支払件数

平成23年度から平成27年度までの5年間の事故については、事故件数は5年間で1,648件(年平均330件)、支払保険金額は5年間で350,551千円(年平均70,110千円)となっています。

事故件数は、平均して前年度比112%で増加していますが、増加率は年々減少する傾向にあります。他方、支払保険金額は、年度による差が大きく、前年度との比較があまり意味を

もたないものとなっています。例えば、平成25年度の支払保険金額においては、1,000万円を超える2件を含めた15件の100万円を超える人身損害により支払保険金額が倍増しています。

人身損害と物損害の比率においても平成25年度の人身損害保険金に影響して、支払件数では15%:85%と物損害が5.7倍と多くなっていますが、支払保険金額では52%:48%と同程度になっています。

保険金支払対象区分別(活動形態別)の事故件数は、正課中が39%、往復中が35%、臨床・看護等医療関連実習中が12%、学校行事中が7%、その他(インターンシップ中、介護体験活動中、教育実習中、保育実習中、ボランティア活動中)が8%となっています。なお、臨床法学実習等における人格権侵害についてはこの5年間では発生していませんでした。

支払件数を人身損害と物損害に分けて見てみると、人身損害では正課中が6%、往復中が85%、物損害では正課中が43%、往復中が29%となっており、正課中と往復中で大半を占めている点は共通していますが、人身損害は往復中の事故が多く物損害では正課中の事故が多い点で、その内訳は大きく異なっています。

また、保険金支払対象区分別(活動形態別)の支払保険金額は、正課中が33%、往復中が60%、臨床・看護等医療関連実習中が4%、学校行事中が3%、その他が1%となっており、正課中と往復中で93%と高くなっています。これを人身損害と物損害に分けて見てみると、人身損害では正課中が4%、往復中が94%、物損害では正課中が64%、往復中が22%となっており、特に、物損害では正課中の理科系の実験・実習中に実験装置を壊した事故、人身損害では自転車で通学中に歩行者や自転車と衝突して相手にケガを負わせた事故において、高額の保険金が支払われています。

支払保険金額の分布を見てみると、1万円以下が342件(20%)、1万円を超えて10万円までが909件(53%)、10万円を超えて50万円までが347件(20%)で、50万円を超えるものが111件(7%)となっています。

なお、保険金支払件数1件あたりの支払保険金額は、人身損害が722千円、物損害が116千円になっています。

(4)学研災付帯学生生活総合保険(略称「付帯学総」)における保険金支払状況

平成23年度から平成27年度までに付帯学総において保険金が支払われた事故の保険金支払対象区分別(保険金種別)の保険金支払件数及び支払保険金額を表8、保険金支払件数及び支払保険金額の推移を図8-①及び図8-②、保険金支払対象区分別(保険金種別)の保険金支払件数及び支払保険金額の平均の比率を図8-③及び図8-④に示しています。

表8 保険金支払対象区分別(保険金種別)の保険金支払件数及び支払保険金額

保険金支払対象区分(保険金種)	23年度		24年度		25年度		26年度		27年度		合計	
	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)
死亡	1	1.0	5	11.0	4	10.0	1	1.0	4	6.0	15	29.0
後遺障害	7	3.8	8	5.9	10	1.6	12	2.0	12	2.8	49	16.1
治療費用(ケガ)	1,997	42.1	3,269	68.5	3,675	74.3	4,512	95.4	5,016	102.0	18,469	382.2
治療費用(病気)	6,467	70.2	10,611	93.4	15,165	127.3	20,530	162.3	25,695	193.0	78,468	646.2
医療・通院	43	1.6	69	3.3	41	1.6	34	2.7	18	0.8	205	10.1
医療・入院(注1)	12	1.2	13	0.7	7	0.5	3	0.1	5	0.2	40	2.7
賠償責任(対人)(注2)	37	10.9	44	15.5	41	11.4	41	6.7	47	72.9	210	117.5
賠償責任(対物)	141	18.3	221	22.4	217	24.1	216	21.4	250	29.6	1,045	115.9
救済者費用等	485	10.2	685	12.7	883	19.9	1,145	23.5	1,307	24.0	4,505	90.3
感染予防費用	4	0.0	8	0.1	22	0.5	28	0.5	41	0.6	103	1.8
育英費用	1	1.0	6	5.3	3	5.0	8	12.0	5	7.0	23	30.3
学資費用	1	1.5	7	9.4	8	10.2	26	39.0	19	27.0	61	87.2
生活用動産	34	2.5	39	3.8	63	5.8	61	5.2	87	4.8	284	22.0
借家人賠償責任	33	2.7	77	5.2	66	6.6	113	7.6	122	11.1	411	33.2
計	9,263	167.2	15,062	257.3	20,205	298.8	26,730	379.3	32,628	481.8	103,888	1,584.4

(注1):医療・入院には、手術保険金も含まれます。

(注2):賠償責任(対人)には、争訟費用も含まれます。

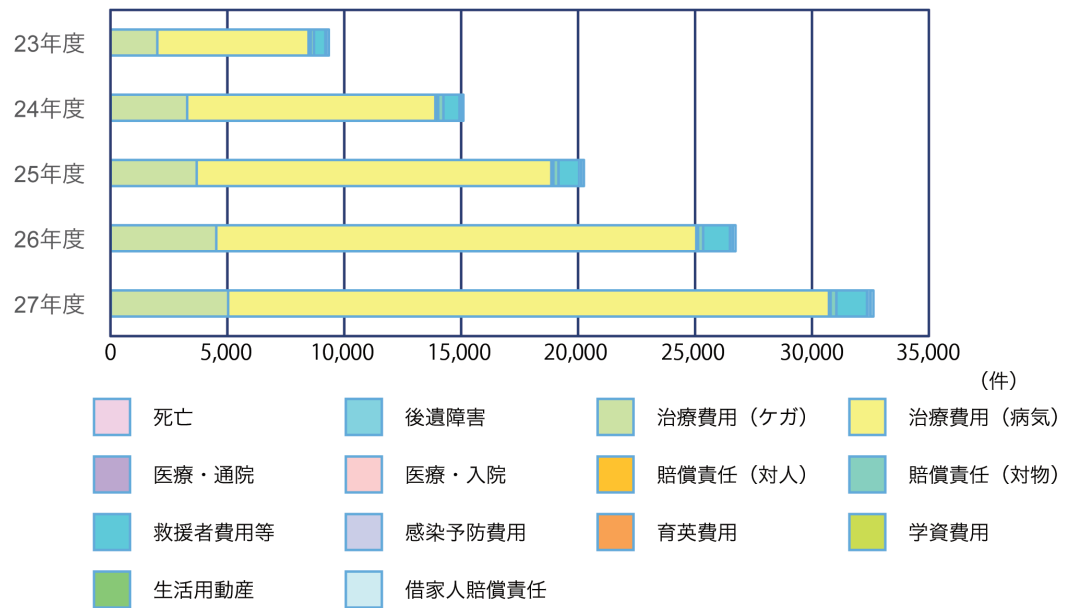


図8-① 保険金支払件数の推移

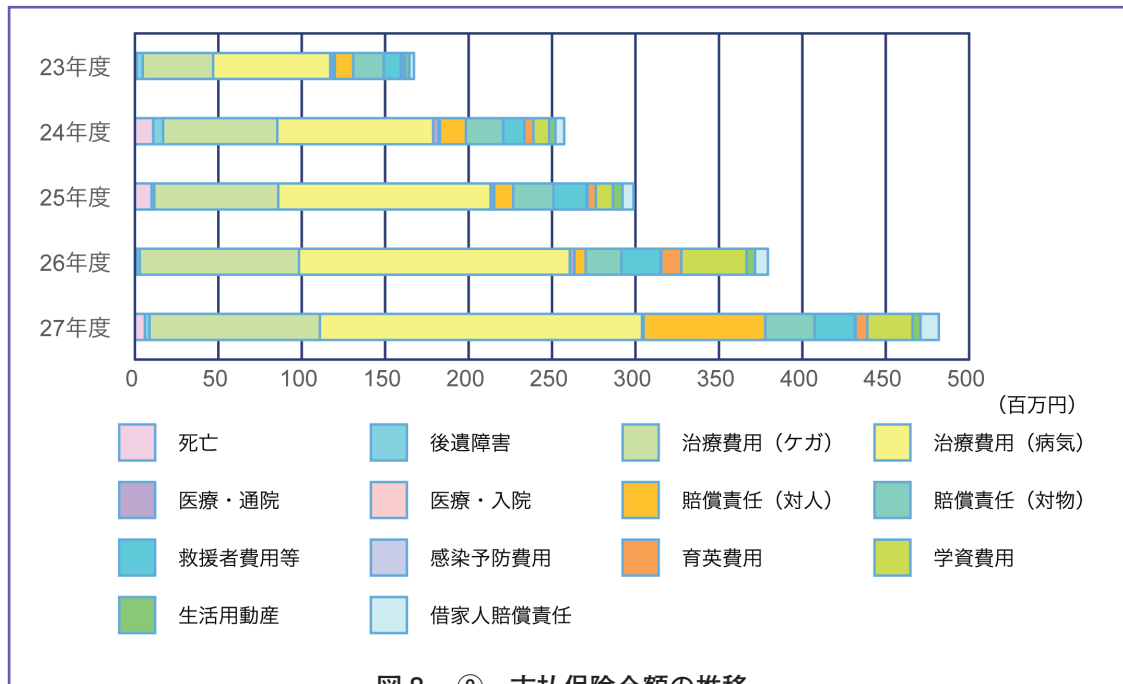


図8-② 支払保険金額の推移

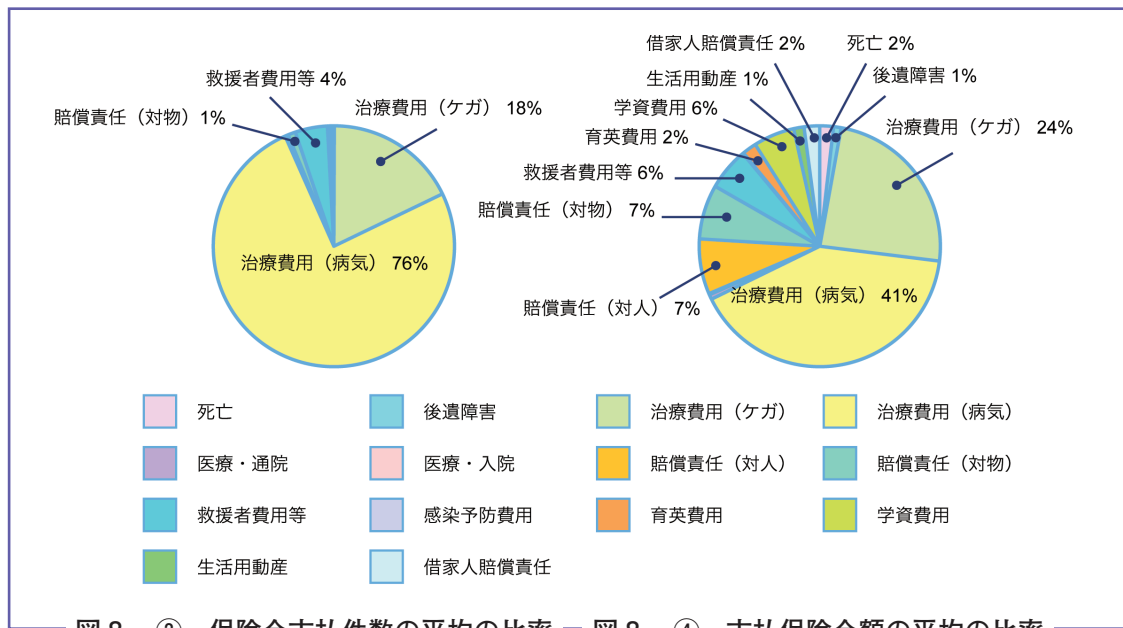


図8-③ 保険金支払件数の平均の比率 — 図8-④ 支払保険金額の平均の比率

平成23年度から平成27年度までの5年間の事故については、保険金支払件数は5年間で103,888件、支払保険金額は5年間で1,584,446千円となっています。

保険金支払件数は、前年度比を5年間の伸び率で見ると、やや減少傾向ではありますが、件数そのものは年々増加しています。平成25年度の保険金支払件数を100とした場合、平成26年度は132、平成27年度は161となっています。また、支払保険金額は、平均して前年度比129%で増加しています。平成25年度の支払保険金額を100とした場合、平成26年度は127、平成27年度は161となっています。

加入学生数が、平成25年度の加入学生数を100とした場合、平成26年度は109、平成27年度は115となっていることと比較すると、保険金支払件数及び支払保険金額の増加率の高さが分かります。

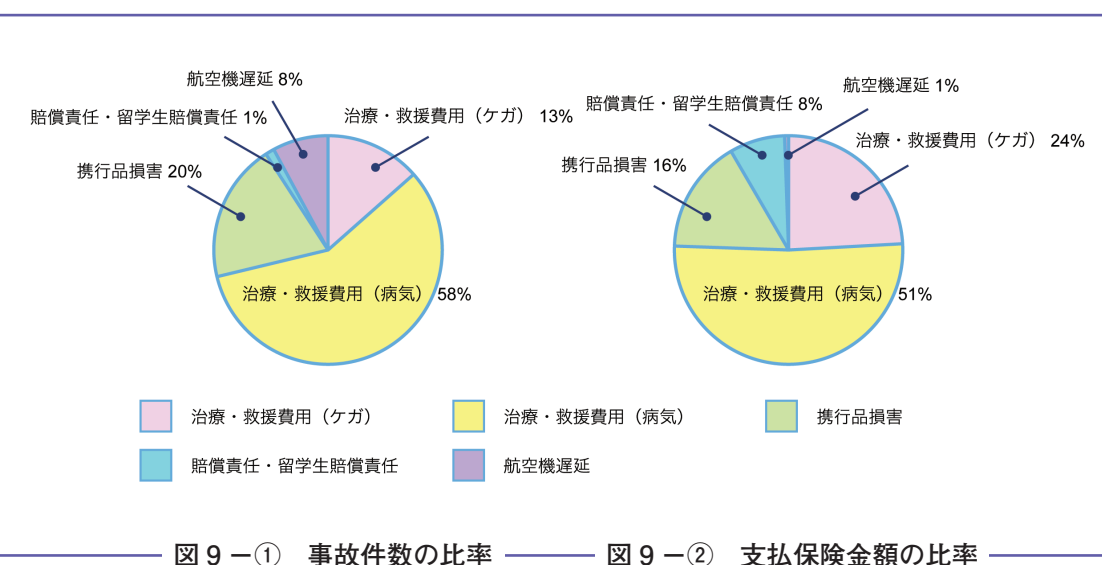
保険金種別の保険金支払件数は、学研災では補償されない治療費用(病気)76%と治療費用(ケガ)18%でほとんどを占めていますが、支払保険金額は、治療費用(病気)41%と治療費用(ケガ)24%で合わせて65%になっています。そして、同様に学研災では補償されない救済者費用等6%、学資費用6%が目立ちます。

(5)学研災付帯海外留学保険(略称「付帯海学」)における保険金支払状況

平成27年度に付帯海学において保険金が支払われた事故の保険金支払対象区分別(保険金種別)の事故件数及び支払保険金額を表9、保険金支払対象区分別(保険金種別)の事故件数及び支払保険金額の比率を図9-①及び図9-②に示しています。

表9 保険金支払対象区分別(保険金種別)の事故件数及び支払保険金額

保険金支払対象区分(保険金種)	事故件数(件)	支払保険金額(千円)
治療・救済費用(ケガ)	53	4,848
治療・救済費用(病気)	227	10,330
携行品損害	77	3,223
賠償責任・留学生賠償責任	5	1,576
航空機遅延	31	113
計	393	20,090



事故件数は393件、支払保険金額は20,090千円、事故率(加入学生数8,904人に対する事故件数の割合)は4.4%となっており、付帯海学に加入した学生の23人に1人が事故等に遭っています。

保険金種別の事故件数では、治療・救援費用(病気)58%、携行品損害20%、治療・救援費用(ケガ)13%の順に多くなっています。

支払保険金額では、治療・救援費用(病気)51%、治療・救援費用(ケガ)24%、携行品損害16%の順に多くなっています。

図や表は掲載していませんが、事故件数の男女比は、35%:65%になっています。治療・救援費用(ケガ)では大きな差はありませんが、治療・救援費用(病気)及び携行品損害で女性の事故件数が多くなっています。

治療・救援費用(病気)では、胃腸炎による下痢・嘔吐・腹痛などの症状やかぜ(急性上気道炎)による発熱・頭痛・喉の痛みなどの症状が多くなっています。携行品損害では、携帯電話やスマートフォンの盗難・破損、スーツケースの破損、パソコンの盗難・破損が多くなっています。また、賠償責任・留学生賠償責任では、事故件数は少ないものの、ジェットスキー破損などによる高額を支払いが発生しています。

3 保険金支払状況からみた死亡事故の推移と傾向

リスク管理の観点からは、発生確率が低くても、取り返しのつかない結果を招く事案への対処は極めて重要です。その意味において、学生の死亡はその事案の典型であり、大学等における死亡事故防止のための取組みの重要性に鑑みて、ここでは、死亡事故を取り上げます。

(1) 死亡事故件数の推移

平成23年度から平成27年度までの学研災における死亡事故件数の推移は表10及び図10－①、保険金支払対象区分別(活動形態別)の死亡事故件数の平均の比率は図10－②のとおりです。5年間で67件の死亡事故が発生しており、平成24年以降は年間12～13件で推移しています。

なお、死亡事故率としては、学研災加入学生100万人あたり年間4.8件の割合です。

表10 死亡事故件数の推移(単位:件)

保険金支払対象区分(活動形態)		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	合計
正課中	体育実技中	1	0	0	0	0	1
	理科系の実験中	0	0	0	0	0	0
	医療系の実習中	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
学校行事中		0	0	0	0	0	0
学校施設内・その他		1	0	0	0	0	1
課外活動(クラブ活動)中	学校施設内	0	1	0	2	0	3
	学校施設外	3	0	5	3	4	15
通学中		11	12	7	8	6	44
学校施設間移動中		1	0	0	0	2	3
計		17	13	12	13	12	67

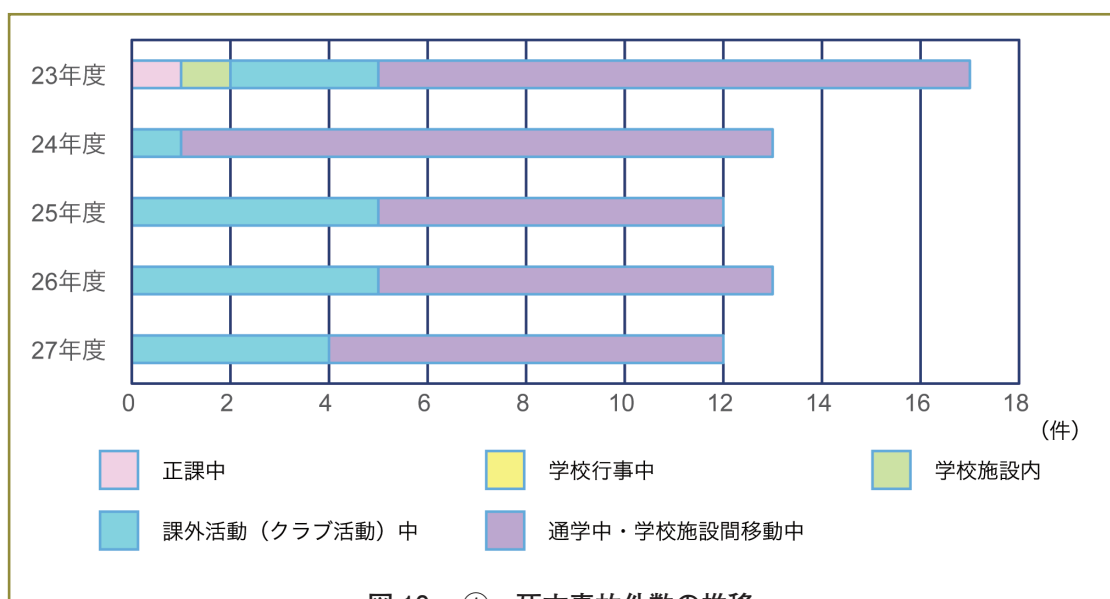
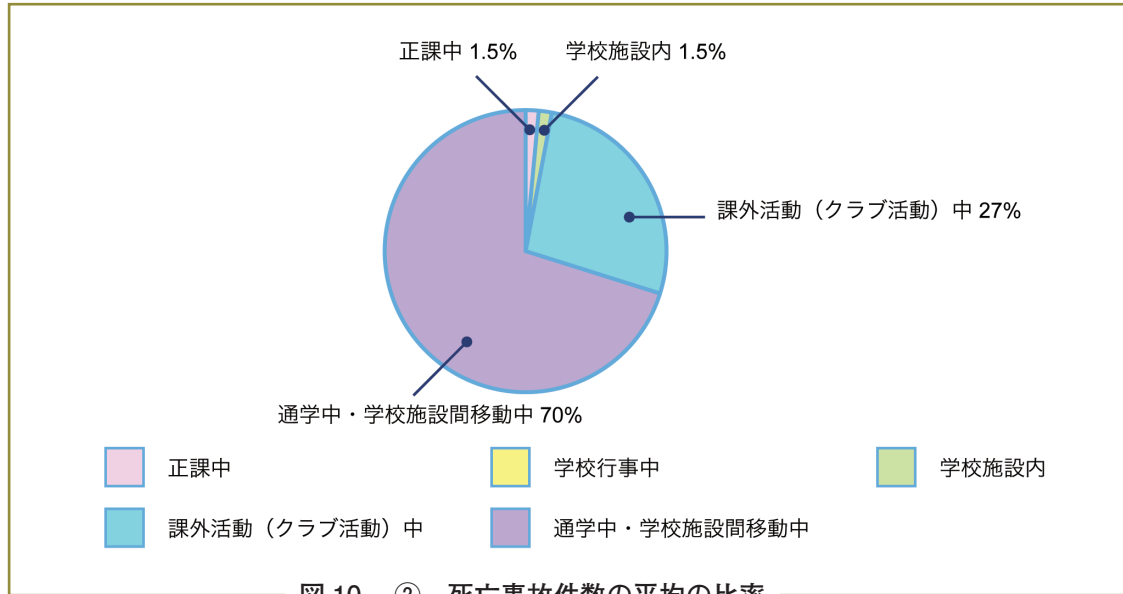


図10－① 死亡事故件数の推移



活動形態別の内訳（構成比率）を見ると、学校行事中の事故は発生しておらず、正課中に1件(1.5%)、学校施設内で1件(1.5%)の事故が発生していますが、これらは死亡事故の3%であり、残りの97%は、課外活動(クラブ活動)中の18件(27%)と通学中・学校施設間移動中の47件(70%)でした。また、平成24年以降は、正課中及び学校施設内の事故は発生していません。

(2)死亡事故の傾向

ア 課外活動(クラブ活動)中の事故

平成23年度から平成27年度までの5年間の課外活動(クラブ活動)中の死亡事故18件の中で、競技や種目の特性に起因しない事故が15件(83%)と高い割合となっており、特に合宿中の自由時間に多くの事故が発生しています。その中の半数以上の8件が溺死でした。また、合宿中の飲酒に起因すると思われる事故も3件発生しています。

イ 通学中・学校施設間移動中の事故

平成23年度から平成27年度までの5年間の通学中・学校施設間移動中の死亡事故件数は47件で、死亡事故の中で70%を占めています。47件の死亡事故の中では、被保険者の移動手段にかかわらず、相手が車の事故が39件(83%)と高い割合になっています。また、6件(13%)と件数は少ないものの単独事故も発生しており、そのときの移動手段は、自動車、バイク及び原動機付自転車(原付)によるものでした。

傷害の部位については、頭蓋骨骨折や脳挫傷が29件(62%)で、通学中の交通事故で頭部に受傷して死亡する事故が多くなっています。

4 保険金支払状況からみた後遺障害事故の推移と傾向

後遺障害事故を伴う事故についても、死亡事故と同様に、事故防止のための取組みが重要になります。

(1)後遺障害事故件数の推移

平成23年度から平成27年度までの学研災における後遺障害事故件数の推移は表11及び図11－①、保険金支払対象区分別(活動形態別)の後遺障害事故件数の平均の比率は図11－②のとおりです。5年間で810件の後遺障害事故が発生しており、平成25年以降は年間160件前後で推移しています。

なお、後遺障害事故率としては、学研災加入学生10万人あたり年間5.8件の割合です。

表11 後遺障害事故件数の推移(単位:件)

保険金支払対象区分(活動形態)		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	合計
正課中	体育実技中	8	3	6	5	4	26
	理科系の実験中	4	6	5	3	0	18
	医療系の実習中	0	0	0	1	0	1
	その他	4	10	6	4	4	28
学校行事中		2	7	5	3	1	18
学校施設内・その他		2	2	7	5	7	23
課外活動 (クラブ活動)中	学校施設内	19	23	24	25	20	111
	学校施設外	21	24	30	24	19	118
通学中		79	110	73	97	99	458
学校施設間移動中		3	3	0	2	1	9
計		142	188	156	169	155	810

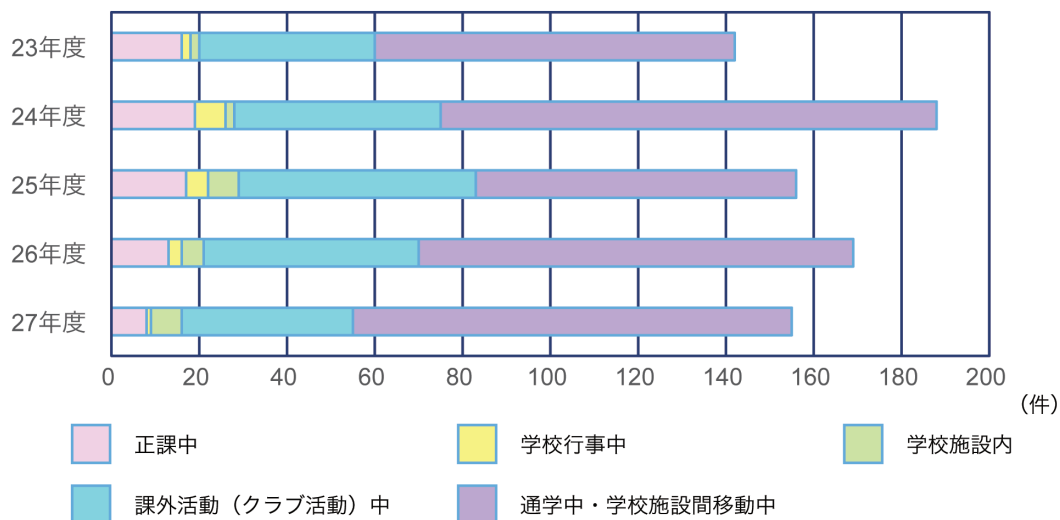


図11－① 後遺障害事故件数の推移

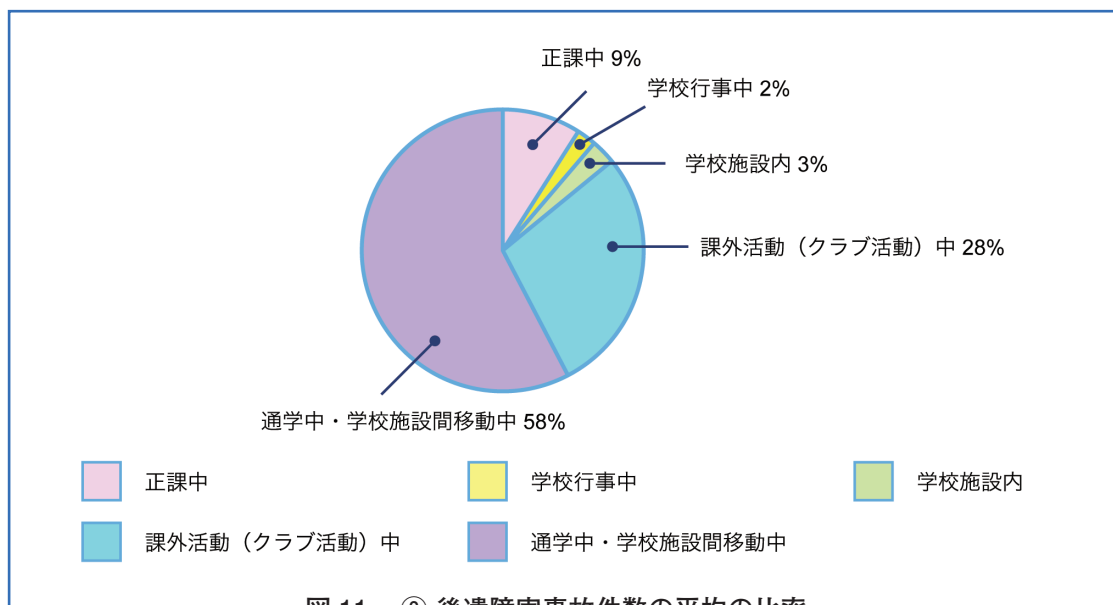


図 11 - ② 後遺障害事故件数の平均の比率

活動形態別の内訳（構成比率）を見ると、正課中に73件(9%)、学校行事中に18件(2%)、学校施設内で23件(3%)の事故が発生しています。後遺障害事故においてこれらの活動での事故は、後遺障害事故全体の14%となっており、必ずしも大きくはありませんが、これらの事故の比率は、死亡事故におけるそれらの比率が3%であったことを勘案すると高いものとなっています。

残りの86%は、229件(28%)が課外活動(クラブ活動)中、467件(58%)が通学・学校施設間移動中に発生していました。毎年、課外活動(クラブ活動)中と通学中・学校施設間移動中の事故が85%前後を占めています。

(2)後遺障害事故の傾向

ア 活動形態別の傾向

(ア)正課中、学校行事中、学校施設内の事故

平成26年度及び平成27年度の正課中、学校行事中、学校施設内の事故37件の中では、それぞれの活動中に転倒(あるいは転落)して骨折する事故が26件発生しており、その際、腰部を骨折するような事故では重い障害が残っています。また、それぞれの活動中に交通事故に遭遇する事故が7件発生しています。

(イ)課外活動(クラブ活動)中の事故

平成26年度及び平成27年度の課外活動(クラブ活動)中の事故88件の中では、死亡事故の場合とは異なり、活動に直接関係して発生したものがほとんどで、競技や種目の特性に起因しない事故は8件でした。ただし、これらは、件数は少ないものの、合宿中の交通事故や懇親会等での事故であり、頭部の挫傷や頸部の骨折となって、重い障害が残っています。

それぞれの競技や種目の特性に起因した事故では、ボールや相手選手の体の一部が目当たる事故、相手選手と接触して骨折や脱臼する事故、関節を捻って靱帯を損傷する事故などが、毎年複数件発生しており、障害の部位や程度によっては重い障害が残る事故となっています。種目別では、ラグビー、サッカー、野球などで多く発生しています。

(ウ)通学中・学校施設間移動中の事故

平成23年度から平成27年度までの5年間の通学中・学校施設間移動中の後遺障害事故における移動手段別の事故件数を表12に示しています。また、男女別の移動手段の比率を図12-①、移動手段別の男女比を図12-②に示しています。

表12 後遺障害事故における移動手段別の事故件数(単位:件)

移動手段		23年度		24年度		25年度		26年度		27年度		合計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	小計
通学中・ 学校施設 間移動中	徒歩	4	8	6	7	3	5	1	7	2	5	16	32	48
	自転車	16	9	19	19	15	13	18	20	17	14	85	75	160
	原付	12	6	14	7	7	8	13	8	17	11	63	40	103
	バイク	18	5	26	5	11	2	25	1	20	5	100	18	118
	自動車	2	2	8	2	4	5	0	4	5	3	19	16	35
	その他	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	3	3
計		52	30	73	40	40	33	57	42	61	39	283	184	467

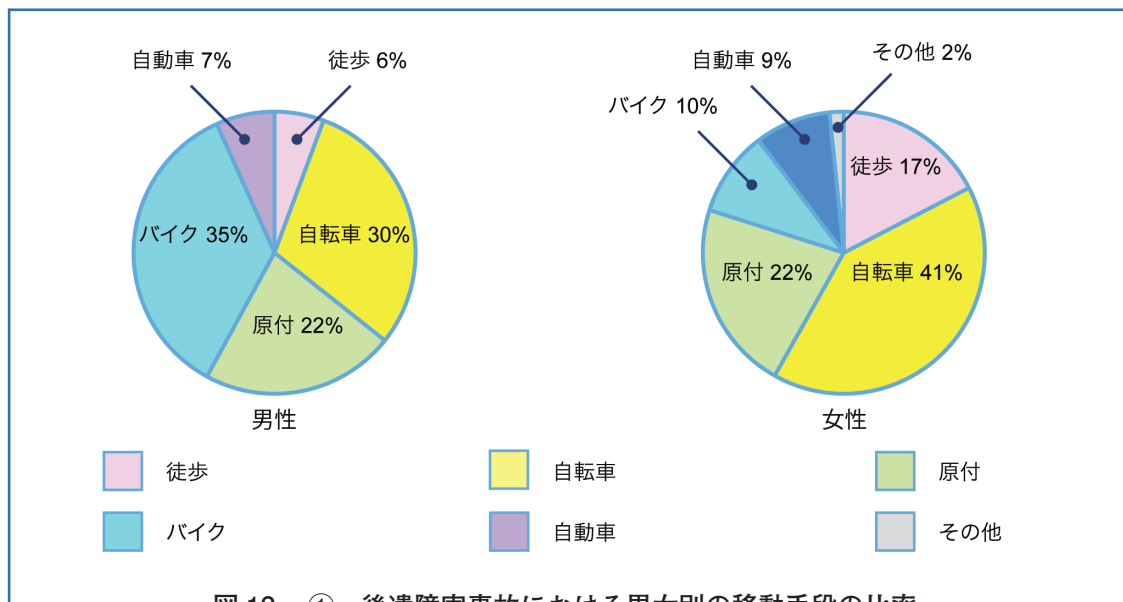


図12-① 後遺障害事故における男女別の移動手段の比率

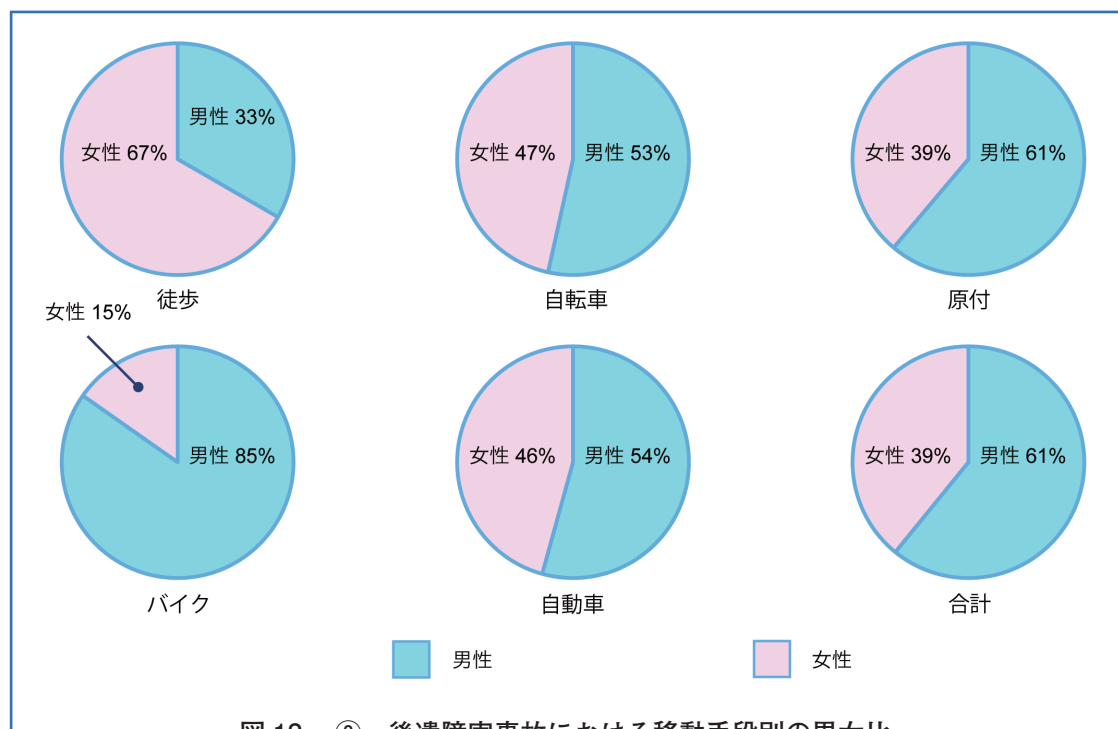


図 12 - ② 後遺障害事故における移動手段別の男女比

平成23年度から平成27年度までの5年間の通学中・学校施設間移動中の後遺障害事故の合計は467件で、死亡事故と同様、移動手段にかかわらず、相手が車の場合の事故が約80%と高い割合となっています。

被保険者の主な移動手段は、自転車、原付、バイクで、それぞれ160件(34%)、103件(22%)、118件(25%)となっており、これらの合計は、通学中・学校施設間移動中の事故の約80%を占めています。

これを男女別で見ると、自転車、原付、バイクの比率は、男性では、30%、22%、35%、女性では、41%、22%、10%となっており、男性のバイク、女性の自転車での事故が目立っています。

また、女性の徒歩での移動中の事故は、件数では男性の2倍、比率では男性の3倍になっています。

近年、左折車に巻き込まれ、青信号を横断中に事故に遭うなど、相手側に過失があると思われる事故も多くなっていますが、特に女性の自転車での移動中に、これらの事故に遭う事例が多数見受けられます。

イ 障害部位、傷害種別及び後遺障害の内容の傾向

平成26年度及び平成27年度の後遺障害事故における障害部位に関しては、頭部、顔部、腰部に傷害を受ける事故が多発しています。特に、交通事故の割合の高い通学中・学校施設間移動中の事故の中では、頭部の割合が高くなっています。

なお、顔部が多くなっていたのは、ボールが目当たる事故による視力低下や、相手選手と接触して歯を折る事故による歯科補綴などの目や歯の障害を顔部の障害に含めているためと、醜状痕が後遺障害として認定されていたものが多くあったためです。

傷害種別については、骨折が全体の半分近くを占めており、挫傷(打撲)が次に多くなっています。頭部、頸部、腰部の骨折が重い障害になっています。

後遺障害の内容については、全体の中では、局部に神経症状を残すもの、局部の機能に障害を残すもの、外貌に醜状を残すもの、脊柱に変形を残すものなどが多く、重い障害の中では、神経系統の機能又は精神に著しい障害を残すものや脊柱に変形を残すものが多くなっています。

5

5 保険金支払状況からみた留学生がかかわった事故の推移と傾向

(1) 留学生がかかわった事故の推移

平成24年度から平成27年度までに学研災の保険金が支払われた事故の中で、留学生がかかわった事故について、保険金支払対象区分別(活動形態別)の事故件数及び支払保険金額を表13、事故件数及び支払保険金額の推移を図13-①及び図13-②、保険金支払対象区分別(活動形態別)の事故件数及び支払保険金額の平均の比率を図13-③及び図13-④に示しています。

表13 留学生がかかわった事故の件数及び支払保険金額

		24年度		25年度		26年度		27年度	
保険金支払対象区分(活動形態)		件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)
正課中	体育実技中	21	424	26	507	18	295	23	533
	理科系の実験中	18	114	23	215	23	1,922	25	352
	医療系の実習中	2	18	2	33	0	0	0	0
	その他	17	322	11	496	16	148	13	491
学校行事中		15	349	9	934	9	196	11	378
学校施設内・その他		13	898	15	17,036	15	1,670	10	2,645
課外活動 (クラブ活動)中	学校施設内	64	3,472	64	2,808	52	3,106	62	2,862
	学校施設外	10	1,032	23	1,348	29	2,068	22	1,426
通学中		72	11,589	81	11,076	73	21,775	61	12,573
学校施設間移動中		1	170	0	0	0	0	1	6
計		233	18,388	254	34,453	235	31,180	228	21,266

※ 留学生がかかわった事故の統計は平成24年度から開始

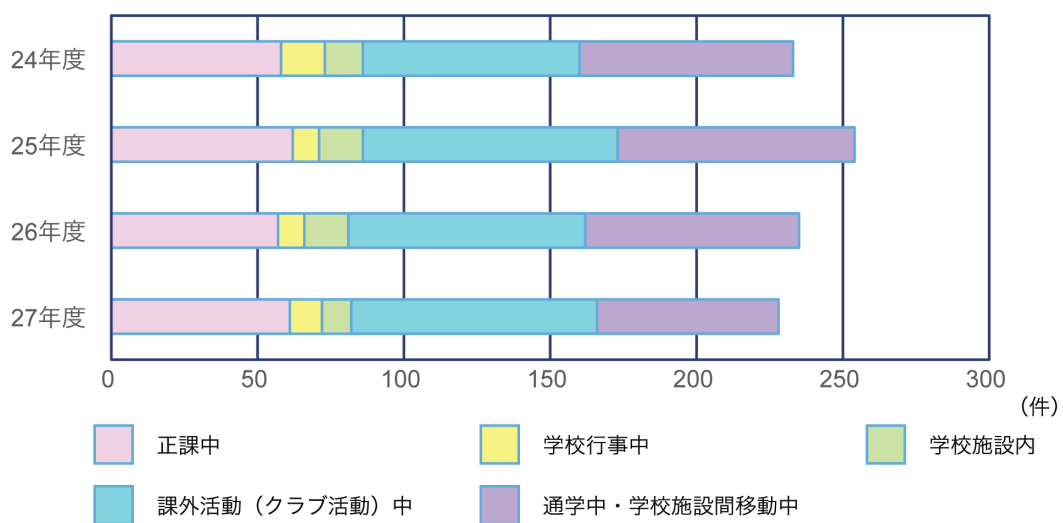


図13-① 事故件数の推移

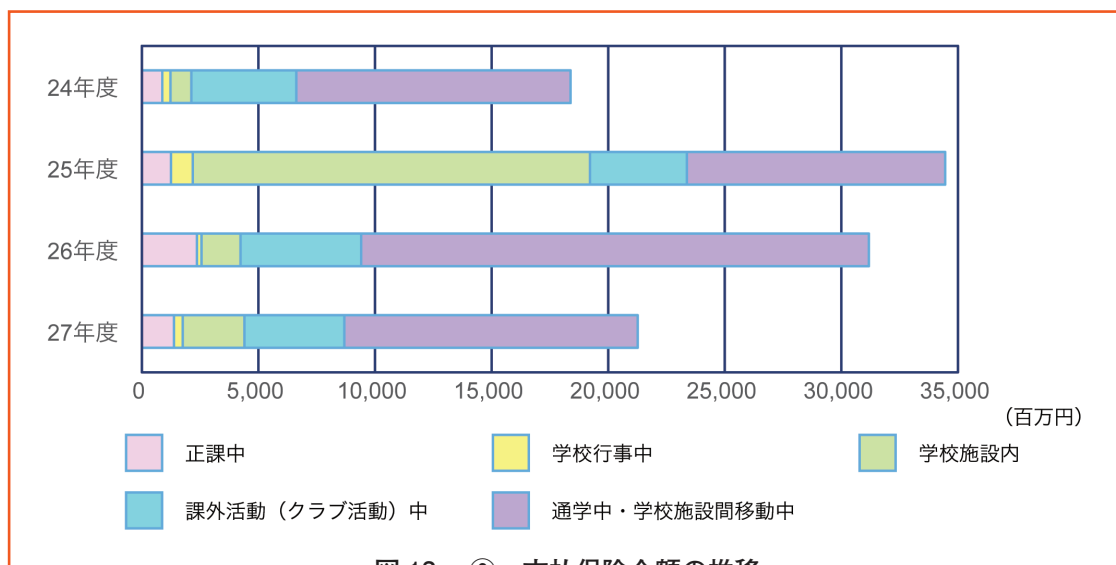


図13-② 支払保険金額の推移

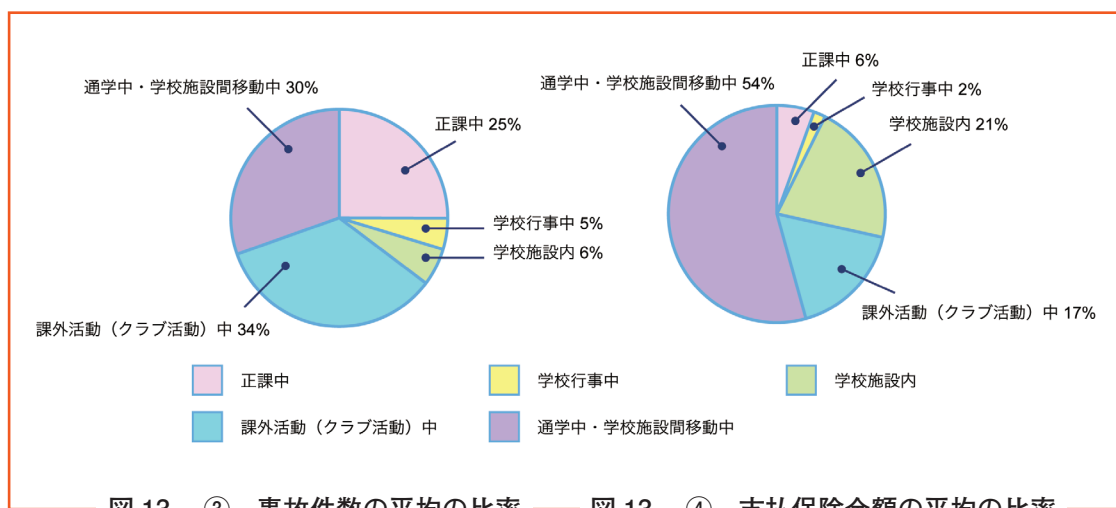


図13-③ 事故件数の平均の比率

図13-④ 支払保険金額の平均の比率

平成24年度から平成27年度までの4年間で、事故件数の平均は238件／年、支払保険金額の平均は26,322千円／年となっており、同じ時期の事故全体に対しては、件数は約1.5%、支払保険金額は約2.1%を占めています。

支払保険金額については、年度による差異が著しく、これは、事故件数が少ないために、後遺障害保険金などの高額な保険金の支払いが大きく影響しています。

事故の内容そのものは、日本人学生の場合と大きな差異はありません。雪道や凍結した道路での転倒など、生活環境の違いに起因するような事故も見受けられますが、発生件数が少ないために、統計上の有意な比較はできません。また、過去4年間においては留学生の死亡事故は発生していないものの、後遺障害を伴う事故も発生しています。

他方で、保険金支払対象区分(活動形態)では、平成24年度から平成27年度の分布比率に

において、一定の差異を見いだすことができます。すなわち、日本人学生がかかわった事故と留学生がかかわった事故を合わせた事故全体と比較してみると、事故全体では、課外活動(クラブ活動)中と通学中・学校施設間移動中の事故の比率が、件数では61%と12%、支払保険金額では56%と29%になっているのに対して、留学生がかかわった事故を見てみると、件数では34%と30%、支払保険金額では17%と54%になっています。

留学生がかかわった事故は、通学中が目立っています。件数の比率においては、課外活動(クラブ活動)中で全体の半分程度、通学中で3倍近くになっており、支払保険金額の比率においては、課外活動(クラブ活動)中で半分以下になっているのに対して、通学中で2倍近くになっています。

また、件数も支払保険金額も低いものの、学校施設内の事故の占める割合が高くなっています。学校施設内の事故は、事故全体との比較では、件数で2.4倍、支払保険金額で8.1倍となっています。

(2)留学生がかかわった事故の男女別の傾向

次に、男女別の留学生の事故の傾向について検討します。

平成24年度から平成27年度までの男女別の留学生の事故件数を表14、その合計の比率を図14—①に示します。また、男女別の留学生の支払保険金額の比率を図14—②に示します。

表14 男女別の留学生の事故件数(単位:件)

		24年度		25年度		26年度		27年度		合計		
保険金支払対象区分(活動形態)		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	小計
正課中	体育実技中	15	6	17	9	12	6	15	8	59	29	88
	理科系の実験中	7	11	15	8	12	11	16	9	50	39	89
	医療系の実習中	0	2	0	2	0	0	0	0	0	4	4
	その他	6	11	9	2	6	10	6	7	27	30	57
学校行事中		7	8	3	6	7	2	8	3	25	19	44
学校施設内・その他		8	5	13	2	9	6	4	6	34	19	53
課外活動 (クラブ活動)中	学校施設内	56	8	55	9	41	11	56	6	208	34	242
	学校施設外	8	2	21	2	28	1	18	4	75	9	84
通学中		34	38	40	41	38	35	29	32	141	146	287
学校施設間移動中		0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	2
計		141	92	173	81	153	82	152	76	619	331	950

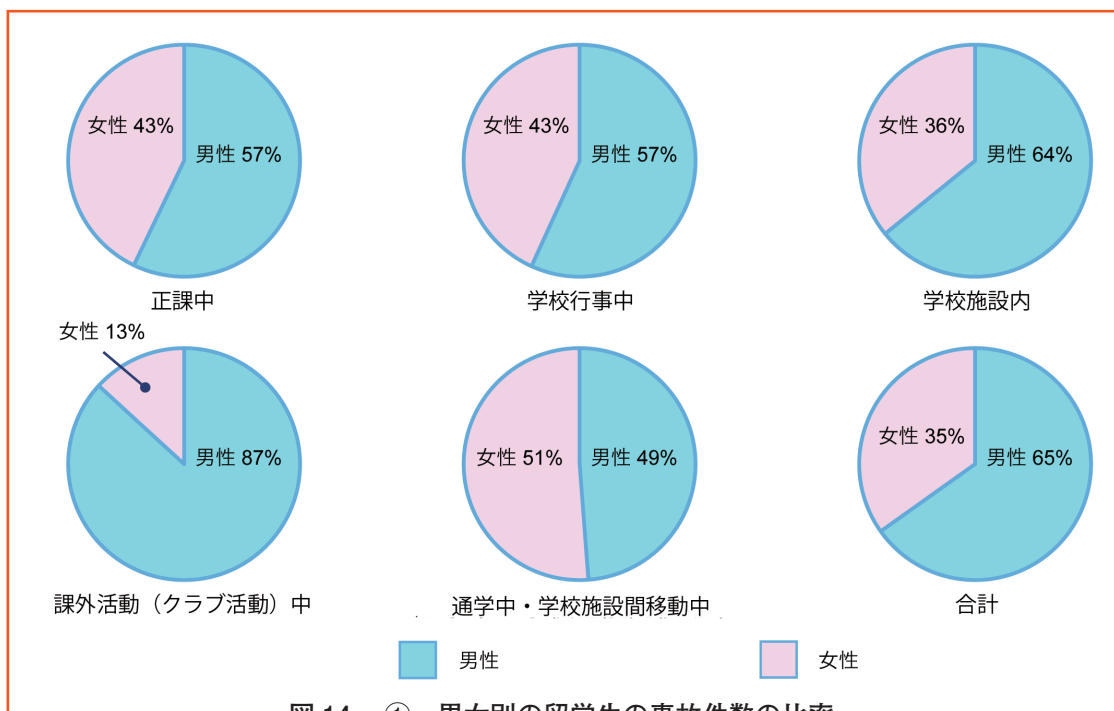


図 14 - ① 男女別の留学生の事故件数の比率

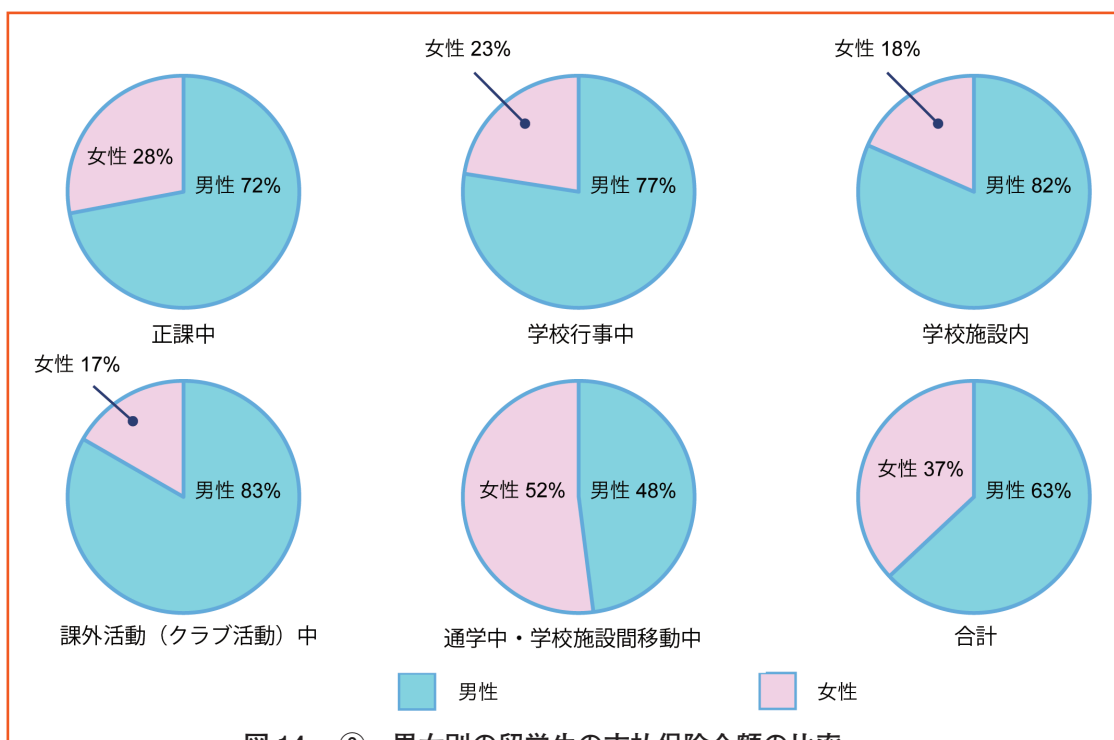


図 14 - ② 男女別の留学生の支払保険金額の比率

事故件数に関しては、合計における男女比は、男性65%、女性35%となっており、男性の事故が女性のそれよりも1.9倍近く発生しています。これは、日本人学生を含めた事故全体としての傾向と近いものです。

保険金支払対象区分別（活動形態別）の件数では、正課中、学校行事中、学校施設内での事故は、日本人学生を含めた事故全体ではほぼ同程度となっていました。留学生がかか

わたったこれらの事故では、男性がやや多く、通学中・学校施設間移動中においては、逆に女性が多くなっています。課外活動(クラブ活動)中における男女比は87%:13%となっており、男性の事故件数が女性のその6.5倍以上となっており、事故全体と同様の傾向を示しています。

支払保険金額における男女比については、正課中(72%:28%)、学校行事中(77%:23%)、学校施設内(82%:18%)及び課外活動(クラブ活動)中(83%:17%)では、男性が多くなっていますが、通学中・学校施設間移動中においては、48%:52%で女性が多くなっています。

(3)留学生がかかわった後遺障害事故の推移と傾向

平成24年度から平成27年度までの後遺障害事故の中で、留学生がかかわった事故について、事故件数及び支払保険金額の推移は表15及び図15－①、保険金支払対象区分別(活動形態別)の後遺障害事故件数の平均の比率は図15－②のとおりです。

表15 留学生の後遺障害事故件数の推移

		24年度		25年度		26年度		27年度	
保険金支払対象区分(活動形態)		件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)
正課中	体育実技中	0	0	0	0	0	0	0	0
	理科系の実験中	0	0	0	0	1	1,500	0	0
	医療系の実習中	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
学校行事中		0	0	1	720	0	0	0	0
学校施設内・その他		0	0	1	15,000	1	600	1	2,250
課外活動(クラブ活動)中	学校施設内	0	0	0	0	1	450	0	0
	学校施設外	0	0	0	0	0	0	0	0
通学中		6	7,635	6	6,120	5	16,560	5	8,940
学校施設間移動中		0	0	0	0	0	0	0	0
計		6	7,635	8	21,840	8	19,110	6	11,190

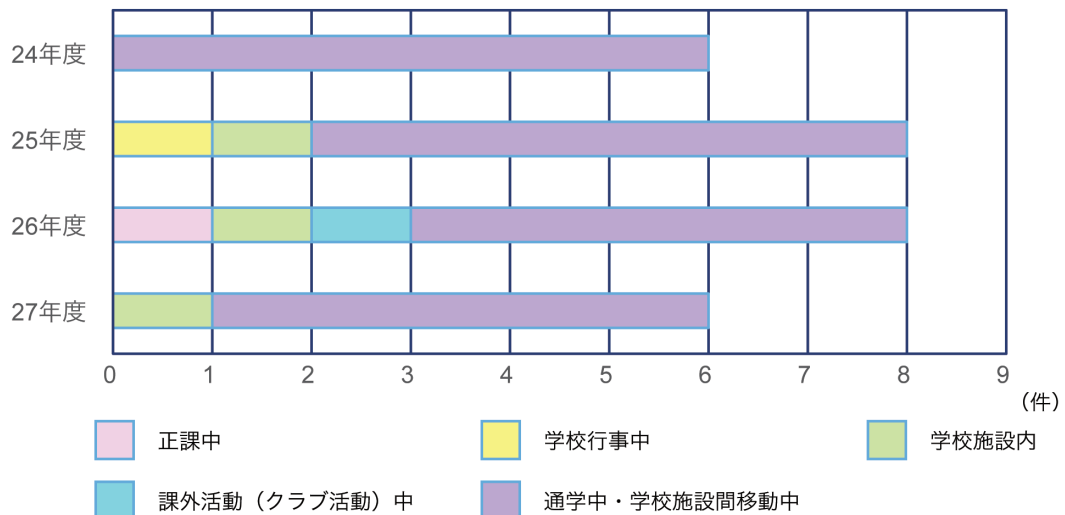


図15－① 事故件数の推移

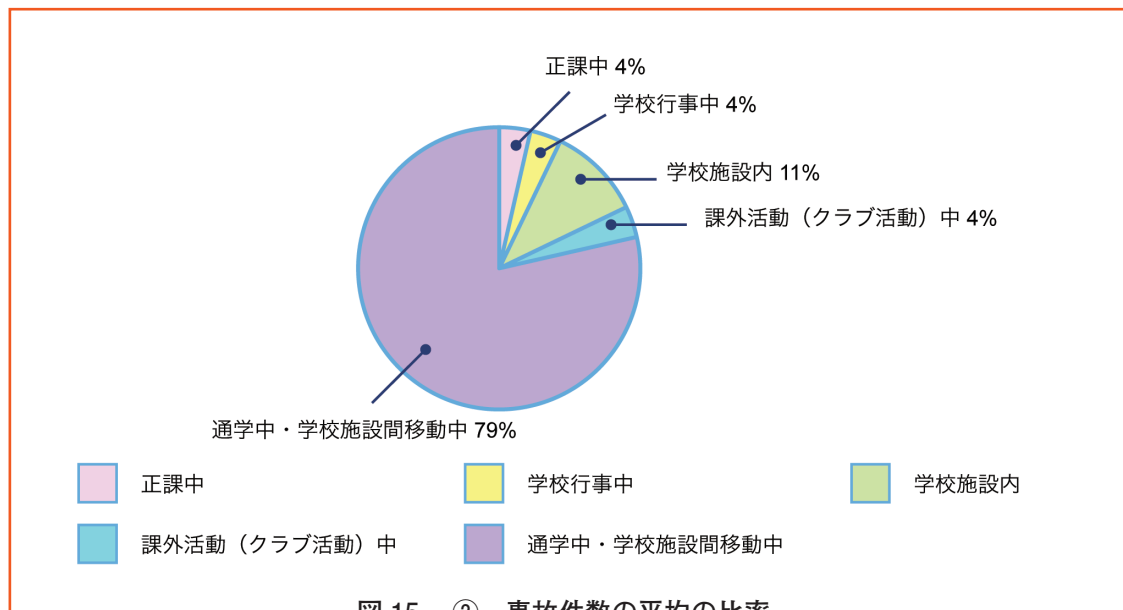


図 15 - ② 事故件数の平均の比率

4年間で28件の後遺障害事故が発生しており、同じ時期の後遺障害事故全体に対しては、件数は約4.2%、支払保険金額は約3.9%を占めています。この数字は、事故全体に対しての留学生がかかわった事故の比率が、それぞれ1.5%、2.1%であったことを鑑みると、留学生はより高い確率で後遺障害事故に遭遇しているということになります。

6

6 近年の主な事故の内容(事故事例)

近年の主な事故について、最初に、死亡事故と後遺障害事故の事例を紹介し、次に、重篤なもの以外の事例を4種類の保険(学研災、付帯賠償、付帯学総及び付帯海学)毎にまとめ、さらに、外国人留学生がかかわった学研災及び付帯賠償における事故事例をまとめています。

なお、最後に、参考として平成28年度の死亡事故事例を掲載しました。

(1)死亡事故

平成23年度から平成27年度までの主な死亡事故事例を、活動形態で区分して示します。

ア 課外活動中

No.	学校種別	学部分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金(単位:円)
1	大学	文系	サークル活動中、学内の移動でスケートボードに乗り転倒し、頭部を強打した。頭部骨折・脳挫傷による脳死と判定された。	死亡 医療・入院	10,254,000
2	大学	理系	ラグビーの試合中、相手プレーヤーと衝突し頭部を強打した。脳出血により死亡した。	死亡 医療・入院	10,122,000
3	大学	体育系	バレーボール部の活動でビーチバレーの練習後、海に入った際、波にさらわれ溺死した。	死亡 入院	10,004,000
4	大学	理系(夜間)	部活動での大会終了後、休憩中にバイクに乗り対向車と衝突した。頭蓋骨骨折・脳挫傷により死亡した。	死亡 入院	10,004,000
5	大学	理系	山岳部での活動中、滑落し脳挫傷により死亡した。	死亡	10,000,000
6	大学	文系	サークルの合宿中、海で遊泳中に流されて、行方不明になった。約半年後に、死亡認定の手続きを行い、死亡の扱いになった。	死亡	10,000,000
7	大学	文系	部活動の合宿中の自由時間に、桟橋から湖に飛び込み、溺死した。	死亡	10,000,000
8	大学	文系	サークル活動の合宿中、懇親会に参加している時に建物7階の窓から転落し、多発性骨折・重症多発外傷により死亡した。	死亡 入院	6,032,000
9	大学	文系	部活動の合宿の打ち上げ後に、宿泊先の3階の部屋から転落した。脳挫傷・頭蓋骨・脊椎骨折により死亡した。	死亡 入院	6,012,000
10	大学	文系	ヨット部の合宿中、風にあおられボートが転覆し、溺死した。	死亡 入院	6,004,000
11	大学	文系	部活動の合宿中、近くの川で泳いでいた際、急流に流され溺死した。	死亡	6,000,000
12	大学	理系	サークルの合宿中、海で遊泳中に波にさらわれ溺死で発見された。	死亡	6,000,000
13	大学	文系	サークル活動の合宿中、川で遊泳中に流され溺死した。	死亡	6,000,000
14	大学	文系	サークル合宿にて飲酒後に就寝中、喉に吐しゃ物を詰まらせ窒息した。	死亡	6,000,000

★水の事故が目立ちます(No.3,6,7,10-13)。特に、合宿中に多く発生しています。

イ 通学中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
15	大学	理系	自転車で帰宅中、後方より車に衝突され頸椎頸髄損傷により死亡した。	死亡 医療・入院	10,043,000
16	大学	理系	バイクで通学中、転倒し重度意識障害の後、多臓器不全により死亡した。	死亡 医療・入院	10,022,000
17	短大	文系	保護者の運転する車で通学途中、車と衝突し脳挫傷により死亡した。	死亡 入院	10,004,000
18	大学	理系	原付で実習先に向かう途中、車と正面衝突し頭蓋骨骨折・急性硬膜下血腫・脳挫傷により死亡した。	死亡 入院	10,004,000
19	大学	理系	車で帰宅中、ため池に車ごと転落し溺死した。	死亡 入院	10,004,000
20	大学	文系	原付で部活動の練習に向かう途中、車と接触後、対向車と衝突し、緊張性気胸により死亡した。	死亡 入院	10,004,000
21	大学	体育系	バイクで帰宅中、転倒し対向車線に投げ出され、対向車に轢かれ、頭蓋骨骨折により死亡した。	死亡 入院	6,004,000
22	大学	文系	徒歩で帰宅中、交通事故に遭い頭蓋骨骨折・外傷性くも膜下出血により死亡した。	死亡 入院	6,004,000

★移動手段を問わず、交通事故による死亡が多発しています。

ウ 施設間移動中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
23	大学	理系	施設間の移動中、徒歩で青信号を横断していた際、車に撥ねられ全身打撲により死亡した。	死亡 入院	10,004,000

(2)後遺障害事故

平成23年度から平成27年度までの主な後遺障害事故事例を、活動形態で区分して示します。

ア 正課中(体育実技)

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
24	大学	体育系	体操の授業中、前方宙返りに失敗し頭部から落下した。神経系統の機能障害が生じ、随時介護を要する後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	31,020,000
25	大学	体育系	床運動の練習中、空中でバランスを崩し頭部から落下した。頸髄損傷による四肢麻痺の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	31,020,000
26	大学	体育系	前方宙返りの練習中、バランスを崩し頭部から落下した。頸髄損傷による完全麻痺の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	31,020,000
27	大学	理系	ハードルを跳んだ際に転倒し、膝を痛め1関節の機能全廃の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	10,862,000
28	大学	体育系	陸上競技の授業中、投擲物が目に直撃した。眼球が破裂し眼球に著しい調整機能障害を残した。	後遺障害 医療・入院	9,324,000
29	大学	文系	体育実技の際、バランスを崩して、転倒した。頸部を骨折し、神経系統の機能障害の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	8,076,000
30	大学	文系	体育の授業中、マット運動で倒立前転をしていて転倒した。胸部・腰部を骨折し、脊柱変形の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	4,566,000
31	大学	文系	学外冬季実習中、スノーボードでターンの際に転倒した。胸・腹・背部を骨折し、神経症状の後遺障害を負った。	後遺障害 医療	4,550,000
32	大学	体育系	5段跳びの着地時に、しりもちをつき、腰部を骨折し、脊椎変形の後遺障害を負った。	後遺障害 医療	4,530,000

33	大学	文系	スノーボード実習中、ジャンプの際に着地に失敗した。腰を圧迫骨折し、脊柱に奇形を残すこととなった。	後遺障害 医療	4,515,000
----	----	----	--	------------	-----------

- ★体操の授業で重篤な事故が発生しています(No.24-26,29,30)。落下等への対策が必要です。
- ★スノーボードも大きな事故に繋がっています(No.31,33)。
- ★陸上競技でも後遺障害が発生しています(No.27,28,32)。

イ 正課中(理科系の実験・実習中)

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
34	大学院	理系	実験に使用するレーザーポインターを修理中、両眼にレーザー光を照射し、視力低下の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	26,786,000
35	大学院	理系	実験中、レーザー光が目に入り視力障害・視野障害の後遺障害を負った。	後遺障害 医療	9,306,000
36	大学	理系	実験道具のローラーをサンドペーパーで磨いている途中、手を巻き込まれた。指の変形・可動域制限の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	4,824,000
37	大学	理系	ガラス器の洗浄をする際、硝酸の入った廃液銀にエチルアルコールを入れたところ、液体が吹き出て顔を火傷し、外貌醜状痕の後遺障害を負った。	後遺障害 医療	4,503,000
38	大学院	理系	レーザー装置調整中、散乱光が眼に入り、1眼の矯正視力が0.6以下になった。	後遺障害 入院	2,115,000
39	大学	理系	卒業研究中、実験室から研究室に移動する際、滑って転倒し、ガラス扉に衝突した。手指を切傷し、機能障害の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	1,732,000
40	大学	理系	実験の授業中、試薬ビンを倒した際、溶液で肘・大腿部を火傷した。醜状痕の後遺障害を負った。	後遺障害 医療	1,215,000

- ★理系の実験では、切傷や火傷の他、眼にも大きなケガを負っています(No.34,35,38)。

ウ 正課中(医療実習)

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
41	大学	理系	保健師実習中、足を捻って転倒した。足関節を捻挫し、神経系統の機能障害の後遺障害を負った。	後遺障害 医療	7,940,000

エ 正課中(その他)

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
42	大学院	理系	学会の会場からホテルへ帰る時に、車に轢かれ、足を骨折し、神経症状の後遺障害を負った。	後遺障害 医療	4,940,000
43	大学	通信	授業で取材中、3.5mの屋根から落下した。腰部を骨折し、腰椎変形の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	4,582,000
44	大学	文系	教育実習中、立ちくらみで倒れた際、椅子の背もたれで喉を強打した。背板麻痺による発声障害の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	3,070,000

オ 学校行事中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
45	大学	理系	学校行事中、乗車したバスが車と衝突し、跨線橋から転落した。顔部・頭部を骨折・挫傷し、神経系統の機能障害・複視・醜状痕の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	15,616,000
46	大学	理系	小学校の体育授業のボランティア中、鉄棒で背中から落下した。腰部を骨折し、脊柱変形の後遺障害を負った。	後遺障害 医療	4,515,000
47	大学	理系	卒業アルバムの撮影中、転倒し、しりもちをついた。胸椎を骨折し、脊柱変形の後遺障害を負った。	後遺障害 医療	4,515,000

48	大学	文系	卒業式の後、所属していた運動部の後輩に胴上げされたが受け止めきれず落下し、脊柱に変形を残す障害を負った。	後遺障害 医療	4,506,000
49	大学	文系	学校行事のレスリング講座で、相手を背負って歩く練習を実施した際、マットに足が躓き、転倒した。膝を骨折・靱帯損傷し、神経症状の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	3,376,000
50	大学院	文系	レクリエーションでソフトボール中、転倒し肘を骨折し、機能障害を負った。	後遺障害 医療・入院	1,674,000

カ 学校施設内

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
51	大学	文系	パーティに参加中、会場の窓から転落し脊髄を損傷した。四肢麻痺の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	16,020,000
52	大学院	理系	学校施設内を原付で走行中、歩行者を避けようとして転倒した。頭部を骨折し、神経系統の機能障害・視力低下・視野狭窄の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	9,114,000
53	短大	文系	階段から転落した。足関節を骨折・靱帯損傷し、機能障害の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	3,250,000
54	大学	文系	転倒した際、ガラス戸に衝突し、ガラスが足に突き刺さった際に、下腿を筋断裂し、神経症状・足指の用を廃する後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	2,478,000
55	大学	文系	自転車で構内道路を横断中、車と衝突した。顔部を打撲し、醜状痕の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	2,320,000

キ 課外活動(クラブ活動)中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
56	大学	理系	サークルの懇親会で、ビーチバレーをしているとき、砂浜で転倒し、頭頂部から着地した。頭部を骨折し、四肢麻痺の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	16,020,000
57	大学	理系	スキー練習中、谷に滑落した。頸椎を脱臼骨折し、四肢完全麻痺の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	16,020,000
58	大学	理系	野球の練習中、打球が側頭部を直撃した。頭部を骨折し、神経系統の機能障害の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	15,920,000
59	大学	体育系	陸上競技部のウエイトトレーニング中、バーベルを戻そうとした際に転倒した。ウエイトが体に落ち、胸部・腰部を脱臼・骨折し、両下肢麻痺の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	15,920,000
60	大学	文系	チアリーダーのスタンツ中、3段目の高さから落下した。腰部を骨折し、足関節以上の下肢喪失の後遺障害を負った。	後遺障害 医療	5,130,000
61	大学	文系	野球部の練習中、ワンバウンドした打球が目当たり、視力低下・視野狭窄の後遺障害を負った。	後遺障害 入院	3,518,000
62	大学	文系	柔道の練習中、踏ん張ったときに、足関節を捻った。足関節の靱帯を損傷し、機能障害・神経症状の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	2,370,000
63	大学	理系	体操部の練習中、バク転をして、腰から落下した。腰部を骨折し、脊柱変形の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	2,356,000
64	大学	文系	ラグビーの試合中、相手選手の肘が目当たり、顔部(目)を骨折し、複視の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	1,862,000
65	大学	理系	サッカーの試合中、タックルされ、膝を捻った。膝靱帯を損傷し、神経症状・機能障害の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	1,572,000
66	大学	文系	バレーボールの練習中、ブロックをした際、手を骨折し、神経症状の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	1,550,000
67	大学	文系	馬術部の練習中、落馬した。腰部を骨折し、脊柱変形の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	1,544,000
68	大学	文系	アルティメットの練習中、着地の際、相手選手に乘られ腰を圧迫した。腰部を骨折し、脊柱変形の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	1,444,000
69	大学	体育系	レスリングのスパーリング中、タックルを受け膝の靱帯を損傷し、局部に神経症状が残った。	後遺障害 医療・入院	872,000

70	大学	文系	柔道の試合中、相手が技をかけてきて膝が内側に入り相手の体重がかかった。膝靱帯を損傷し、機能障害の後遺障害を負った。	後遺障害 医療	800,000
71	大学	理系	馬術部で活動中に暴れた馬に足を踏まれ、足の指を切断した。	後遺障害 医療	780,000
72	大学	文系	空手の試合中、相手の突きが目に当たった。顔部(目)を骨折し、神経症状の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	670,000

ク 通学中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
73	大学	理系	原付で帰宅中に車と衝突し、低酸素脳症となり身体の著しい障害により終身自用を弁ずることができない状態となった。	後遺障害 医療・入院	16,020,000
74	大学	文系	バイクで帰宅中、カーブでハンドルをとられて転倒した。頭部を骨折し、四肢麻痺の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	16,020,000
75	大学	理系	自転車で通学中、交差点を横断しているとき、車と衝突した。下腿喪失・神経系統の機能障害・胸腹部臓器の機能障害の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	15,920,000
76	大学	文系	バイクで帰宅中、車に衝突した。頭部を骨折し、神経系統の機能障害、嗅覚障害の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	11,162,000
77	大学	理系	通学中、荷物で両手がふさがっていたため、足でガラスドアを蹴ったところガラスが割れて、右膝窩動脈を切った。下腿切断による足関節以上の下肢喪失の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	9,628,000
78	大学	理系	自転車で通学中、交差点で車に巻き込まれた。頭部を骨折し、脊柱変形・機能障害の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	9,538,000
79	大学	文系	自転車で通学中、マイクロバスと接触した。頭部・胸を骨折・挫傷し、高次脳機能障害の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	9,446,000
80	大学	文系	自転車で通学中、交差点で車と接触した。頭部を損傷し、高次脳機能障害の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	8,940,000
81	大学	理系	原付で通学中、転倒した。頭部・肩を骨折、挫傷し、神経系統の機能障害の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	8,508,000
82	大学院	理系	原付で通学中、右折時に対向するバイクと衝突した。下腿を骨折し、関節の機能障害・醜状痕の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	8,220,000
83	大学	文系	自転車で通学中、道路横断中に車と衝突した。頭部を骨折し、高次機能障害・醜状痕の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	7,870,000
84	大学	文系	原付で通学中、右折車と衝突した。顔部(その他)、手を骨折・靱帯損傷し、神経症状・関節の機能障害・醜状痕の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	7,818,000
85	大学	文系	原付で通学中、交差点で右から来た車と衝突した。全身を骨折し、咀嚼機能障害・醜状痕・複視の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	7,224,000
86	大学	理系	原付で通学中、交差点で車と衝突した。頭部を骨折し、神経系統の機能障害・嗅覚脱失の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	7,144,000
87	大学	理系	バイクで帰宅中、交差点で、車と衝突した。頭部、顔を骨折し、視力低下・視野狭窄・醜状痕の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	6,914,000
88	大学院	理系	バイクで帰宅中、原付と衝突した。頭部を骨折し、嗅覚脱失・味覚脱失の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	6,824,000
89	大学	理系	バイクで通学中、車線をはみ出した対向車と正面衝突した。頭部・顔・手を骨折・創傷し、脊柱変形・神経症状・醜状痕の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	6,814,000
90	大学院	理系	原付で帰宅中、右折時に直進車と衝突した。頭部を骨折し、機能障害・醜状痕の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	6,618,000
91	短大	文系	自転車で通学中、歩道を走行中に脇道から出てきた車と接触し、転倒したところを別の車に撥ねられた。腰部・下肢を骨折し、機能障害・骨盤骨に変形・醜状痕の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	6,320,000
92	大学	理系	自転車で通学中、転倒した。胸・腹・背部を損傷し、神経系統の機能障害の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	6,230,000
93	大学院	理系	原付で帰宅中、対向車が反対車線に出てきて正面衝突した。頭部・股・大腿を骨折・挫傷し、神経系統の機能障害の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	6,154,000

94	大学	文系	バイクで帰宅中、転倒し対向車に轢かれた。頭部を骨折し、神経系統の機能障害の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	6,048,000
95	大学	理系	自動車で通学中(助手席)、正面衝突した。腰部を骨折し、神経系統の障害の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	5,640,000
96	大学	文系	自転車で通学中、車と出会い頭に衝突した。頭部を骨折し、神経系統の機能障害の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	5,376,000
97	大学	体育系	バイクで帰宅中、対向車と衝突した。頭部・胸を骨折・挫傷し、脊柱変形・神経症状の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	5,282,000
98	大学	理系	原付で通学中、追い越そうとした車と接触した。頭部を骨折し、機能障害・醜状痕の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	4,984,000
99	大学	通信	歩いて通学中、雪道で滑り転倒した。腰椎を骨折し、脊柱が変形した。	後遺障害 医療	4,530,000
100	大学	文系	自転車で実習先に向かう途中、右折車と衝突した。頭部を骨折・挫傷し、神経系統の機能障害の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	4,256,000
101	大学	理系	自動車で通学中、脇見運転をして、対向車のトラックと衝突した。全身を骨折し、醜状痕・歯科補綴・機能障害の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	4,170,000
102	大学	文系	自転車で通学中、転倒した。頭部を損傷し、注意障害の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	4,158,000
103	大学院	理系	帰宅中、地下鉄の車内で転倒し、頭部を強打した。頭部を骨折し、神経系統の機能障害の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	4,152,000
104	大学	文系	自転車で通学中、交差点で左から来た車と衝突した。全身を損傷し、神経系統の機能障害の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	4,100,000
105	大学	通信	高速バスに乗車中、バスがサービスエリアで駐車中の車と衝突した。腰部を骨折し、脊柱変形の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	2,452,000
106	短大	文系	原付で通学中、急停車した車に追突した。顔・膝を創傷・骨折し、醜状痕の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	2,332,000
107	大学院	理系	自転車で通学中、左折したとき、正面から来た車と衝突した。頭部・顔を骨折・挫傷し、醜状痕の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	2,324,000
108	短大	文系	自転車で帰宅中、バイクと出会い頭に衝突した。全身を打撲し、醜状痕・神経症状の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	2,262,000
109	短大	理系	徒歩で帰宅中、横断歩道で車に撥ねられた。全身を打撲し、醜状痕・神経症状の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	1,776,000
110	短大	理系	原付で帰宅中、前方の車両が右に外れた進路を戻そうとした際、接触して転倒した。股・大腿・膝を骨折し、関節の可動域制限の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	1,732,000
111	短大	理系	バイクで通学中、左折車に巻き込まれた。肩・上腕を骨折し、鎖骨変形の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	1,602,000
112	短大	文系	原付で帰宅中、横から出てきた車と衝突した。頭部を骨折し、神経症状の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	1,598,000
113	短大	文系	原付で通学中、T字路を右折する際、車と衝突した。膝を骨折・挫傷し、神経症状の後遺障害を負った。	後遺障害 医療	1,580,000
114	短大	文系	自転車で通学中、後方からバイクが追突してきた。胸・腹・背部を骨折・打撲し、脊柱変形の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	1,385,000
115	短大	文系	自動車で帰宅中、信号待ちの際、後方からトラックに追突され、前のワゴン車の下に潜り込んだ。頭部・腰部を捻挫・打撲し、神経症状の後遺障害を負った。	後遺障害 医療	1,340,000
116	大学	通信	自転車で通学中、突風にあおられ、転倒した。足関節を骨折・打撲し、関節の機能障害の後遺障害を負った。	後遺障害 医療	860,000
117	大学	文系 (夜間)	自転車で帰宅中、出会い頭にバイクと衝突して転倒した際、腕がマフラーに接触した。肩・上腕を火傷し、醜状痕の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	482,000

★自転車での事故が目立ちます。(No.75,78-80,83,91,92,95,96,100-102,104,107,108,114-117)

女性の通学中の後遺障害事故の40%が自転車です。

★通学中の後遺障害事故の20%が原付です。(No.73,81,82,84-86,90,93,98,106,110,112,113)

★バイクでも大きな事故が発生しています。(No.74,76,87-89,94,97,111)

男性の通学中の後遺障害事故の35%がバイクです。

6

近年の主な事故の内容（事故事例）

ケ 施設間移動中

No.	学校種別	学部分類別	事故内容	支払保険金	支払保険金 (単位:円)
118	大学	理系	タクシーに乗車中、タクシーが対向車線に入り込み、正面衝突した。顔部を骨折し、醜状痕・複視の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	3,230,000
119	大学	文系	学校施設を車で移動している際、信号で停止中に、追突された。頸部・腰部を捻挫し、神経症状の後遺障害を負った。	後遺障害 医療	1,340,000
120	大学	理系	自転車でキャンパス間を移動中、転倒した。頬骨を骨折し、目や肩等に打撲を負った。1眼の矯正視力が0.6以下となった。	後遺障害 医療・入院	892,000
121	大学	理系	自動車でサークル活動に向かう途中、交差点で左からきた車と衝突した。顔部を骨折し、神経症状の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	722,000

(3)保険別の事故の内容（事故事例）

次に、学研災及び学研災に付帯する保険から保険金が支払われた近年の主な事故と特徴的な事故の内容（事故事例）を示します。

事故事例からは、学生生活のいろいろな場面で多種多様な事故が発生していることがわかります。

ア 学研災普通保険、通学特約及び接触感染特約

平成23年度から平成27年度までの主な事故事例を、活動形態等で区分して示します。

(ア) 正課中（体育実技中）

No.	学校種別	学部分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
122	大学	体育系	サッカーの授業中、切り返して移動した際、膝が内側に入り転倒し、膝の前十字靱帯を断裂した。	医療・入院	158,000
123	大学	文系	馬跳びの授業中、着地の際、足首を外側に捻り靱帯を損傷した。	医療	50,000
124	大学	理系	フリスビーの授業中、他の学生が投げたフリスビーが歯に当たり歯が折れた。	医療	15,000
125	大学	文系	バスケットボールの授業中、ボールを受けようとした際、指に当たり骨折した。	医療	6,000
126	短大	文系	ソフトバレーボールの授業中、突き指をした際、冷却スプレーをかけ過ぎ凍傷になった。	医療	3,000
127	大学	文系	バレーボールの授業中、ピアスがネットに引っかかりピアスホール部分が裂けて切傷を負った。	医療	3,000
128	大学	理系	水泳の授業中、3～4メートル潜った際、耳の鼓膜に穴が開いた。	医療	3,000

(イ) 正課中（理科系の実験・実習中）

No.	学校種別	学部分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
129	大学	理系	牛の採血実習中、牛が倒れ下敷きになり足を骨折した。	医療	50,000
130	大学院	理系	実験中、容器から液体窒素があふれ足にかかり凍傷になった。	医療	30,000
131	大学	理系	実習中、くしゃみをした際、腰椎間板ヘルニアになった。	医療	15,000

132	大学院	理系	ミツバチを回収中、顔を刺され皮膚が腫れた。	医療	6,000
133	大学	理系	遺伝子組み換え実験中、紫外線を浴び目が充血し痛みが発生した。	医療	3,000
134	大学	理系	化学実験中、紫外線を両目に浴び炎症を起こした。	医療	3,000
135	大学院	理系	電気泳動のゲル取り出しの際に尿素の臭いをかぎ、吐き気と眩暈に襲われ急性薬物中毒になった。	医療	3,000
136	大学	理系	卒業研究中、他の学生が臭素ビン落とし、有毒ガスが発生した。ガスを吸入し眩暈や喉の痛みの症状が出た。(本件で複数人への支払あり)	医療	3,000
137	大学	理系	実習中、薬品の匂いを嗅いで失神した際、転倒し後頭部を打撲した。	医療	3,000
138	大学	理系	アセトンで有機物を拭いている時にアセトンを口から吸いこみ、全身に湿疹が出た。	医療	3,000
139	大学	理系	調剤実習中、調剤した薬を試飲してショックを起こした。	医療	3,000
140	大学	理系	ガスボンベを交換中、誤って先生が新品のボンベを開栓し大音響が発生、耳鳴りが起きた。	医療	3,000
141	大学院	理系	研究室で実験中、ガラスの器具で左手の親指を深く切った。	医療	3,000
142	大学	理系	マウスに麻酔をする際に噛まれ切傷を負った。	医療	3,000

★眼、鼻や口、耳に注意です(No. 133-140)。

(ウ) 正課中(医療系の実習中)

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
143	大学	医療系	手術実習中、人工心肺のチューブ内のエア抜きの際に付着していた飛沫が目に入った。	接触感染予防 医療	18,000
144	大学	文系	児童養護施設での保育実習中、飼い犬に餌をあげていて手を咬まれた。	接触感染予防 医療	18,000
145	大学	医療系	採血実習中、被験者として針を抜かれている際に神経損傷を伴う痺れを感じた。	医療	15,000
146	大学	医療系	実習中、結核感染患者の咳が口に入った。	接触感染予防	15,000
147	短大	理系 (ライフケア)	尿検査実習中、顕微鏡のスライドガラスで指を切った。	接触感染予防	15,000
148	大学	理系 (薬学部)	血清調剤中、血清の入った注射針で指を刺した。	接触感染予防	15,000
149	短大	医療系	歯科用の機材を片付けている際、エアスケーラーの先で指を刺した。	接触感染予防	15,000
150	大学	医療系	臨床実習中、水痘感染の子どもに接触感染し、水痘ワクチンを接種した。	接触感染予防	15,000
151	大学	医療系	学生同士で採血実習中、誤って神経に刺し、神経を損傷した。	医療	6,000
152	大学	医療系	解剖実習中、メスで手を切った。	医療	6,000
153	大学	医療系	歯の技工物の作成の際、金属片が目に入り外傷を負った。	医療	6,000
154	大学	医療系	病院で動作介助実習中、バランスを崩し腰を痛め急性腰痛症になった。	医療	6,000
155	大学	医療系	学生同士で採血実習中、両腕に複数回刺入され末梢神経を損傷した。	医療	3,000

6

近年の主な事故の内容(事故事例)

156	大学	医療系	分娩介助中、羊水が飛散し目に入り炎症を起こした。	医療	3,000
157	大学	医療系	歯科の実習でセメントのかたまりを削っていた際、破片が右目に入って負傷した。	医療	3,000
158	短大	医療系	実習後の器具を洗浄中、消毒液が目に入り炎症を負った。	医療	3,000
159	大学	医療系	病院実習中、精神疾患の患者にすれ違いざまに耳を殴られ打撲を負った。	医療	3,000
160	大学	医療系	在宅看護実習中、訪問看護時に飼われている犬に咬まれ出血、傷を負った。	医療	3,000

(エ) 正課中(その他)

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
161	大学	理系	セミナーハウス合宿中、トイレから戻る際に階段から転落し足の靭帯を損傷した。	医療・入院	234,000
162	大学	通信	福祉士実習中、ガレージで転倒し歯が折れた。	医療	110,000
163	大学	体育系	講義資料提出のため教室内を移動中、他学生の荷物に躓きアキレス腱を断裂した。	医療・入院	62,000
164	大学	文系	考古学実習中、発掘途中の穴に転落し足首を捻挫した。	医療	30,000
165	大学	文系	作品制作中、アルコールランプ用燃料を誤飲しメタノール中毒になった。	医療・入院	22,000
166	短大	理系	給食管理実習中、スライサーで野菜を切っていた際、小指の先端を切った。	医療	15,000
167	大学	通信	漆塗りの実習中、漆にかぶれた。	医療	15,000
168	大学院	理系	担当するTAの授業中、資料運搬中に階段で釘を踏み、足の指に裂傷を負った。	医療	15,000
169	大学	文系	教育実習中、人の手が耳に当たり鼓膜に穴があいた。	医療	6,000
170	大学	文系	研修先で入浴中、滑って転倒した際、頭部に切傷を負った。	医療	3,000
171	大学	文系	幼稚園実習で運動会の練習中、石灰が目に入り充血した。	医療	3,000
172	短大	理系	剪定実習中、木屑が目に入り角膜炎になった。	医療	3,000
173	短大	文系	幼稚園実習中、園児の指が目に入り炎症を起こした。	医療	3,000
174	大学	理系	ミシンで洋服を作成中、針で爪を刺し、傷を負った。	医療	3,000
175	大学	文系	レッスンルーム入室時、ドアに指を挟み打撲を負った。	医療	3,000
176	大学	文系	教室の椅子のトゲがふくらはぎに刺さり切開後、縫合した。	医療	3,000
177	短大	文系	ピアノレッスン終了後、ピアノの蓋に指を挟み打撲した。	医療	3,000
178	大学	文系	魚をさばく実習中、試食の際に魚の骨が喉に刺さった。	医療	3,000
179	大学	理系	卒業研究中、耳の中に虫が入ったため受診した。虫を取り出したが炎症を起こした。	医療	3,000

180	大学	文系	歩き遍路中、スズメバチに刺された(本件で複数人への支払あり)。	医療	3,000
181	大学	文系	障害者施設での実習中、生徒と手をつないで遊んでいる際、急に指を噛まれた。	医療	3,000
182	大学	文系	施設実習中、利用者とゲーム中に、隣に座っていた利用者に突然腕を噛まれ傷を負った。	医療	3,000
183	大学	医療系	新入生研修の際、食中毒になった。(15件支払あり)	医療	最低額3,000円～ 最高額39,000円

(オ) 学校行事中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
184	大学	文系	新入生歓迎会終了後、舞台片付け中に約2mの台から落下し、全身打撲・頸髄を損傷した。	医療・入院	644,000
185	大学	文系	大学祭の片付けの際に台車を押していて転倒し、足首を骨折した。	医療・入院	206,000
186	大学	文系	大学祭でダンスの発表中、ジャンプして着地する際、膝の靱帯を損傷した。	医療・入院	156,000
187	大学	理系	入学式会場で足を滑らせ転倒し、手首を骨折した。	医療	50,000
188	短大	文系	オープンキャンパスでダンス発表中、マイクを踏み、足の靱帯を損傷した。	医療	30,000
189	短大	文系	健康診断で採血の後、倒れて頭部を強打し外傷を負った。	医療	18,000
190	大学院	文系	入学式の際に会場ホール内で転倒し、膝に切傷を負った。	医療	15,000
191	大学	文系	避難訓練中、中庭で転倒し足を骨折した。	医療	15,000
192	大学	文系	運動会のリレーの際に転倒し、頭部を打ち脳震盪を起こした。	医療・入院	11,000
193	短大	理系	消防訓練中、避難用シューターで降下していた際、枠の部分で顔を打ち目の下を切った。	医療	6,000
194	大学	理系	運動会でスターター係をした際、発砲音で内耳に外傷を負った。	医療	6,000
195	大学	文系	岩手県でボランティア活動中、調理中に薪ストーブの煙突に腕が当たり、火傷を負った。	医療	6,000
196	大学	理系	学外研修移動中、バスに入ってきた蜂に刺された。	医療	3,000
197	大学院	理系	学会発表で移動中、強盗に襲われ倒された際、手を打撲した。	医療	3,000
198	大学	理系	学外研修移動中、バスに入ってきた蜂に刺された。	医療	3,000
199	大学	文系	健康診断の際、気分が悪くなり倒れて頭部を打撲した。	医療	3,000
200	短大	文系	火災避難の訓練中、消火していた際、煙を吸って気分が悪くなった。	医療	3,000
201	短大	文系	スポーツ大会の障害物リレーでボールをくぐる際、肩を脱臼した。	医療	3,000
202	大学	文系	学祭の模擬店で揚げ物をしている際、フライヤーに腕が当たり火傷した。	医療	3,000
203	大学	理系	東日本大震災復興支援活動中、車の操作を誤り道路から田んぼに落下し、ほぼ全身を打撲した。	医療	3,000

204	大学	文系	震災支援プログラムにおいて、現地の施設内移動中に階段を踏み外し、足の靭帯を損傷した。	医療	3,000
205	大学	文系	オープンキャンパス終了後、机を片付けている際、机の脚に足がぶつかり、爪がはがれた。	医療	3,000
206	短大	文系	卒業式で階段を降りていた際、躓き転倒し打撲を負った。	医療	3,000

（カ）学校施設内にいる間

No.	学校種別	学部分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
207	大学	文系	帰宅中、学内の階段から転落し、両足を骨折した。	医療・入院	308,000
208	大学院	理系	学内を歩行中、氷で滑って転倒し、骨折した。	医療・入院	266,000
209	大学	文系	休憩中、座って友人と談笑していた際、他の人が投げたソフトボールが顔面に当たり骨折した。	医療・入院	78,000
210	大学	文系	大学図書館を出る際、延長コードに足を取られ転倒し、肘を骨折した。	医療	50,000
211	大学	体育系	自主トレーニング中、バーベルを持ち上げた際、肩を捻挫した。	医療・入院	30,000
212	大学	文系	エスカレーターとの段差で躓き膝を強打し、打撲・切傷を負った。	医療	30,000
213	大学	文系	図書館前の窪みで躓き転倒し、足の靭帯を損傷した。	医療	30,000
214	大学	文系	グラウンドに呼び出され口論になった後、相手から殴られ歯を2本損傷し口唇裂傷等を負った。	医療	30,000
215	大学	医療系	自習中、火災が発生し煙を吸い込み、一酸化炭素中毒になった。	入院	8,000

（キ）課外活動（クラブ活動）中（学校施設内）

No.	学校種別	学部分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
216	大学	理系	アメリカンフットボールの練習中、タックルを受け転倒し足の腱を断絶した。	医療・入院	232,000
217	大学	理系	剣道部の活動終了後、雑巾がけの際、膝が抜け転倒し前十字靭帯を損傷した。	医療	140,000
218	大学	文系	漕艇部で活動中、ボートを漕いでいる際、脱臼した。	医療・入院	94,000
219	大学	文系	応援団の演技練習中、膝を強く捻り骨折した。	医療・入院	82,000
220	大学	文系	柔道部の乱取り稽古中、相手に技を掛けた際、膝を捻り靭帯を損傷した。	医療	80,000
221	大学	文系	ゴルフ部で活動中、ランニング中に転倒し手を着いた際、手の甲を骨折した。	医療	80,000
222	短大	文系	フットサルクラブ活動中、相手と接触し足を捻り、足首を骨折した。	医療	50,000
223	大学	文系	相撲の取組で転倒した際、膝が捻じれ、半月板・靭帯を損傷した。	医療	50,000
224	大学	理系	バスケットボール部で活動中、着地の際、チームメイトの足の甲に乗り捻挫した。	医療	50,000
225	大学	文系	ボクシング部でスパーリング中、相手にパンチを打った際、手を捻挫した。	医療	50,000

226	大学	文系	演劇部での公演終了後、照明器具を取り外した際、脚立から転落し足首を骨折した。	医療	50,000
227	大学	理系	吹奏楽部部室で楽器を片付けていた際、転倒し足を骨折した。	医療	50,000
228	大学	文系	邦楽部で正座をして琴を練習中、弾き終り立ち上がろうとした際、足が痺れ足首を捻挫した。	医療	50,000
229	大学	理系	音楽クラブ活動中、ドラムの機材を持ち上げる際、腰を捻挫した。	医療	50,000
230	大学	文系	茶道部で活動中、空焚きの茶釜にお湯を入れた際、指先を水蒸気で火傷した。	医療	30,000

(ク) 課外活動(クラブ活動)中(学校施設外)

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
231	大学	文系	脱臼骨折をした足首を固定するために入れたプレートとスクリューの抜去手術をした。	医療・入院	348,000
232	大学	文系	相撲の試合中、相手と投げあいになり、土俵下に落下し膝の靱帯を断裂した。	医療・入院	184,000
233	大学	文系	パラグライダーの部活動中、風に煽られ落下し足を骨折した。	医療・入院	112,000
234	大学	体育系	クライミングの大会中、落下した際、膝を捻り靱帯を損傷した。	医療・入院	90,000
235	大学	理系	軽音部の合宿中、人とぶつかり転倒し、腕・腰を裂傷し頸髄を損傷した。	医療・入院	86,000
236	大学	理系	少林寺拳法部の試合中、足が相手の胴衣に引っかかり、足の指を脱臼した。	医療・入院	62,000
237	大学	文系	震災ボランティアで瓦礫を降ろす作業中、トラックの後方部分に指が挟まれ、不全切断した。	医療・入院	58,000
238	大学	文系	スキューバダイビングの活動中、体調不良となり、減圧症と診断された。	入院	16,000
239	大学	理系	野球部の部活中、ノックを受けている際、ボールが鼻を直撃し骨折した。	入院	12,000
240	大学	文系	震災のボランティア活動中、食後に嘔吐・下痢の症状が出た。	入院	8,000

(ケ) 通学中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
241	大学	理系	マンションのエントランスのタイルで滑り、足を骨折した。	医療・入院	202,000
242	大学	理系	通学で乗っていた電車と踏切内で立ち往生していた車が衝突し、頸椎を捻挫した。	医療	110,000
243	大学	文系	スクールバスで帰宅中、急ハンドルを切られたためよろけて料金ボックスで胸部を打ち、挫傷を負った。	医療	80,000
244	大学	理系	帰宅中、駅のエスカレーターで足を滑らせ転倒し、足首の靱帯を損傷した。	医療	50,000
245	大学	通信	徒歩で通学中、道路凍結のため転倒し、手を骨折した。	医療	50,000
246	大学	文系	後ろから来た車にバッグをひったくられた際、指が引っかかり骨折した。	医療	30,000
247	大学	文系	帰宅中、電車内で立っていた際、酔客に背後からタックルされた。腰を強打し、打撲を負った。	医療	30,000

6

近年の主な事故の内容(事故事例)

248	大学院	理系	徒歩で帰宅中、台風による強風で転倒し、膝を骨折した。	医療	30,000
249	大学	理系	自転車で大学へ向かう途中、カラスに襲われ転倒し、手の指を骨折した。	医療	30,000
250	短大	文系	帰宅中、電車内で乗客に足を踏まれ指を骨折した。	医療	15,000
251	大学	理系	帰宅途中、他人の傘が頭部に当たり切傷を負った。	医療	6,000
252	大学	通信	帰宅中、地下鉄で転倒し、膝に挫傷を負った。	医療	6,000
253	大学	理系	電車で通学中、駅のホームで突然、刃物で切り付けられ足に傷を負った。	医療	6,000
254	短大	文系	電車を下車する際に、ハイヒールで足の爪を踏まれ、爪が取れた。	医療	6,000

(コ) 施設間移動中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
255	大学	理系	大学から介護施設に向かうために原付バイクで移動中、電柱に衝突し、頭蓋骨骨折他全身を負傷した。	医療・入院	762,000
256	大学	理系	大学からゼミ会場へバイクで向かう途中、転倒し、膝を骨折し、全身に打撲を負った。	医療・入院	168,000
257	大学	文系	講義受講のため大学から大学院へ車で移動中、他車と接触し、首を打撲した。	医療	80,000
258	大学院	理系	大学から学会参加のためバスに乗った際に転倒し、足の靱帯を損傷した。	医療	50,000
259	大学	文系	水泳の授業後、徒歩で大学に戻る際に転倒し、膝を地面に付き切傷を負った。	医療	6,000

(サ) 海外での事例(活動形態は【 】に記載)

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
260	大学	文系	中国で史跡見学中、2.5mの高さから落下し、腰を強打・手首を骨折した。【学校行事中】	医療	110,000
261	大学	文系	オーストラリアでフットボールの練習中、ボールをキャッチ後に転倒し、半月板を断裂した。【課外活動(クラブ活動)中】	医療・入院	70,000
262	大学	理系	インドネシアで活動中、食中毒になった。【学校行事中】	医療・入院	22,000
263	大学	文系	ウズベキスタンのホテル滞在中、ガラスにぶつかり、歯を折損した。【正課中】	医療	15,000
264	大学	医療系	アメリカで手術実習中、縫合していた際、針で指を刺した。【正課中】	接触感染予防	15,000
265	大学	理系	カナダで研修プログラムのカーリングをしていた際、転倒し歯を欠損し目の上に切傷を負った。【正課中】	医療	15,000
266	大学院	理系	タイで研修中、細菌に感染し食中毒を発症した。【学校行事中】	医療	3,000
267	大学	文系	ニュージーランドでファームステイ中、蜂に足を刺された。【正課中】	医療	3,000
268	大学	文系	ベトナムでの研修旅行中、歩道で転倒し、足首を捻挫した。【正課中】	医療	3,000

(シ) 食中毒の事例（活動形態は【 】に記載）

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
269	大学	文系	ゼミの親睦会で学生全員がカンピロバクター食中毒を発症した(本件で複数人への支払あり)。【正課中】	医療・入院	90,000
270	大学	理系	ギター部合宿中、夕飯が原因でカンピロバクターの感染性胃腸炎になった。【課外活動(クラブ活動)中】	入院	44,000
271	大学院	理系	論文発表の食事で食中毒を発症した。【正課中】	医療・入院	43,000
272	大学	文系	ゼミ合宿中、夕食後に食中毒を発症した(本件で複数人への支払あり)。【正課中】	医療・入院	43,000
273	短大	文系	保育実習中、O-157に感染した。【正課中】	医療	3,000
274	大学	文系	ゼミ合宿中、吐き気を催し意識を失った。【正課中】	医療	3,000
275	大学	文系	キャンプ中、食後に下痢・腹痛が続きカンピロバクター食中毒を発症した。【正課中】	医療	3,000

(ス) 熱中症等の事例（活動形態は【 】に記載）

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
276	大学	文系	サッカーの部活中、意識を失い倒れ熱中症と診断された。【課外活動(クラブ活動)中】	入院	20,000
277	大学	体育系	バドミントン部の活動中、気分が悪くなり立ちくらみ・吐き気が生じた。【課外活動(クラブ活動)中】	入院	12,000
278	大学	文系	サッカー部でランニング中、熱中症になり倒れた。【課外活動(クラブ活動)中】	入院	12,000
279	大学	体育系	ソフトボールの授業中、直射日光を長時間浴び発熱・嘔吐症状が発生した。【正課中】	医療・入院	11,000
280	大学	理系	ゼミ旅行中、食事中に意識低下し熱中症と診断された(本件で複数人への支払あり)。【正課中】	医療・入院	11,000
281	大学	文系	応援団の合宿中、立ちくらみ・吐き気が生じた。【課外活動(クラブ活動)中】	入院	8,000
282	大学	文系	ラクロスの練習中、頭痛・吐き気を催し高熱が出た。【課外活動(クラブ活動)中】	入院	8,000
283	大学	理系	テニスコートで草むしりをしていた際、熱中症で救急搬送された。【課外活動(クラブ活動)中】	入院	8,000
284	大学	文系	幼稚園で保育中、脱水症状で立てなくなった。【正課中】	医療	3,000
285	短大	文系	保育実習中、園庭で子どもの世話をした際、熱中症になった。【正課中】	医療	3,000

イ 学研災付帯賠償責任保険(略称「付帯賠償」)

平成23年度から平成27年度までの主な後遺障害事故事例を、活動形態で区分して示します。

(ア) 正課中

No.	学校種別	学部分類別	事故内容(加入コース)	保険金種別	支払保険金 (単位:円)	備考
286	大学院	理系	超低温物理研究室の希釈冷凍機について、循環ラインの交換手順を誤り、希釈冷凍機中のヘリウムガスを大気開放した。(Aコース)	対物	15,170,000	
287	大学院	理系	X線構造評価装置の検出器を移動中、他の機械と衝突させ検出部分を壊した。(Aコース)	対物	5,832,000	
288	短大	医療系	ガンマカメラを用いた実験中、センサー部分を壊した。(Cコース)	対物	5,380,000	
289	大学	文系	スノーボードの実習中、ターンをした際に直進してきた相手と衝突しケガを負わせた。(Aコース)	対人	4,350,000	
290	大学院	理系	実験中、混合ガスを放出し希釈冷凍機を壊した。(Aコース)	対物	3,137,000	
291	大学	理系	大学と提携している外部研究室で装置を壊した。(Aコース)	対物	2,979,000	
292	大学	文系	授業の合間に教室のドアを開けたところ廊下を歩いていた学生にドアが当たりケガを負わせた。(Aコース)	対人	1,474,000	
293	大学院	理系	液体窒素を入れておく装置に、窒素の補充を忘れ実験装置を壊した。(Aコース)	対物	783,000	
294	大学	理系	市の放射光施設の光電子分光装置の操作を誤り、装置の性能を低下させ、電子レンズの交換が必要となった。(Aコース)	対物	667,000	3名で按分払い
295	〃	〃	〃	〃	〃	
296	大学院	〃	〃	〃	〃	
297	大学	文系	ゼミ活動中、置いていたバインダーで被害者が踏みケガを負わせた。(Aコース)	対人	538,000	
298	大学	理系	博物館実習中、展示してあるガラスケースに寄りかかった際、ガラスが割れた。(Aコース)	対物	475,330	
299	大学	通信	体育の授業中、鬼ごっこをしていた際、鏡に衝突し壊した。(Aコース)	対物	391,000	
300	大学	文系	フットサルの授業中、蹴ったボールが体育館の天井に挟まり取れなくなった。(Aコース)	対物	167,000	
301	短大	文系	大学体育館でのゴルフの授業中、クラブを振り上げた際、後方にいた他の学生の顔をクラブで直撃しケガを負わせた。(Aコース)	対人	138,000	
302	大学院	文系	絵画を運搬中に転倒し、絵に乗り上げ裏から表面まで壊した。(Aコース)	対物	132,000	
303	大学	文系	体育の授業で使用したバスケットボール用車椅子を車内に積み込んでいた際、車のフロントガラスにぶつけヒビを入れた。(Aコース)	対物	129,000	
304	大学	理系	薬局での実習中、機器を壊した。(Aコース)	対物	123,000	
305	短大	医療系	授業中、プリントを取りに歩いていた際、バランスを崩し寄りかかったブラインドを壊した。(Cコース)	対物	92,000	
306	大学	文系	エアロビクスの授業で使う三面鏡を運搬中に壊した。(Aコース)	対物	68,000	
307	大学	体育系	体育の授業中、体育館内で鬼ごっこをしていた際、学生と接触しケガを負わせた。(Aコース)	対人	52,200	
308	大学	文系	授業中、立ち上がった際に椅子が倒れ、ガラス製テーブルにぶつかり壊した。(Aコース)	対物	48,000	

309	大学	文系	パークゴルフの授業中、ゴルフボールが場外に出てしまい走行中の車のミラーを壊した。(Aコース)	対物	32,000	
310	大学院	理系	大学から借用していたノートパソコンのキーボードを壊した。(Aコース)	対物	27,000	
311	大学	文系	ゴルフの授業中、ヘッドを地面に当てゴルフクラブを壊した。(Aコース)	対物	25,000	
312	大学	文系	ゴルフの授業中、クラブを振ったところ手から離れ、天井に当たってクラブを壊した。(Aコース)	対物	25,000	
313	大学	文系	授業中、テニスの打球がフェンスを越えて大学寮の窓ガラスを壊した。(Aコース)	対物	17,200	
314	短大	文系	授業中、トイレに行こうとした際に手がドアに当たりガラスを壊した。(Aコース)	対物	16,000	
315	大学	文系	体育の準備のため平均台を運搬中、体育館倉庫のガラスを壊した。(Aコース)	対物	15,000	
316	大学院	文系	教室の窓を閉め忘れたため、教室内に風雨が入り込み、図書館から借りていた本を汚損した。(Aコース)	対物	15,000	
317	大学	文系	スキー場にて体育の授業中、滑走時に人と接触し、ケガを負わせた。(Aコース)	対人	10,000	
318	大学	文系	学外施設にて授業中、飲み物をこぼし施設の絨毯を汚損した。(Aコース)	対物	8,300	
319	大学	理系	実験中、染色液をこぼし隣の学生の白衣と衣服を汚損した。(Aコース)	対物	7,000	
320	大学	文系	実習先のカードキーを紛失した。(Aコース)	対物	3,000	
321	大学	理系	薬局での実習中、担当者の足を踏み骨折させた。(Aコース)	対人	3,000	
322	大学	理系	薬局で商品陳列中、商品の形態を確認せず包装を破ったため商品の価値を失った。(Aコース)	対物	3,000	

(イ) 学校行事中

No.	学校種別	学部分類別	事故内容(加入コース)	保険金種別	支払保険金 (単位:円)	備考
323	大学	文系	文化祭前日の設営準備中、学部棟の手摺部分を壊した。(Aコース)	対物	1,803,000	
324	大学	理系	卒業式で写真撮影中、通行人と接触し転倒させケガを負わせた。(Aコース)	対人	1,482,200	
325	大学	文系	教室(アトリエ)にて、学校行事に使用する水を溜めていた容器が壊れ、水漏れのため教室の床面を汚損した。(Aコース)	対物	368,000	
326	大学院	文系	ソフトボール大会中、振ったバットが手から離れ、見学者の顔面に当たりケガを負わせた。(Aコース)	対人	201,000	
327	大学	文系	インターンシップ先で壁に台車をぶつけて壊した。(Bコース)	対物	130,000	
328	大学	体育系	バスケットボール大会でボールを追いかけた際、観戦していた学生と衝突しケガを負わせた。(Aコース)	対人	115,000	
329	大学	文系	年度末の大掃除の際に、スプレーペンキの缶に穴を開けたところ、風でペンキが舞い、駐車していた車に付着した。(Aコース)	対物	90,000	2名で 按分払い
330	〃	〃	〃	〃	〃	
331	大学	理系	補講合宿中、起床の際にコップに手が当たり、ジュースが飛び散り天井・床等を汚損した。(Cコース)	対物	45,000	
332	大学	文系	反省会の席上で、立っていた際にバランスを崩し、隣にいた学生の足の指を踏み骨折させた。(Aコース)	対人	23,000	
333	大学	文系	山車を移動させる作業中、ドライバーを落とし、友人の指にケガを負わせた。	対人	20,000	

334	大学院	文系	学園祭の書道パフォーマンス中、大学所有の大型幕に墨汁が飛び汚損した。(Aコース)	対物	19,000	
335	大学	文系	オリエンテーションキャンプ中、入浴の際、シャワーのノブを壊した。(Aコース)	対物	18,000	
336	大学	文系	フィールドワークの小学校での餅つき中、杵が相方の額をかすめ裂傷を負わせた。(Aコース)	対人	6,100	

(ウ) インターンシップ中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容(加入コース)	保険金種別	支払保険金 (単位:円)	備考
337	大学	文系	インターンシップ先で実験中に引火し、建物の壁を壊した。(Bコース)	対物	91,000	
338	大学	文系	インターンシップの一環でチラシ配布中、人に衝突し転倒させケガを負わせた。(Bコース)	対人	55,000	
339	大学	文系	ホテルでのインターンシップ研修中、客の所持品を汚損した。(Bコース)	対物	54,000	
340	大学	理系	調査で使用していたGPSを紛失した。(Aコース)	対物	53,000	
341	大学	理系	インターンシップで、河川に流速計を設置中に壊した。(Bコース)	対物	53,000	
342	大学	理系	企業所有のノートパソコンを落とし壊した。(Aコース)	対物	44,000	
343	大学	文系	インターンシップ期間中、受け入れ先企業が手配した居室内でアイロンを床に落とし、フローリングを損傷した。(Bコース)	対物	30,000	
344	大学	文系	インターンシップ先のホテルで、接客中にお客様のバッグと服にコーヒーをこぼし、汚した。(Bコース)	対物	16,900	
345	大学	文系	インターンシップ中、撮影を頼まれカメラを受け取る際に落とし、壊した。(Bコース)	対物	15,000	
346	大学	文系	貸与物である実習先ホテルの制服を破った。(Bコース)	対物	5,000	
347	大学	文系	研修中、借りた実習着を紛失した。(Aコース)	対物	2,900	

(エ) 介護体験活動中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容(加入コース)	保険金種別	支払保険金 (単位:円)	備考
348	大学	文系	デイサービスの施設利用者が、学生の足に躓き転倒し腕を骨折した。(Aコース)	対人	301,000	
349	大学	文系	車椅子体験中、下りスロープ進行中にブレーキ操作を誤り壁に衝突し、ステップ部分を壊した。(Aコース)	対物	38,000	
350	短大	文系	実習先の老人ホームでキャスター付テーブルを壊した。(Bコース)	対物	17,000	
351	大学	文系	介護等体験先にて、ドアの鍵穴に鍵を差し込み強く回したところ、鍵が折れ先端が鍵穴に残り、シリンダーごと交換が必要となった。(Cコース)	対物	5,000	
352	短大	文系	老人保健福祉施設での実習中、ロッカーの鍵を紛失した。(Aコース)	対物	1,000	
353	大学	文系	老人ホームで実習中、更衣室のロッカーの鍵を紛失した。(Bコース)	対物	540	
354	大学	文系	ロッカーの鍵をポケットに入れたまま帰宅した。翌日、鍵の紛失に気付いた。(Bコース)	対物	400	

(オ) 教育実習中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容(加入コース)	保険金種別	支払保険金 (単位:円)	備考
355	大学	文系	小学校の体育館にテープで掲示物を貼り、実習終了後に剥がした際、壁の表面を損傷した。(Aコース)	対物	237,600	
356	大学	文系	園庭でおやつを食べる際、園児の歯の矯正器具を預かったが紛失した。(Bコース)	対物	57,000	
357	大学	理系	高校の理科実験室で実験準備中に光源装置を落とし壊した。(Aコース)	対物	55,000	
358	短大	文系	数人の園児が学生の足にしがみつきバランスを崩した際、後ろにいた園児の足の指を踏みケガを負わせた。(Aコース)	対人	8,000	
359	短大	文系	実習先の幼稚園で発表会の楽器や大道具を運搬中、木管楽器を地面に落とし修理が必要になった。(Aコース)	対物	8,000	
360	大学	理系	授業で生徒に実験器具の説明中、ビュレットとホールピペットを落とし壊した。(Bコース)	対物	8,000	
361	大学	文系	小学校で実習中、児童とサッカーをしていた際、接触した児童が転倒し、肘・頭部にケガを負わせた。(Aコース)	対人	5,200	
362	大学	文系	小学校の昼休みに児童とゲームをしていた際、児童と衝突し、眼鏡を壊した。(Aコース)	対物	5,000	

★実習先で児童にケガを負わせてしまうケースが多く見られます(No.358,361)。

(カ) 保育実習中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容(加入コース)	保険金種別	支払保険金 (単位:円)	備考
363	大学	文系	保育所の職員用トイレで転んだ際、タンクの蓋が落下し、便器を壊した。(Aコース)	対物	74,000	
364	短大	文系	トイレ掃除中、排水溝の蓋を外した際に手が滑り、幼児用の男子便器の内側を壊した。(Aコース)	対物	63,000	
365	短大	文系	園児の着替えを手伝っている際、園児が倒れ込み、受け止めた時にガラスに衝突し、壊した。(Aコース)	対物	46,000	
366	大学	文系	保育園の網戸を清掃中、上下開閉式の窓を上にした際、窓が下に落ち、上がらなくなった。(Bコース)	対物	42,000	
367	短大	文系	保育園での実習中、体調不良により嘔吐し、汚損のため業者に清掃・消毒を依頼した。(Aコース)	対物	25,000	
368	短大	文系	実習先で、ドラム式洗濯機で洗濯の際に、取っ手と間違えて別の突起物を引っ張ったため、扉を壊した。(Aコース)	対物	15,900	
369	大学	文系	アイロンをかけていて、実習先の子どもの制服を焦がした。(Aコース)	対物	3,000	
370	大学	理系	実習の際に抱いていた女児が手にしていた本を落とし、そばにいた男児に当たりケガを負わせた。(Aコース)	対人	2,000	
371	大学	医療系	保育園実習時に食器を落とし壊した。(Cコース)	対物	1,000	
372	大学	通信	実習中、朝食後の洗い物をしている際、茶碗を落とし壊した。(Aコース)	対物	400	

(キ) ボランティア活動中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容(加入コース)	保険金種別	支払保険金 (単位:円)	備考
373	大学	文系	車椅子の人を介助中、腰と足のベルトの装着を忘れ、車椅子から転落させケガを負わせた。(Aコース)	対人	94,900	
374	大学	文系	ゼミ活動中、配膳中にカップを誤って床に落とし壊した。(Aコース)	対物	9,900	

6

近年の主な事故の内容(事故事例)

375	大学	文系	福祉センターでテントの設営中、部品を壊した。(Aコース)	対物	9,500	
-----	----	----	------------------------------	----	-------	--

(ク) 臨床・看護等医療関連実習中

No.	学校種別	学部分類別	事故内容(加入コース)	保険金種別	支払保険金(単位:円)	備考
376	大学	医療系	大学付属病院から借りていた液体クロマトグラフィーの質量分析装置を使用中、ループの取付部分のネジを壊した。(Cコース)	対物	593,100	
377	大学	医療系	介護老人保健施設で実習中、介助していた男性が転倒し、ケガを負わせた。(Cコース)	対人	38,000	
378	大学	医療系	病院実習中、外来処置の補助の際に、実習先の携帯(PHS)を落とし壊した。(同様の事故10件あり)(Cコース)	対物	19,000	
379	大学	医療系	滅菌器に誤ってプラスチックを入れ、プラスチックが溶けて滅菌器を壊した。(Cコース)	対物	18,800	
380	短大	医療系	診療室でテレビモニターを清掃中、アルコール綿を使用しモニターの色を変色させた。(Cコース)	対物	16,000	
381	大学	医療系	口腔ケアの演習で義歯の着脱を練習中、義歯を落とし壊した。(Cコース)	対物	15,000	
382	短大	医療系	臨床実習中、口腔内撮影用ミラーを落とし壊した。(Cコース)	対物	7,000	
383	大学	医療系	眼科で実習中、検眼枠のレンズを落としレンズを壊した。(Cコース)	対物	3,000	
384	大学	医療系	医療実習先で更衣中、鏡を落とし壊した。(Cコース)	対物	1,000	
385	大学	医療系	病院実習中、ロッカーの扉に備え付けられている鏡を壊した。(Cコース)	対物	500	
386	大学	医療系	清拭の際、患者の下着を紛失した。(Cコース)	対物	300	

(ケ) 往復中

No.	学校種別	学部分類別	事故内容(加入コース)	保険金種別	支払保険金(単位:円)	備考
387	大学	文系	自転車で通学中、歩行者と接触し、ケガを負わせた。(Aコース)	対人	12,355,000	
388	大学	文系	自転車で帰宅中、歩行者と正面衝突し、ケガを負わせた。(Aコース)	対人	9,176,000	
389	大学	文系	自転車同士の接触事故で相手が転倒し、骨折させた。(Aコース)	対人	4,667,000	
390	大学院	理系	自転車で学校へ行く途中、歩行者にぶつかりケガを負わせた。(Aコース)	対人	4,349,000	
391	大学	理系	自転車で通学中、歩行者と接触した際に、相手が転倒し足を骨折、眼鏡も壊した。(Aコース)	対人・対物	4,283,000	
392	大学	文系	自転車で通学中、停止していた車に衝突し、車体を傷つけた。(Aコース)	対物	227,000	
393	大学	文系	スケートボードに乗りこね、スケートボードが校舎の入口扉に衝突し、ガラスを割った。(Aコース)	対物	64,800	
394	大学院	文系	下宿先のマンションを出ようとして自動ドアに衝突し、壊した。(Lコース)	対物	54,000	
395	大学	医療系	自転車で大学へ行く途中、携帯電話を見ていて歩行者と衝突し、治療費と時計と洋服の修理代を負担した。(Cコース)	対人・対物	32,000	
396	大学	理系	改札の階段で接触した相手が転倒し、相手のスラックスの膝が擦り切れた。(Aコース)	対物	26,000	

397	大学	理系	歩いて帰宅中、雪道で転倒し、大学所有のパソコンを落とし壊した。(Aコース)	対物	24,000	
398	大学	文系	通学途中の電車の中で、大学から預かっていたiPodを紛失した。(Aコース)	対物	17,000	
399	大学院	理系	自転車で帰宅中、自宅アパート前で転倒し、外壁に大きな穴を開けた。(Aコース)	対物	10,000	
400	大学	医療系	実習施設に徒歩で向かう途中、実習先から借りていた書籍を濡らした。(Cコース)	対物	6,000	

★往復中の事故原因は自転車に占められています。特に、対人では大きな事故が発生しています。(No.387-391)

(コ) 楽器の破損事故 (活動形態は【 】に記載)

No.	学校種別	学部分類別	事故内容(加入コース)	保険金種別	支払保険金 (単位:円)	備考
401	大学	文系	譜面台を倒した際、チューバに当たり傷をつけた。(Aコース)【正課中】	対物	294,000	
402	大学	文系	先生から借りていた尺八を紛失した。(Aコース)【正課中】	対物	180,000	
403	大学	文系	大学から借りていたテナーサックスを落とし壊した。(Aコース)【正課中】	対物	151,200	
404	大学	文系	コンサートのリハーサルの際、ピアノを移動中に他の打楽器と衝突し、ピアノを壊した。(Aコース)【学校行事中】	対物	151,000	
405	短大	理系	卒業式と謝恩会の準備中、ギターを落とし壊した。(Aコース)【学校行事中】	対物	81,400	
406	大学	文系	身体が他学生所有のフルートに接触し、落とし壊した。(Aコース)【正課中】	対物	43,200	
407	大学	文系	レッスン中、足をコントラバスにぶつけ亀裂が入った。(Aコース)【正課中】	対物	42,000	
408	大学	文系	入学式で演奏中、借りていたコントラバスの弓を壊した。(Aコース)【学校行事中】	対物	34,500	
409	大学	文系	演奏会のリハーサル中、ピアノの蓋を支える棒を壊した。(Aコース)【正課中】	対物	25,000	
410	大学	文系	教室で机にぶつかり、上に置いてあったクラリネットを落とし壊した。(Aコース)【教育実習中】	対物	13,000	

(サ) 海外での事故 (活動形態は【 】に記載)

No.	学校種別	学部分類別	事故内容(加入コース)	保険金種別	支払保険金 (単位:円)	備考
411	大学	理系	フィリピンのホテル内で、借りていたパソコンを落とし壊した。(Aコース)【正課中】	対物	95,000	
412	大学院	文系	モンゴルで学術調査中、土壌採取器具を壊した。(Aコース)【正課中】	対物	38,000	
413	大学	文系	ロンドンのホテルでミーティング中、大学から貸与されていたパソコンのディスプレイを壊した。(Aコース)【インターンシップ中】	対物	32,000	
414	大学	文系	韓国で授業中、他人のパソコンを落とし壊した。(Aコース)【正課中】	対物	14,000	
415	大学	理系	シンガポールで船舶実習中、デジタルカメラを落とし、液晶画面を壊した。(Aコース)【正課中】	対物	8,000	
416	短大	理系	アメリカで研修中、大学寮の鍵を紛失した。(Cコース)【学校行事中】	対物	4,280	

6

近年の主な事故の内容(事故事例)

(シ) ゲートバーの事故

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容(加入コース)	保険金種別	支払保険金 (単位:円)	備考
417	大学	理系	学内を自転車で走行中、脇見運転によりゲートバーに衝突し壊した。(Aコース)	対物	53,000	
418	大学	理系	自転車で通学中、駐車場のゲートバーを壊した。(Aコース)	対物	39,900	
419	大学院	文系	自転車で走行中、ゲートバーに衝突し壊した。(Lコース)	対物	37,000	
420	大学	文系	自転車で帰宅中、大学出入口のゲートバーに接触し壊した。(Aコース)	対物	34,500	
421	大学院	理系	自転車で通学中、大学内駐車場のゲートバーに接触し壊した。(Aコース)	対物	27,000	
422	大学	医療系	自転車で走行中、降りてきたゲートバーが額にぶつかり、ゲートバーが折れた。(Cコース)	対物	25,000	
423	大学	理系	自転車で帰宅中、ゲートバーに接触し根元が折れた。(Aコース)	対物	18,300	
424	大学	理系	傘をさして、駐車場出入口のゲートバーに衝突し壊した。(Cコース)	対物	18,000	

ウ 学研災付帯学生生活総合保険(略称「付帯学総」)

平成23年度から平成27年度までの主な事故事例を、保険金種別に示します。

なお、育英費用及び学資費用の事例については割愛しています。

(ア) 死亡・後遺障害

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	支払保険金 (単位:円)
425	大学	文系	原付バイクで通学中に転倒し、後続の車に轢かれ死亡した。	3,000,000
426	大学	医療系	プライベートでスキー中に転倒した。脊柱を圧迫骨折し、変形を残す障害を負った。	1,630,000
427	大学	理系	車で通学中、動物を避けて電柱にぶつかり、脊柱が変形した。	450,000
428	大学	理系	友人と花火をしていた際、火の粉が目に入り、眼球が破裂した。	340,000
429	大学	理系	アルバイト先からバイクで帰宅中に車と衝突した。鎖骨を骨折し、著しい変形が残った。	100,000
430	大学	医療系	通学中に自転車で転倒し、額に傷跡が残った。	90,000
431	大学	理系	バイクで通学中に転倒した。下肢外傷性皮膚欠損を負い、足に可動域制限が残った。	50,000

(イ) 治療費用(ケガ)

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	支払保険金 (単位:円)
432	短大	体育系	クラブ活動でサッカーをしていて転倒し、靱帯を断裂した。	106,000
433	大学	文系	剣道の試合中、左膝の前十字靱帯を断裂した。	81,000
434	大学	文系	アメリカンフットボールの試合中、相手選手にぶつかり、手首を骨折した。	41,000
435	短大	理系	帰省中にバイクを運転中に転倒し、顔・両足を擦りむいた。	7,000
436	大学	文系	通学中に駅の階段から転落し、右足首を捻挫した。	5,000
437	大学	理系	実家からの荷物を持ち上げた際に腰を痛めた。	4,000
438	短大	文系	アルバイト先で、パンを切る包丁で指を切った。	2,000
439	短大	文系	実習先の保育園で子どもを抱き上げた際に肘を捻った。	2,000

(ウ) 治療費用(病気)

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	支払保険金 (単位:円)
440	大学	医療系	突発性難聴で受診した。	11,000
441	大学	医療系	風邪で受診した。	5,000
442	大学	文系	食あたりで受診した。	4,000

★病気も1日の通院から補償されます。

(エ) 医療・通院

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	支払保険金 (単位:円)
443	大学	医療系	車から降りる際、凍結した路面で転倒し腰を捻った。	138,000
444	大学	理系	自宅ベッドから起き上がる際、転倒し足を捻り骨折した。	65,000
445	大学	医療系	柔道の試合中、相手に投げられた際、肩を捻挫した。	63,000
446	大学	医療系	通学中、自転車に乗っていて転倒し肉離れを起こした。	24,000
447	大学	文系	就職活動中に、駅の階段で転倒し捻挫した。	24,000
448	大学	文系	車で通学中、トンネルで車に追突され、足・腰を打撲した。	6,000

(オ) 医療・入院

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	支払保険金 (単位:円)
449	大学	医療系	バイクで通学中、車と衝突し頭部を打撲した。	110,000
450	大学	文系	通学中に誤って転倒し、肘を骨折した。	30,000
451	大学	理系	通学中、横断歩道を渡っている際、車と衝突し脳震盪を起こした。	10,000

(カ) 対人賠償

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	支払保険金 (単位:円)
452	短大	文系	自転車で通学中、歩行者と衝突し、肩骨折のケガを負わせた。	2,161,000
453	大学	理系	飼い犬をつないでいた鎖が切れ、人へ咬みつきのケガを負わせた。	29,000

(キ) 対物賠償

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	支払保険金 (単位:円)
454	大学	医療系	自宅の洗濯機の給水ホースがはずれ、階下の病院に漏水した。	5,200,000
455	大学	医療系	風呂のお湯を溜めたまま忘れてしまい漏水し、階下の居住者の家財に被害を与えた。	5,113,000
456	大学	医療系	アパートの洗濯機排水口から漏水し、床下の点検口隙間から階下の天井・洗面所・トイレ等に漏水した。	2,480,000
457	大学	文系	墓参り中、躓いた際に隣の墓石に手をつき墓石を壊した。	82,000
458	大学	文系	大学祭の準備中に竹を切っていた際、倒れた竹が車のフロントに当たり傷をつけた。	66,000
459	大学	文系	カラオケ店でマイクをテレビの液晶画面に当て、画面にひびが入った。	50,000
460	大学	理系	寮の廊下で転倒し手をついた際、窓ガラスを割った。	20,000

461	大学	文系	アパートの鍵を紛失した。	19,000
462	大学	医療系	寮の部屋の鍵を紛失した。	12,000
463	大学	理系	自宅で転倒し、窓ガラスを壊した。	10,000
464	大学	文系	飼い犬が人のズボンに噛み付き、穴を開けた。	6,000

(ク) 救援者費用

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	支払保険金 (単位:円)
465	大学	理系	スキー部の合宿中に転倒し、膝前十字靭帯断裂を負い、入院中の世話のために両親が駆けつけた際の交通費。	178,000
466	大学	医療系	左自然気胸になった際、駆けつけた家族の交通費。	125,000
467	大学	医療系	扁桃腺炎で入院し、両親が病院に駆けつけた際の交通費と宿泊費。	122,000
468	大学	文系	遊泳中に溺水し、ドクターヘリで搬送された際の費用。	117,000
469	大学	文系	肺気胸を発症し、入院中の世話のために両親が駆けつけた際の宿泊費と交通費。	110,000
470	大学	医療系	バスケットボールの練習中に足靭帯を断裂し、入院した際の両親が病院へ駆けつけた交通費と宿泊費。	93,000
471	大学	文系	気胸で病院へ通った際、タクシーで帰宅した際の交通費。	54,000
472	大学	理系	食中毒で入院した際、両親が病院へ駆けつけた交通費。	32,000
473	大学	医療系	ラクビーの練習中、膝の半月版を損傷し入院した際、両親が病院へ駆けつけた交通費。	8,000
474	大学	文系	スキー部合宿中に転倒し、膝十字靭帯を断裂した際、両親が駆けつけた交通費。	6,000

(ケ) 感染予防費用

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	支払保険金 (単位:円)
475	大学	医療系	実習先で手術準備中、未使用と使用済みの針が混ざっているところに針を戻す際に親指を刺した。	75,000
476	大学	医療系	手術見学中に患者の血液が眼に入った。	48,000
477	大学	医療系	カテーテル手技の介助中、誤って左手指に針を刺した。	36,000

(コ) 生活用動産

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	支払保険金 (単位:円)
478	大学	文系	入居している学生寮の一室が火災で全焼し、煙の影響で家財が汚損した。	362,000
479	大学	文系	電気ストーブ使用中、火災を発生させた。	257,000

6

近年の主な事故の内容（事故事例）

480	大学	理系	研究室が火災になり、消防の放水で電子辞書や教科書、コートなどを汚損した。	107,000
481	大学	医療系	大学のロッカーに入れていた上着・iPod・イヤホンを盗まれた。	37,000
482	大学	文系	落雷でテレビが壊れた。	18,000
483	大学	文系	引ったくりの被害に遭い、カバンが盗られた。	11,000

（サ）借家人賠償

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	支払保険金 (単位:円)
484	大学	文系	室内のマットで足を滑らせて転倒し、トイレのドアと壁を壊した。	400,000
485	大学	理系	家具を移動させた際、壁に当たり穴を開けた。	223,000
486	大学	理系	不在時の水抜きを忘れ、給湯器内の配水管が凍結破損した。	103,000

エ 学研災付帯海外留学保険(略称「付帯海学」)

平成27年度の主な事故事例を、保険金種別に示します。

(ア) 治療・救援費用(病気)

No.	設置者別	保険期間	事故内容	支払保険金 (単位:円)	備考
487	国立	184日	インフルエンザで受診した。	328,400	同様の事故で他に5件発生
488	国立	29日	気胸で受診した。	316,500	
489	国立	366日	デング熱で受診した。	233,300	同様の事故で他に2件発生 (全件アジア地区で発生)
490	公立	335日	下痢で受診した。	63,400	同様の事故で他に9件発生 (全件アジア地区で発生)
491	国立	115日	喉の痛みで受診した。	17,800	
492	私立	154日	あせもで受診した。	800	

★病気が一番心配です。また、治療費用も高額になります。

(イ) 治療・救援費用(ケガ)

No.	設置者別	保険期間	事故内容	支払保険金 (単位:円)	備考
493	公立	11日	スケートをしていて転倒し、足首を捻り受診した。	1,275,700	
494	国立	151日	腰椎部を捻挫し、受診した。	81,700	
495	国立	335日	自転車で転倒しケガを負い、受診した。	42,200	
496	公立	25日	サッカーをしていて足の靭帯を損傷し、受診した。	25,500	
497	私立	305日	足の親指を骨折し、受診した。	24,800	

(ウ) 携行品損害

No.	設置者別	保険期間	事故内容	支払保険金 (単位:円)	備考
498	私立	153日	バッグをひったくられた。	321,600	
499	国立	8日	パソコンを紛失した。	100,000	同様の事故で他に39件発生
500	国立	153日	iPhoneを盗まれた。	73,000	
501	公立	31日	スーツケースを壊した。	10,200	同様の事故で他に17件発生

(エ) 賠償責任・留学生賠償責任

No.	設置者別	保険期間	事故内容	支払保険金 (単位:円)	備考
502	国立	10日	ジェットスキーを壊した。	903,400	
503	国立	40日	レンタルしていたWi-Fiを壊した。	21,600	
504	私立	9日	ホテルのテーブルを壊した。	12,300	

(オ) 航空機遅延費用

No.	設置者別	保険期間	事故内容	支払保険金 (単位:円)	備考
505	私立	11日	航空機が欠航したため、ホテル代・食事代を負担した。	5,700	同様の事故で他に29件発生
506	私立	11日	航空機が欠航したため、空港使用料を負担した。	2,300	

(4)留学生がかかわった事故

平成24年度から平成27年度までの間に学研災及び付帯賠償において保険金が支払われた事故の中で留学生がかかわった主な事故について、活動形態で区分して、次に示します。

ア 学研災

No.	活動形態	学校種別	学部分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
507	正課中	短大	文系	サッカーの授業中、他の選手と接触し足関節を捻挫した。	医療	3,000
508	正課中	大学	理系	卒業研究中の教室から教室への移動中、転倒した。ガラス扉に手を突っ込み、手指を切傷し腕に機能障害を残した。	後遺障害、 医療・入院	1,732,000
509	正課中	大学院	理系	研究室での実験中、誤ってAlCl ₃ を吸引した。	医療	15,000
510	正課中	大学院	理系	研究のために派遣されたインドネシアで、調査現場間をバイクで移動中、中央線を越えた対向車と接触し、足指を脱臼した。	医療	3,000
511	正課中	大学	理系	学会参加中、細菌性食中毒になった。	医療・入院	11,000
512	正課中	大学院	理系	インターンシップの見学中、踏み足指を打撲した。	医療	3,000
513	学校行事中	大学	文系	学校行事のスノーボード教室で、ジャンプ台から落下した。手関節を骨折し、神経症状の後遺障害を負った。	後遺障害、 医療	770,000
514	学校行事中	大学	文系	学校行事中、階段で足を滑らせ、肩・上腕を骨折した。	医療・入院	62,000
515	学校行事中	短大	文系	学校行事の綱引きで、不自然な体制で綱を引き、腰部を捻挫した。	医療	6,000
516	学校施設内	大学	文系	ハロウィンパーティに参加した際、2階相当の高さから転落した。脊髄を損傷し、両下肢の機能全廃の後遺障害を負った。	後遺障害、 医療・入院	16,020,000
517	学校施設内	大学	文系	自転車で構内道路を横断中、車と衝突した。頭部・顔部を強打し、醜状痕の後遺障害を負った。	後遺障害、 医療・入院	2,320,000
518	学校施設内	大学院	文系	原付で校内を移動中、左折した車の側面に衝突した。肩・上腕を打撲し、局部に神経症状の後遺障害を負った。	後遺障害、 医療・入院	700,000
519	学校施設内	大学院	理系	学校施設内で、研究室に移動する際、雪で滑って転倒し、膝前十字靱帯を損傷した。	医療	30,800
520	課外活動中	大学	理系	馬術部の活動で、馬房から出ようとした際、馬に顔部を噛まれた。醜状痕の後遺障害を負った。	後遺障害、 医療	480,000
521	課外活動中	大学	体育系	柔道の練習中、投げられ腰部を挫傷した。	医療	30,000
522	課外活動中	大学	文系	バレーボールの試合中、ジャンプして着地した際、左足首を捻挫した。	医療	30,000
523	通学中	大学	文系	自転車で通学中、車と衝突し、頭部を骨折した。高次脳機能障害による神経障害・嗅覚障害の後遺障害を負った。	後遺障害、 医療・入院	9,446,000
524	通学中	大学院	理系	バイクで通学中、左折車に巻き込まれて転倒し、胸椎・腕を骨折した。脊柱変形及び局部に神経症状の後遺障害を負った。	後遺障害、 医療・入院	4,535,000
525	通学中	大学	文系	自転車で通学中、交差点で左折車と衝突した。頭部を骨折し、高次脳機能障害による嗅覚障害の後遺障害を負った。	後遺障害、 医療・入院	4,332,000
526	通学中	大学院	理系	電車で帰宅中、転倒した。頭部を骨折し、神経系統の機能障害を残した。	後遺障害、 医療・入院	4,152,000
527	通学中	大学	文系	自転車で通学中、交差点で車と接触して転倒した。頭部を骨折し、神経系統の機能障害を残した。	後遺障害、 医療・入院	4,118,000
528	通学中	大学院	理系	徒歩で帰宅中、横断歩道で車と接触した。足関節を骨折し、脚に機能障害を残した。	後遺障害、 医療・入院	1,070,000

529	通学中	大学	文系	バイクで通学中、交差点内で急に左折した車に衝突した。膝の靱帯を損傷し、下肢関節の機能障害を残した。	後遺障害、医療・入院	830,000
530	通学中	大学	文系	自転車で通学中、転倒し鎖骨を骨折した。	医療・入院	94,000
531	通学中	大学院	理系	雪道を徒歩で帰宅中、滑って転倒し、手関節を骨折した。	医療	50,000
532	通学中	大学	文系(夜間)	原付で通学中、左側から出てきた車に接触され転倒し、肩・上腕を骨折した。	医療	15,000
533	通学中	大学	文系	徒歩で通学中、駅の階段から転落し、足関節を捻挫した。	医療	15,000

イ 付帯賠償

No.	活動形態	学校種別	学部分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
534	正課中	大学院	理系	研究中、測定機を壊した。	対物	581,700
535	正課中	大学院	理系	実験棟にてSTM像を観察する際、信号線を間違えて接続し、ブリアンブが故障した。	対物	411,400
536	正課中	大学院	文系	卒業制作で撮影中、大学から借りていたカメラ・レースプレート・ケーブルが入っていた撮影バックを路上に置き忘れた。	対物	214,800
537	往復中	大学院	理系	自転車で通学中、自転車同士で衝突し、相手にケガを負わせた。	対人	1,002,100
538	往復中	大学	理系	自転車で通学中、歩行者と接触し、相手にケガを負わせた。	対人	963,900
539	往復中	大学	文系	自転車で通学中、歩行者と衝突し、相手にケガを負わせた。	対人	947,400

★留学生についても通学中の事故が多く、次に理科系の実験・実習中の事故が目立ちます。
また、大学院生の占める率も高くなっています。

〔参考〕平成28年度 学研災 死亡事故事例（活動形態は【 】に記載）

No.	学校種別	学部分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
540	大学	文系	大学のプール一般開放に参加し、遊泳中に溺死した。【学校施設内】	死亡	6,000,000
541	大学	文系	アメリカンフットボール部の練習中、衝撃を受け脾臓が破裂し出血性ショックにより死亡した。【課外活動(クラブ活動)中】	死亡	10,000,000
542	大学	文系	フットボールサークル合宿で海水浴中、溺死した。【課外活動(クラブ活動)中】	死亡	6,000,000
543	大学	文系	バイクで通学中、転倒し心破裂・気脳症等により死亡した。【通学中】	死亡	10,000,000
544	大学	理系	自転車で通学中、車と接触し脳挫傷により死亡した。【通学中】	死亡	10,000,000
545	大学	理系	バイクで通学中、ガードレールに衝突し全身多発性外傷により死亡した。【通学中】	死亡	10,000,000
546	大学	文系	自転車で通学中、車と接触し脳挫傷により死亡した。【通学中】	死亡	10,000,000
547	大学	文系	試験対策のための水泳特別講習中、救急搬送後、脳症により死亡した。【学校行事中】	死亡	12,000,000
548	大学	文系	車で通学中、車と衝突し失血性ショックにより死亡した。【通学中】	死亡	10,000,000
549	大学	文系	自転車で通学中、車と衝突し急性硬膜下血腫により死亡した。【通学中】	死亡	10,000,000
550	大学	文系	原付バイクで部活へ向かう途中、車と衝突し心・大血管損傷により死亡した。【通学中】	死亡	6,000,000
551	大学	理系	縦走登山中、道に迷い崖から転落し頭蓋骨骨折により死亡した。【課外活動(クラブ活動)中】	死亡	10,000,000

おわりに

過去5年間の事故統計の傾向として、以下のとおり要点をまとめました。

- ① 近年、死亡事故は年間12～13件、後遺障害事故は年間160件前後で推移しています。
- ② 後遺障害事故では、骨折が全体の半分近くを占めており、挫傷(打撲)が次に多くなっています。その中で、頭部・頸部・腰部の骨折が重い障害になっています。
- ③ 正課中、学校行事中、学校施設内の後遺障害事故では、活動中に転倒(あるいは転落)して骨折する事故が多く発生しています。
- ④ 通学中・施設間移動中の事故は、全体の中での件数は約10%と少ないですが、支払保険金額では約30%を占め、重篤な事故に繋がっています。
- ⑤ 通学中・施設間移動中の死亡事故は、過去5年間の平均で、死亡事故全体の70%以上を占めています。その際、被保険者の移動手段にかかわらず、相手が車の割合(80%以上)が高くなっています。
- ⑥ 通学中・学校施設間移動中の後遺障害事故では、自転車・原付・バイクでの事故が約80%を占めています。男女別で見ると、男性のバイク(35%)、女性の自転車(41%)の事故が目立っています。
- ⑦ 事故全体としては、件数及び支払保険金額ともに60%前後の割合で、課外活動(クラブ活動)中の事故が最も多くなっています。
- ⑧ 課外活動(クラブ活動)中の死亡事故は、競技や種目の特性に起因しない事故が多く、特に合宿中の自由時間に集中しています。
- ⑨ 後遺障害事故では、課外活動(クラブ活動)中と通学・学校施設間移動中の事故が、毎年85%前後を占めています。
- ⑩ 課外活動(クラブ活動)中の後遺障害事故では、ボールや相手選手の体の一部が目当たる事故、相手選手と接触して骨折や脱臼する事故、関節を捻って靱帯を損傷する事故などが多く発生しています。
- ⑪ 留学生がかかわった事故の内容は、日本人学生の場合と大きな差異はありませんが、活動形態の分布では、課外活動(クラブ活動)中の事故よりも通学中の事故が多くなっています。また、留学生は、日本人学生より高い確率で後遺障害事故に遭遇しています。

事故が発生した後の対処は、事故の未然防止のための措置を講ずるよりも、より多くの時間とコストを必要とします。リスク管理の観点からは、事故防止に必要な対応を実効的に推進しなければなりません。その第一歩が、事故の実態やその傾向を把握することです。本報告書が関係者の皆様にご活用いただけることを願っております。

学生教育研究災害傷害保険(略称「学研災」)について

学生が教育研究活動中に被った災害に対して必要な給付を行い、大学の教育研究活動の充実・発展に寄与することを目的とした保険制度。

加入者は、教育研究活動に合わせて以下を付加することができます。

特約

・通学中等傷害危険担保特約(通学特約)

通学中:学生の住居⇄活動先(大学・実習先・クラブ活動先等)

学校施設等相互間の移動中:大学⇄活動先(大学・実習先・課外活動先等)

・接触感染予防保険金支払特約(接触感染特約)

臨床実習中の接触感染に対する予防措置を受けた場合に補償。



学研災付帯賠償責任保険(付帯賠償)

他人にケガを負わせた場合、他人の財物を損壊した場合等により、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について補償。



学研災付帯学生生活総合保険(付帯学総)

24時間の補償。病気・ケガ、賠償責任保険、救援者費用がセットされた基本補償にオプションで感染予防費用・育英費用・学資費用・生活用動産・借家人賠償責任・天災危険担保特約が有り。

さらに、留学生のニーズに対応し、低廉でより加入しやすい**外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険(インバウンド付帯学総)**を平成29年に創設。



学研災付帯海外留学保険(付帯海学)

大学が承認した派遣留学に参加する学生のための海外旅行保険。

ケガ・病気の治療費用、救援費用、傷害・疾病死亡保険金、傷害後遺障害保険金、携行品損害保険金、賠償責任保険がセット。

オプションで航空機寄託手荷物、航空機遅延が有り。



学生生活における事故の傾向について

学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）保険金支払事例分析報告書

発行日 平成 29 年 6 月 30 日

発行 公益財団法人 日本国際教育支援協会

問合せ先 公益財団法人 日本国際教育支援協会 事業部 保険・補償課

〒 153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29

T E L 03-5454-5275 F A X 03-5454-5232

<http://www.jees.or.jp>

印刷 日本印刷株式会社

